

例 言

1. 本書は、埼玉県入間郡大井町内に所在する遺跡群の1994年度の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査および整理事業は、国庫（1,900,000円）、県費（950,000円）の補助金の交付を受け、平成6年4月4日から平成7年3月31日まで実施した。
3. 調査組織

調査主体者	大井町教育委員会		
担当課	生涯学習課文化財保護係		
教 育 長	小林茂吉（6.9.30まで） 高橋好次郎（6.10.1～）		
生涯学習課長	石井忠夫	文化財保護係	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久
文化財保護係長	岡田真一	発掘調査担当者	坪田幹男・高崎直成・鍋島直久

4. 本書作成にあたっての作業分担は次のとおりである。

執 筆：高崎直成（第Ⅰ、Ⅱ、Ⅴ、Ⅵ章）、鍋島直久（第Ⅲ、Ⅳ章）、土本匡（第Ⅴ章石器）	土器拓影：石垣ゆき子、丹治つや子
土器復元：中田藤子	実 測：（街）文化財COM、斎藤尽志、高崎直成、高橋けい子、土本匡、鍋島直久
トレース：小林登喜江、須藤さち子	図版作成：石垣ゆき子、丹治つや子
遺構写真：坪田幹男、高崎直成、鍋島直久	遺物写真：高崎直成

また、本書の作成にあたり日本考古学協会の今井堯氏の絶大な援助と協力を得た。

5. 各遺跡の調査から報告書刊行にいたるまで下記の諸氏・機関より御指導・ご協力を賜った。
浅野晴樹、荒井幹夫、今井堯、内田賢司、加藤秀之、神木繁嘉、駒井和久、桜井信枝、
佐藤正志、笹森健一、島田一郎、鈴木加津子、鈴木仁子、中島宏、塚田政子、原口雅樹、
早坂廣人、松本新八郎、松本富雄、三上七五郎、水村孝行、柳井章宏、柳沢健司、和田晋治
（敬称略） 埼玉県教育局指導部文化財保護課、大井町大井・苗間第一土地区画整理組合、
亀久保特定土地区画整理組合、大井町立郷土資料館、大井町遺跡調査会。
6. 発掘調査ならびに整理事業参加者は下記の皆様である。記して厚く感謝の意を表したい。

〈発掘調査参加者〉（敬称略）

会沢 泉、秋本太郎、新井和枝、荒井美奈子、飯塚泰子、井上晴江、内田信治、海老原サナエ、
大井美智子、大曾根キク子、笠原英子、金子君子、金丸文男、上岡福蔵、神木光治、川部栄子、
河野俊郎、小林こずい、小山エミ子、斎藤尽志、酒井 昭、佐久間ひろ子、佐々木定男、
鮫貝有子、菅原 正、鈴木英子、鈴木エミ子、関田成美、高木千恵子、高久 彩、高橋明美、
千見寺泰臣、戸澤竹二、中嶋末子、仲里しげ子、永塚美千代、並木宗次、野岡由紀子、
野上吉樹、野沢松代、橋本弓子、塙 和男、林きぬ子、比嘉洋子、黛 佳代子、三村美代子、
宮田 守、森脇やよい、山下一枝、若尾久美子、若林紀美代。

〈整理事業参加者〉（敬称略）

石垣ゆき子、斎藤尽志、須藤さち子、高橋けい子、丹治つや子、富岡康子、中田藤子

凡 例

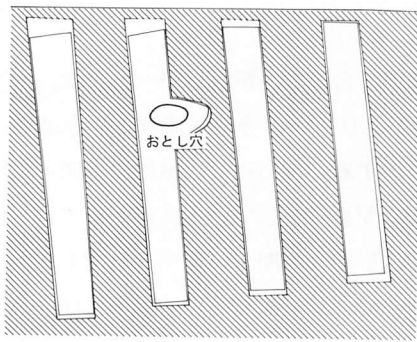
1. 本書の遺構・遺物挿図の指示は以下のとおりである。

(1)縮尺は原則として	遺構平面図・遺物出土状況図	1:60
炉等の詳細図	土器実測図	土器拓影図・石器実測図
1:30	1:4	1:3

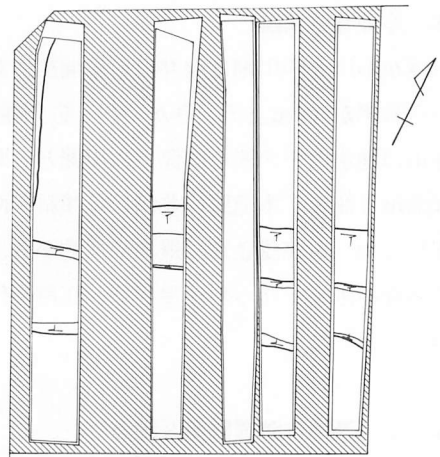
 (2)遺構断面図の水糸高は海拔高を示す。
 (3)遺構図中の細数字は、床面もしくは確認面からの深さ(cm)を示す。
2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号にしている。
3. 土器断面図は、「網目」が繊維含有、「黒丸」が雲母粒を含有する縄文土器を表わしている。
5. 本報告の出土品・記録図面・写真等は一括して大井町教育委員会生涯学習課に保管してある。

2 1994年度 埋蔵文化財調査一覧

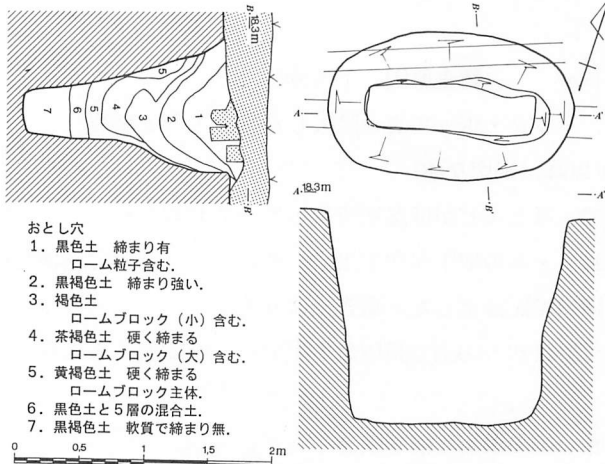
No.	遺 跡・地 点	所 在 地	面積(m ²)	原 因	調査期間	調 査 結 果
1	西台遺跡第2地点	大井897-1、2	6,149	遊 技 場 建 設	4/4～4/12	試掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 集石 土坑
2	本村遺跡第35地点	大井357-1	452	共同住宅建設	4/4～4/12	試掘調査 遺構なし
3	西ノ原遺跡第69地点	苗間106	1,821	店 舗 建 設	4/8～4/27	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 屋外炉 土坑
4	西ノ原遺跡第70地点	苗間136	551	店 舗 建 設	5/9～5/17	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 伏甕 土坑 ピ ット
5	東台遺跡第22地点	大井651-6	145.53	店 舗 建 設	5/10～5/11	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡 土坑
6	小田久保遺跡第3地点	大井1214-3	330	個人住宅建設	6/7	試掘調査 遺構なし
7	西ノ原遺跡第71地点	苗間112	309	個人住宅建設	6/20～7/5	試掘調査 時期不明 おとし穴
8	東台遺跡第23地点	大井649-12、13	285.91	個人住宅建設	6/23～6/27	試掘調査 縄文時代 住居跡
9	東台遺跡第24地点	大井634-20	58.49	個人住宅建設	7/6	試掘調査 縄文時代 集石 土坑
10	鶴ヶ舞遺跡第3地点	鶴ヶ舞1-69-1	141	駐 車 場 造 成	7/10	試掘調査 遺構なし
11	本村遺跡第36地点	大井101-9-10	890	共同住宅建設	7/28～8/4	大井町遺跡調査会で発掘調査 旧石器時代 礫群 縄文時代 土坑 中近世 井戸 溝 土坑 柵列
12	亀居遺跡第38地点	鶴ヶ岡2-1-1他	3,162.14	店 舗 建 設	8/22～8/30	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 集石 土坑 おとし穴 近世 根切溝
13	亀居遺跡第39地点	亀久保1008-5	342	駐 車 場 造 成	8/26～8/29	試掘調査 縄文時代 炉穴 土坑
14	本村遺跡第37地点	大井251	596	事 務 所 建 設	8/31～9/2	試掘調査 遺構なし
15	本村遺跡第38地点	大井253	264.53	個人住宅建設	8/30～9/7	試掘調査 中近世 溝
16	浄禅寺跡遺跡第8地点	苗間357-1	615	宅 地 分 譲	9/20～9/27	試掘調査 時期不明 おとし穴 近世 根切溝
17	浄禅寺跡遺跡第9地点	苗間353	1,266	農 地 改 良	10/18	試掘調査 時期不明 土坑 溝 焼土
18	浄禅寺跡遺跡第10地点	苗間356-1	999.09	宅 地 分 譲	10/31～11/2	大井町遺跡調査会で発掘調査 近世 土壌墓 一石経埋納土坑 溝
19	東台遺跡第25地点	大井648-13、14	296.04	個人住宅建設	10/22～12/16	本調査 縄文中～後期 住居跡 土坑 袋状土壌 ピット 6 委保記第5-5066号
20	西ノ原遺跡第72地点	苗間112-109	321.47	個人住宅建設	11/2～11/28	本調査 縄文中期 住居跡 土坑 近世 溝 6 委保記第5-6583号
21	本村遺跡第39地点	大井124-1	805	共同住宅建設	11/9～11/16	試掘調査 遺構なし
22	本村遺跡第40地点	大井321-1	131	宅 地 分 譲	11/22	試掘調査 遺構なし
23	本村遺跡第41地点	大井326	413	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
24	本村遺跡第42地点	大井325	201	宅 地 分 譲	11/15～11/22	大井町遺跡調査会で発掘調査 近代 ゴミ捨て土坑
25	浄禅寺跡遺跡第11地点	苗間352-1他	572	道 路 築 造	1/9～2/3	試掘調査 時期不明 湧水口 焼 土
26	本村遺跡第43地点	大井153-2、3	704	宅 地 分 譲	1/12～1/19	大井町遺跡調査会で発掘調査 中近世 井戸 土坑 溝 柵列
27	江川東遺跡第2地点	東久保1-162-34	190.90	個人住宅建設	1/20～2/6	本調査 近世 土坑 ピット 7 委保記第5-856号
28	本村遺跡第44地点	大井287-1	1,198.68	共同住宅建設	2/17～2/28	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文時代 土坑 おとし穴 中近世 井戸 土坑 道路跡 ピット
29	神明後遺跡第3地点	苗間309-12-13	200.03	宅 地 分 譲	3/24～3/29	大井町遺跡調査会で発掘調査 縄文中期 住居跡埋甕 土坑 ピット 近世 溝
30	西ノ原遺跡第73地点	苗間92-1	274	個人住宅建設	3/27～3/29	試掘調査 遺構なし
	調査面積合計		23,543.81			



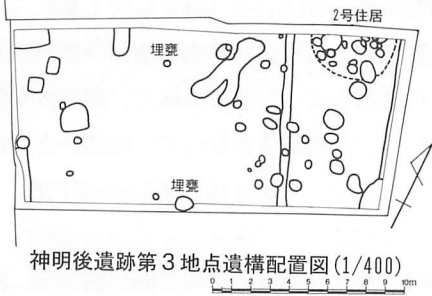
西ノ原遺跡第71地点調査区域図(1/400)



西ノ原遺跡第73地点調査区域図(1/400)



西ノ原遺跡第71地点おとし穴(1/60)



神明後遺跡第3地点遺構配置図(1/400)

神明後・浄禅寺跡遺跡



遺跡範囲及び調査区位置図(1/7500)

第7図 試掘調査位置図及び調査区域図(5)

(6) 浄禅寺跡遺跡

さかい川と砂川堀は大井町の東端部にあたる苗間東久保で合流し、新河岸川へと注ぐ。合流部分からわずか500m上流、さかい川と砂川堀の間に湧水池があり、浄禅寺川が流れる。本遺跡は浄禅寺川の湧水池をのぞむ南側、砂川堀との間に挟まれて立地する。標高12～14mで現谷底との比高差は2mを測る。本遺跡の北側は急傾斜、南側は緩やかな斜面を形成している。現在まで11ヶ所で調査しており、確認された遺構や遺物から、時代は縄文時代早期～中期、平安～近世である。なお遺跡名称の由来となった浄禅寺は、江戸時代に建立された寺で、幕末に焼失して以来再建されていない。

(6)－1 浄禅寺跡遺跡第8地点

調査期間 1994,9,12～9,27 面積 615m² 調査原因 宅地分譲

調査方法 2m幅のトレンチを3本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 時期不明（おとし穴1基）近世以降（根切り溝）

調査所見 調査区は湧水池南側の低地部分で、ほとんどが低湿地特有の黒土でおおわれていた。以前は湧水していた池跡の縁で、調査区南側にロームの地山が顔を出す。そのローム部分で遺構を検出した。遺構が僅かなので、確認調査の範囲内で記録化した。調査後盛り土した。

【おとし穴】 上端は114×65cmの長円形、下端は120×60cmで長円形を呈する。確認面からの深さは100cmある。

【溝】 池跡と並行の東西方向に幅70cm、深さ45cmの根切り溝を検出した。

(6)－2 浄禅寺跡遺跡第9地点

調査期間 1994,10,18 面積 1,266m² 調査原因 農地改良

調査方法 2m幅のトレンチを4本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 時期不明（土坑、溝、焼土）

調査所見 調査区は8地点同様湧水池の低地部分だが、東側の第3トレンチで池跡の範囲を確認できたうえ、一部では焼土を大量に検出した。池跡はほとんどが低湿地特有の黒土でおおわれていたが、西側の第1トレンチでは全面に炭化材を検出した。焼土とともに寺院消失の痕跡と思われる。第4トレンチでは長方形の土坑らしき覆土が点在し、隣の第10地点で検出した土壌墓との関連が伺えるが、浄禅寺本体の跡地であった可能性も高い。開発は農地改良で、現地表面より1m近く盛り土するため、遺構確認して調査を終了した。

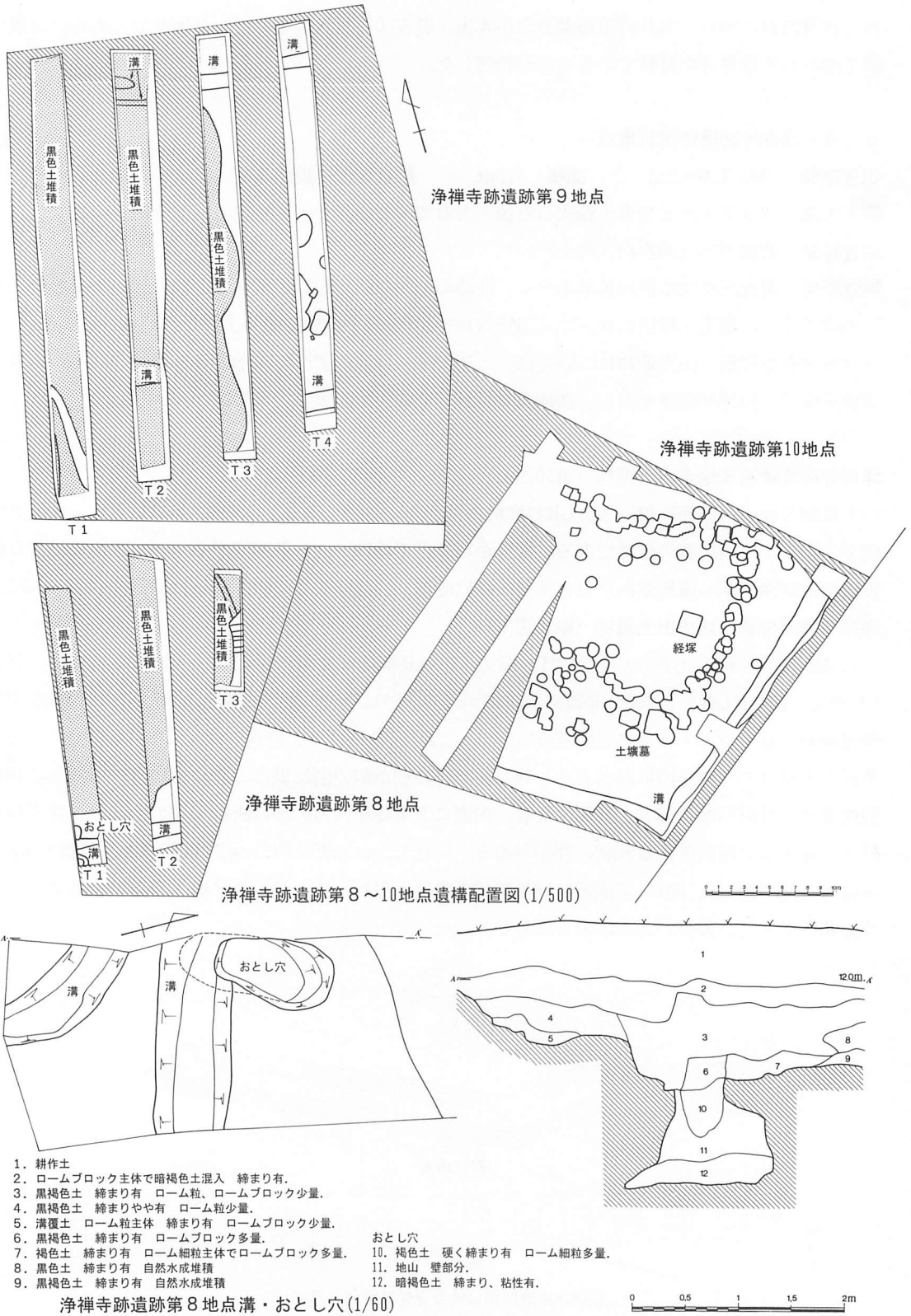
(6)－3 浄禅寺跡遺跡第10地点

調査期間 1994,10,31～11,2 面積 999m² 調査原因 宅地分譲

調査方法 2m幅のトレンチを5本設定し、バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。

調査結果 近世（土壌墓156基、一字一石経埋納の経塚1基、溝）

調査所見 全域で溝や土坑などの遺構を確認したため、原因者負担による本調査を1994年11月22日



から12月21日にかけて大井町遺跡調査会が実施。調査区は湧水池をのぞむ台地上で、調査区全域が溝で囲われた浄禅寺の墓域であることが判明した。

(6)ー4 浄禅寺跡遺跡第11地点

調査期間 1995,1,9～2,3 面積 572m² 調査原因 道路築造

調査方法 バック・ホウで表土除去した後、人力で精査。グリッドを組み、部分的に深掘り。

調査結果 時期不明（湧水口、焼土）

調査所見 調査区は湧水池の低地部分で、池跡の範囲を確認した。湧水口の様な窪みや土器、瓦などが捨てられた場所を検出した。出土遺物（18～20世紀）を記録し取り上げた。

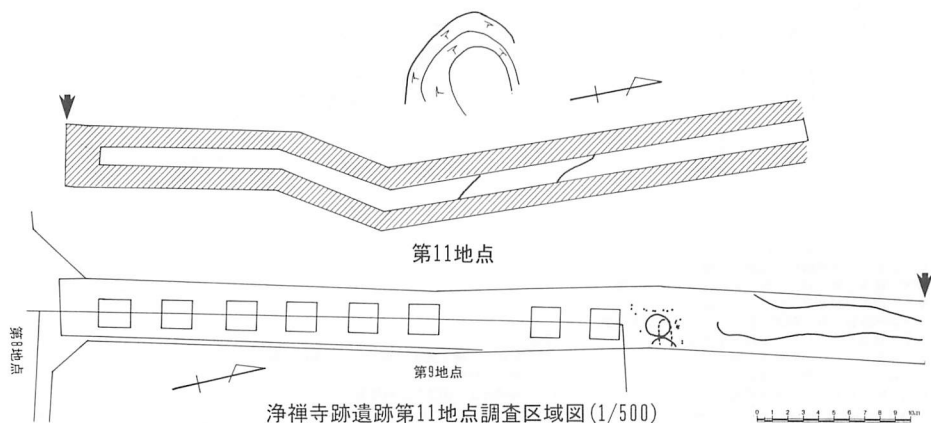
なお調査の詳細、出土遺物については、上述の8～11地点すべてが浄禅寺と密接な関係があり、遺跡全体での検討が必要なため、10地点と合わせて報告する予定である。

浄禅寺跡遺跡第8地点出土遺物（第10図上）

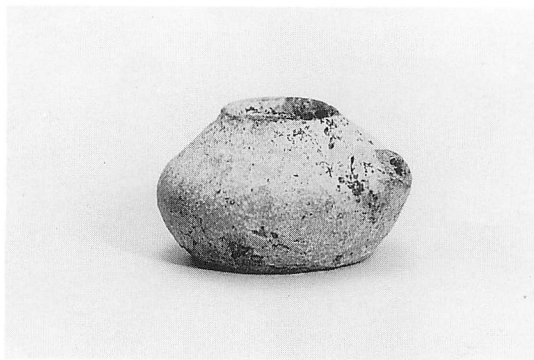
1は刺突に近い結節沈線。2はLRの磨消縄文。3・4はRL縄文、5・6は条線が入る。1～6は縄文中期、7は須恵器の破片である。8はかわらけで径10.4cm、轆轤成形でキメが細かい。9は志野皿、10は瀬戸産の磁器茶碗。11は常滑の鉢口縁部、12は常滑甕の胴部、13は緑泥片岩製の板碑。

浄禅寺跡遺跡第9地点出土遺物（第10図下）

14は内弯する鉢形土器の口縁部でLR縄文。15はR無節縄文の口縁部。16・17は羽状縄文。18はLR縄文、19はRL縄文、20はLR縄文で沈線が入る。21は隆帯、22は無文部だが、上部に懸垂する隆帯がわずかに認められる。23は条線が入る。24は底部破片で、底径7.8cm。以上縄文中期。25は平底のホウロクで内耳の痕跡がある。26は在地産の甕か鍋の胴部破片。27は常滑甕の口縁部。28は肥前産の染付筒形湯呑碗で、外面は菊紋、内面に2本線が入る。29は灰釉陶器の水滴で、注ぎ口が付く。注ぎ口の反対側には波状の押印がある。口径2.2cm、胴部径4.5cm、底径3.1cm、器高2.9cm、注口径0.3cmである。瀬戸・美濃産で15世紀代の作品と思われる。30はスサの入った粘土塊で、面取りの整形があり、製品の角の部分と思われる。



第9図 試掘調査位置図及び調査区域図(7)



浄禅寺遺跡第9地点 出土水滴



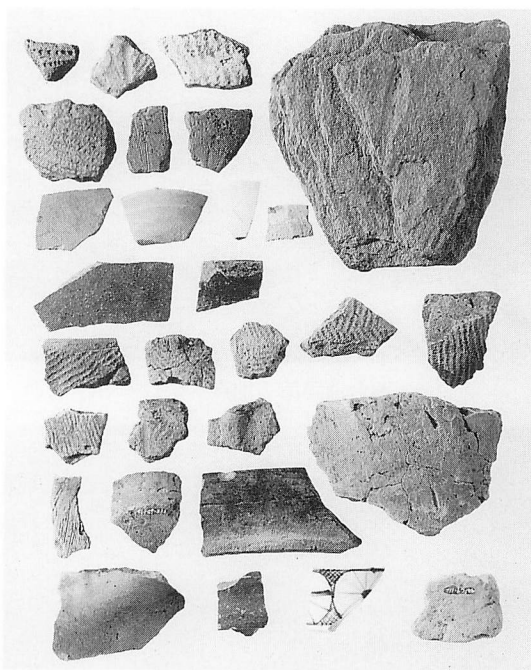
浄禅寺遺跡第10地点 試掘



浄禅寺遺跡第10地点 本調査・土壙墓



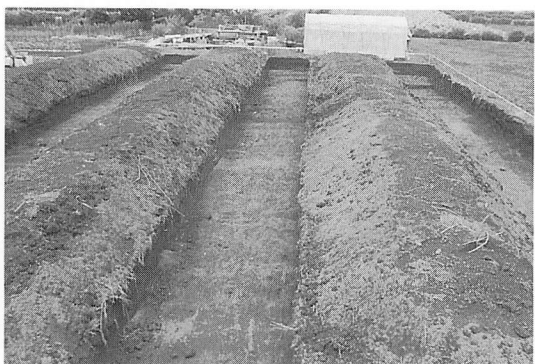
浄禅寺遺跡第11地点 遺物出土状況



浄禅寺遺跡第89地点 出土遺物



浄禅寺遺跡第11地点 調査風景



小田久保遺跡第3地点

大井町遺跡調査会報告第12集

本村遺跡Ⅲ・浄禅寺遺跡Ⅱ・苗間東久保遺跡Ⅱ・大井氏館跡遺跡Ⅱ 正誤表

ページ等		誤	正
巻頭図版7下段	キャプション	煙管(土壙13・51・53・71・119)	煙管(土壙13・51・53・58・71・119)
P99 遺構番号51	金属製品欄	3	4
P99 遺構番号51	備考欄	雁首1・吸口1	雁首2・吸口1
P100 遺構番号95	金属製品欄	3	2
P100 遺構番号95	備考欄	金属製品：簪1	削除



調査区北側（東から）



調査区中央部（東から）



土坑 9



土坑20・21



土壌57



土壌71



土壇72



土壇100



陶磁器（土壇 5・71・72・74・96・107・143）



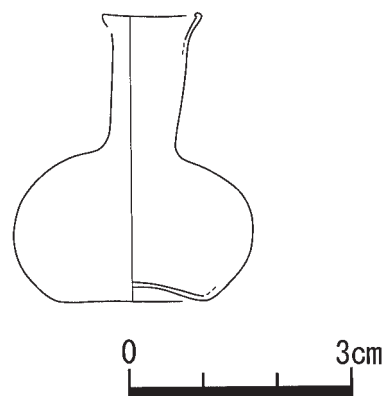
カワラケ（土壇33・34・44）



泥面子（土壙95）



土製品の人形と鳩笛（土壙48・155）



第1図 浄禅寺跡遺跡第10地点土壙48出土
ガラス小瓶実測図 (1/1)

ガラス製品 (土壙48)



煙管 (土壙13・51・53・71・119)



簪（骨角製品・銅製品）（土壇71・93・95・107）



数珠（土壇35・57・70・95・110）

凡 例

1. 本書の遺構挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 縮尺はその都度図中に示している。
- (2) 遺構断面図の水糸高は海拔を示す。
- (3) 遺構図におけるscreen-toneの指示、遺物出土状況のドットの指示。



2. 住居跡名は、遺跡内の通し番号である。

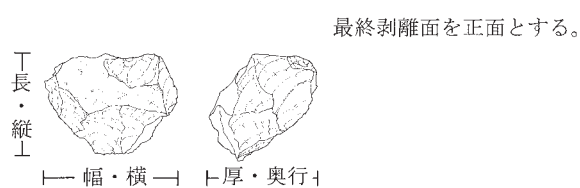
3. 本書の遺物挿図の指示は以下のとおりである。

- (1) 遺物番号は地点ごとに1からはじまる。
- (2) 砥石実測図の断面における矢印の表示は、実線が砥面を、一点鎖線が加工痕の残存面を表す。
- (3) 遺物実測図におけるscreen-toneの指示。

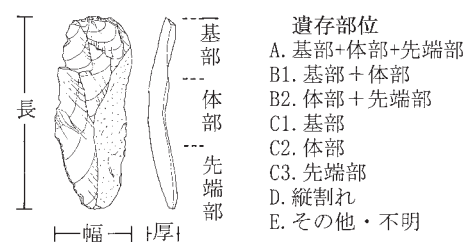


(4) 出土遺物観察表に記載した計測部位及び遺存部位は以下のとおりである。

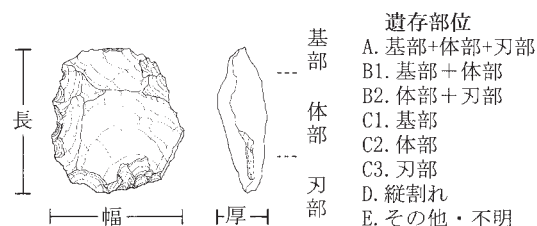
〈石核〉



〈剥片・その他の剥片石器およびRF〉

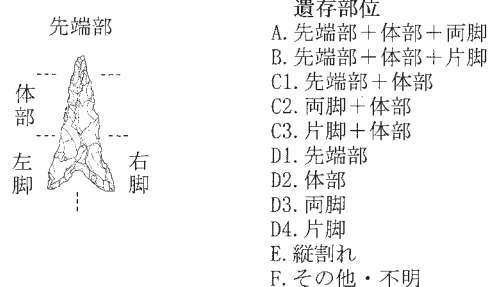


〈スクレイパー(石匙を含む)〉



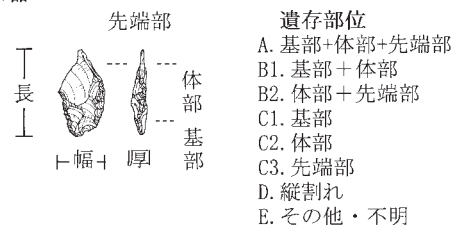
〈石鏃〉

素材剥片の背面を上面とする。

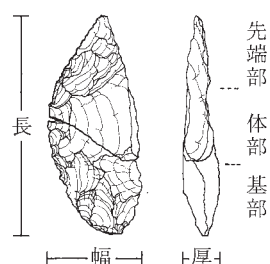


〈ナイフ形石器/尖頭器〉

ナイフ形石器

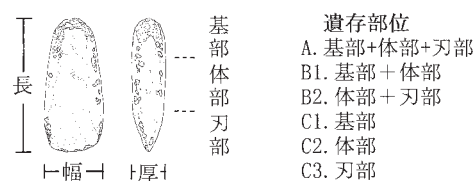


尖頭器

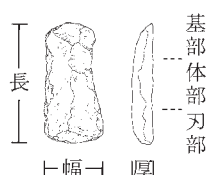


磨製石斧

〈磨製石斧/打製石斧〉

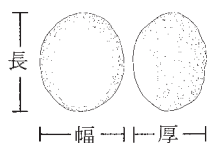


打製石斧

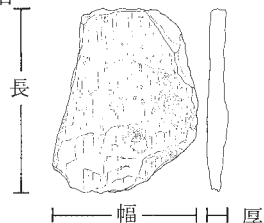


〈磨石/凹石〉

磨石



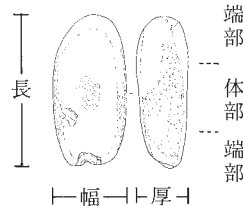
凹石



遺存部位

- A. 完形
- B. 残存率 3/4～
- C. 残存率 1/2～3/4
- D. 残存率 1/4～1/2
- E. 残存率 1/4以下

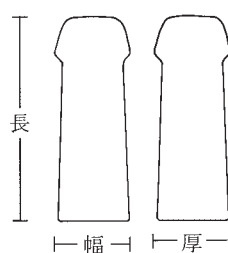
〈敲石/石錘〉



端部
体部
端部

- 遺存部位
- A. 端部+体部+端部
 - B. 端部+体部
 - C1. 端部
 - C2. 体部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈石棒〉



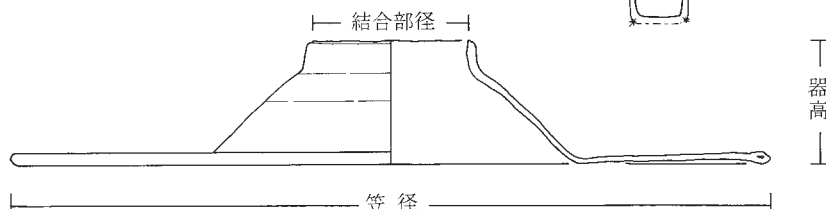
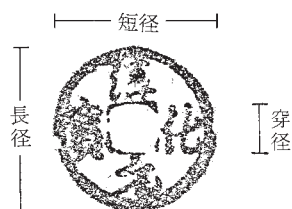
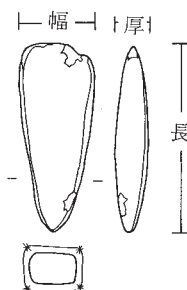
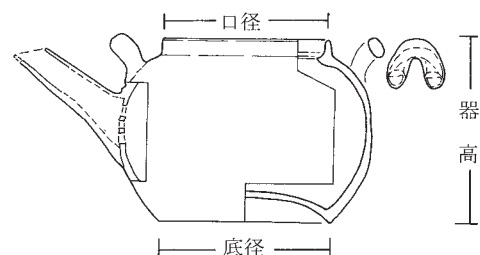
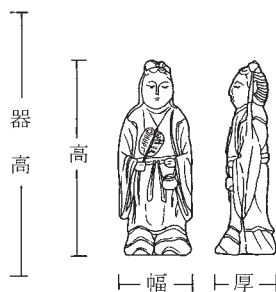
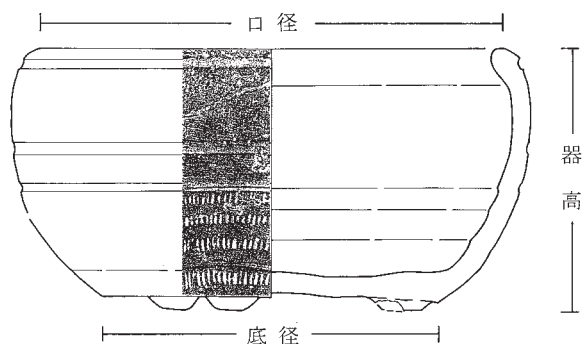
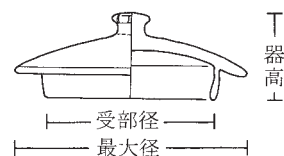
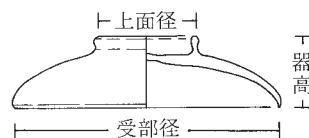
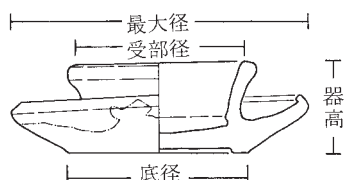
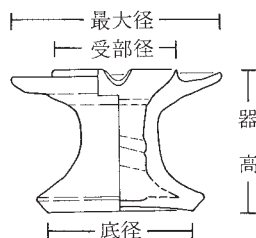
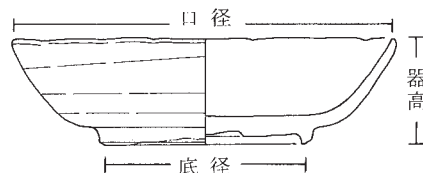
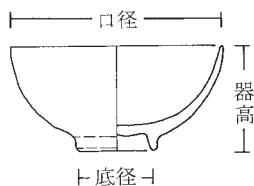
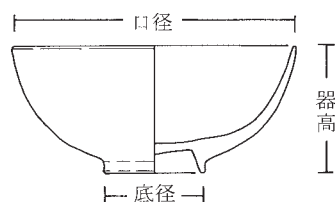
先端部
体部
基部

- 遺存部位
- A. 先端部+体部+基部
 - B1. 先端部+体部
 - B2. 体部+基部
 - C1. 先端部
 - C2. 体部
 - C3. 基部
 - D. 縦割れ
 - E. その他・不明

〈碎片〉

長さ、幅、厚さ ともに最大を計測。

〈陶磁器/土器/銭貨/ガラス製品〉



Ⅲ 浄禅寺跡遺跡の調査

1 遺跡の立地と環境（第76図）

浄禅寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禅寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12～14mで現谷底との比高差は約2mを測る。浄禅寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は、北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禅寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は早くに市街化が進み、また残されていた畑地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。2004年6月現在22ヵ所で発掘調査が行われ、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中・近世の薬研状の堀、遺跡名の由来である浄禅寺墓域から墓壇156基、経塚1基（一字一石経約76,000点出土）が検出されている。旧苗間村の浄禅寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

2 浄禅寺跡遺跡第10地点

（1）調査の概要

本地点は浄禅寺跡遺跡のほぼ中央に位置し、西側が第6地点、北側が第9地点と接している。調査は宅地分譲に伴うもので、原因者より1994年8月22日付で「埋蔵文化財事前協議書」が町教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部にあたり、湧水地をのぞむ台地上にあたる。

試掘調査は幅2mのトレンチを調査区短軸方向に5本設定し、1994年10月31日から11月2日まで行った。その結果、調査区全域で溝や土壇などの遺構を確認したため、原因者負担による本調査を大井町遺跡調査会が1994年11月22日から12月21日にかけて実施した。

（2）遺構と遺物（第1・77図、第27～30表、

巻頭図版1～8、図版29～39）

本地点からは、近世の土壇157基と溝1条が検出された。157基の土壇のうち、本地点のほぼ中央部に位置する土壇100からは、76,000点あまりの礫が出土して



第76図 浄禅寺跡遺跡の地形と調査区（1/4,000）

いる。90%近い礫で墨書が確認されており、そのうち判読不能なものは35,000点あまり、判読可能なものは34,000点あまりである。墨書は一つの礫に一字あるものがほとんどであるが、二字以上書かれている礫も1,000点ほどが確認されている。

二字以上書かれている礫には年号・人名・文章が確認されている。その内容から、浄禅寺八世の寛長が追善供養などを目的として始めた書写であること、その期間は元禄9（1696）年7月2日から元禄15（1702）年7月27日にかけてであることが判明した。また、「市郎兵衛」という人物の協力も得ていることも明らかとなった。おそらく「市郎兵衛」をはじめとする苗間村の人々が協力して行ったものと考えられている（大井町立郷土資料館2002）。このことから土壌100出土の礫は一字一石経であることが判り、埼玉県下でも比較的古い時期の事例であると言えよう（松原編1994）。一字一石経の詳細な内容については本書の附編（149頁）を参照されたい。

その他の156基の土壌は、土壌100を囲むようにして配置されている。そのほとんどの土壌から人骨が出土していることから墓墳であることが判る。

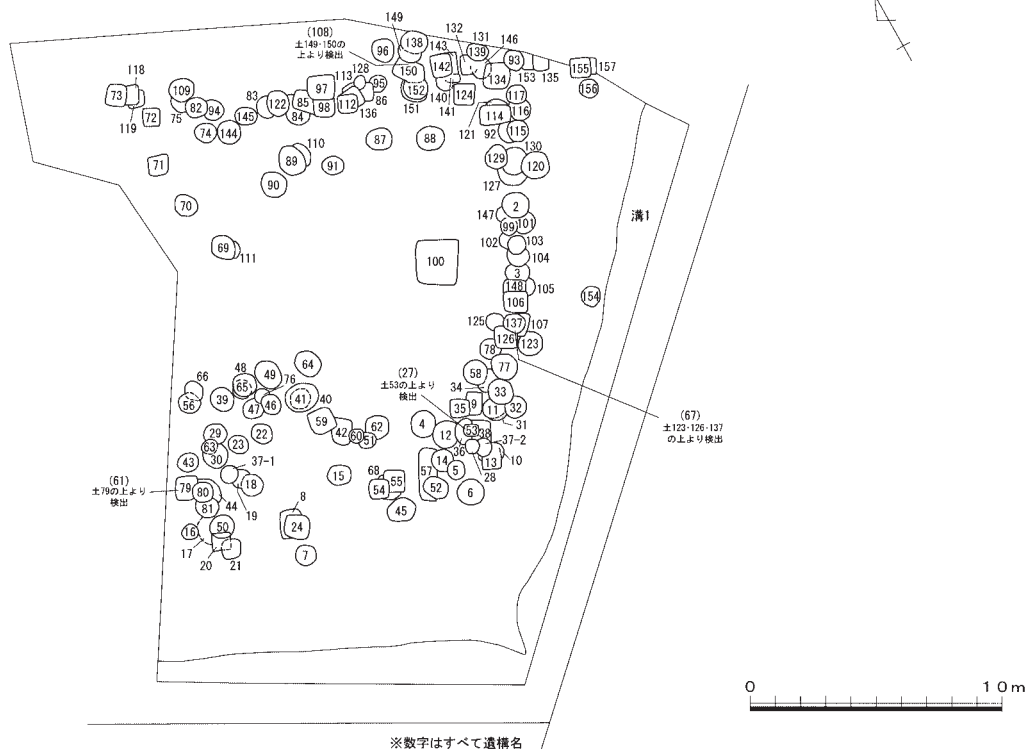
遺物は銭貨、数珠、煙管、簪・筭、陶磁器・土器などが伴出しており、3,900点あまりが出土している。一番多く出土しているのは3,000枚弱が出土している銭貨であり、約130基から出土している。その他の遺物は40基から出土している。

この中で注目すべきは、土壌95から出土した20個の泥面子である。泥面子は土壌95のみから出土しており、他の土壌からは出土していない。また、土壌95の泥面子はほとんどがいわゆる芥子面であり、江戸市中で比較的多くみられるような円盤状のものは1点しかみられない。土壌95から出土した泥面子は、生産地の同定も含めて江戸市中との関係を考える上で重要な事例となろう。

本地点の東側・南側には菓研状の溝が検出されており、墓墳群はこの溝に囲まれるようにして配置されている。なお西隣する第8・9地点からも溝が検出されており、本地点の溝との関係が想定される。

本地点では、経塚である土壌100とそれを中心とした墓墳群、その墓墳群を取り囲む溝、という墓域としてのあり方を見取ることができ、埼玉県下における近世墓の一端を解明しえる事例となっている。

（鳥越多工摩）



第77図 浄禅寺跡遺跡第10地点遺構配置図（1/300）

第27表 浄禅寺跡遺跡第10地点土壌観察表

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸:cm (上/下)	短軸:cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓域の備考	人 骨					出土遺物	推定年代	備考
									骨No.	遺存度	性別	年齢	人骨の備考			
1	—	—	—	—	—	—	—	欠番	—	—	—	—	—	—	—	—
2	土壌101・147と重複	不整形円形 /不整形円形	(111) /100	97 /100	—	—	—	墓域東側の壁はオーバーハングしている。	143A 143B 164	普通 やや不良 比較的良好	不明 不明 男	小児 不明 壮年期	8歳位	銭貨15枚 土器・礫・金属製品・その他	18世紀後半	写30・38
3	土壌104・105・148と重複	不整形円形 /円形	77 /60	75 /65	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	156	普通	男	壮年期		銭貨10枚 炭化物	18世紀初頭	
4	土壌12と重複	不整形円形 /円形	104 /84	(103) /80	—	—	—		8 12	普通	女	壮年期	同一固体	銭貨4枚 磁器・繊維製品	18世紀初頭	
5	土壌14と重複	不整形円形 /不整形円形	79 /65	75 /62	座位	南東?	—	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は腹部上から出土している。	13A 13B	比較的良好 やや不良	男 不明	壮年期 熟年期		銭貨37枚 磁器・陶器・土器・礫・繊維製品・その他	18世紀後半	巻頭5・写30
6	—	円形 /円形	116 /107	113 /109	—	—	—		15 23 25	普通 やや不良 普通	女 女 女	壮年期 熟年期 壮年期		銭貨34枚 土器・礫・繊維製品・その他	18世紀後半	写30
7	—	円形 /円形	85 /80	79 /74	座位	—	—	円形木棺の底部(底径70cm)が検出されている。銭貨は人骨周辺から出土している。	19	普通	女	壮年期		銭貨26枚 繊維製品・その他	18世紀中頃	写30
8	土壌24と重複	長方形 /長方形	105 /90	79 /68	—	—	—	銭貨が出土しているが、帰属遺構は土壌8か土壌24かは不明である。	29	やや不良	男	壮年期		銭貨21枚 土器・礫・その他	18世紀初頭	
9	土壌35と重複	方形? /方形?	87 /76	? /50	座位	北西	—	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は重なった状態で肩部付近から出土している。	34 —	不良 不良	女 不明	熟年期 小児	6歳位	陶器・礫・その他	18世紀以降	巻頭2・写30
10	土壌13・37-2・38と重複	不整形円形 /不整形円形	92 /81	91 /81	—	—	—		21 51 —	良好 不良 普通	男 女 女	壮年期 壮年期 壮年期		銭貨26枚 土器・金属製品・礫・その他	18世紀初頭	写30・31
11	土壌31・32・33と重複	円形 /円形	95 /85	(78) / (59)	座位	南西	—	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は散乱した状態で出土している。	11 53	不良 良好	男 男	熟年期 熟年期	推定身長約 158cm	銭貨14枚 土器・金属製品・礫・その他	18世紀初頭	
12	土壌4・36と重複	不整形円形 /不整形円形	(107) /80	(88) / (78)	座位	—	—		16	良好	男	熟年期		銭貨6枚 土器・礫・その他	18世紀初頭	写31
13	土壌10・37-2と重複	方形? /方形?	78 /70	(32) / (30)	—	—	—		20	良好	女	熟年期		銭貨18枚 金属製品・その他	18世紀初頭	巻頭7
14	土壌5・57と重複	不整形円形 /不整形円形	94 /88	94 /82	—	—	—		18	普通	男	壮年期		銭貨27枚 土製品・その他	18世紀後半	
15	—	不整形円形 /不整形円形	97 /78	88 /75	—	—	—	銭貨は頭部付近より散らばった状態で出土している。	22	やや不良	女	熟年期		銭貨37枚 礫・その他	18世紀中頃	写31
16	土壌17と重複	円形 /円形	130 /122	126 /120	—	—	—	土壌中心部は平面円形状の落ち込みが確認でき、その落ち込み部分から人骨が検出された。銭貨は人骨付近から重なった状態で出土している。	60	やや不良	女	壮年期		銭貨8枚 土器・礫・その他	19世紀中頃	写31
17	土壌16・20・50・81と重複	不明	99	51	—	—	—	重複が著しく詳細は不明である。	—	不良	男	不明			18世紀後半	
18	土壌19・37-1と重複	不整形円形 /不整形円形	82 /77	(45) / (44)	—	—	—		24	不明	不明	不明	長骨片少量	銭貨24枚	18世紀後半	
19	土壌18・37-1と重複	楕円形 /楕円形	80 /73	72 /69	座位	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	32	比較的良好	男	壮年期		銭貨6枚 金属製品・繊維製品・その他	17世紀後半	写31
20	土壌17・21と重複。 土壌50上より検出。	方形? /方形?	80 /63	(76) / (74)	座位	南西	—	検出状況では仰臥屈葬に近い状態であるが、本来は座位屈葬と推定される。	27	比較的良好	男	壮年期	推定身長約 159cm	金属36枚 土器・金属製品・礫・その他	18世紀後半	巻頭2・写31
21	土壌20と重複	不整形円形 /方形	90 /72	87 /67	座位	—	—	銭貨は頭骨周辺から出土している。	26	普通	女	壮年期		銭貨66枚 土器・金属製品・その他	18世紀後半	巻頭2・写31
22	—	不整形円形 /円形	92 /75	87 /72	座位	—	—	銭貨は人骨付近からまとまって出土している。	32	不良	男	熟年期		銭貨6枚 土器・礫・その他	18世紀初頭	写31
23	—	円形 /円形	80 /67	78 /67	—	—	—	銭貨は人骨付近から出土している。	30	やや不良	女	壮年期		銭貨4枚 土器・礫・その他	17世紀後半	写32
24	土壌8と重複	不整形方形? /方形?	88 /78	(72) / (58)	—	—	—	人骨は仰臥状態で検出されているが、埋葬時には座位か。銭貨はまとまった状態で胸部付近から出土している。	28	良好	男	壮年期		銭貨71枚以上 土器・金属製品・礫・その他	18世紀初頭	

() は残存値、備考欄の巻頭・写番号は巻頭図版番号・写真図版番号

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸：cm (上/下)	短軸：cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓壇の備考	人 骨					出土遺物	推定年代	備考
									骨No.	遺存度	性別	年齢	人骨の備考			
25	—	—	—	—	—	—	—	位置不明	—	—	—	—				
26	—	—	—	—	—	—	—	位置不明	—	—	—	—				
27	土壇53上より検出	不明	—	—	—	—	—		33	不良	男	老年期		銭貨18枚 土器・金属製品・その他	18世紀中頃	
28	土壇36・37・2・38と重複	円形？ /円形？	不明	不明	座位	—	○	墓壇は一部が残存するのみで法量は不明とした。銭貨は人骨周辺から出土した。	38	普通	不明	小児	13歳位	銭貨18枚 その他	18世紀中頃	
29	土壇30・63と重複	不整円形 /円形	107 /90	(90) / (79)	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	39	普通	女	熟年期		銭貨18枚 礫・その他	18世紀初頭	
30	土壇29・63と重複	不整円形 /不整円形	105 /84	(90) / (75)	—	—	○	銭貨は人骨周辺から重なって出土している。	50	やや不良	女	壮年期		銭貨24枚	18世紀初頭	
31	土壇11・32・33と重複	不整円形？ /不整円形？	(92) /81	(69) / (61)	—	—	—		44 45 —	普通 不良 不良	女 女 女	老年期 壮年期 壮年期		銭貨42枚 礫・その他	18世紀後半	写32
32	土壇11・31・33と重複	不整円形 /不整円形	104 /63	(80) / (60)	—	—	—		—	不良	不明	不明	覆土中より 出土		不明	
33	土壇11・31・32・34と重複	円形 /円形	109 /100	96 /93	—	—	—		83	比較的良好	女	壮年期		銭貨7枚 土器・金属製品・礫・その他	18世紀初頭	巻頭5
34	土壇33・58・77と重複	円形？ /円形？	(98) /93	? / (34)	—	—	—		—	不良	不明	不明		土器	不明	巻頭5
35	土壇9と重複	正方形 /正方形	(77) / (74)	(68) / (63.5)	座位	北	○	検出状況では仰臥屈葬に近い状態であるが、人骨の埋葬姿勢は本来座位屈葬と推定される。銭貨は頭部付近から重なった状態で出土している。	75	良好	女	壮年期	推定身長約 148cm	銭貨24枚以上 土器・金属製品・ガラス 製品・繊維製品・礫・その他	18世紀後半	巻頭8
36	土壇12・28・38・53と重複	円形 /円形	(109) /92	(95) /84	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。墓壇上から座位屈葬の人骨が検出されているが、遺構番号等不明。	57	良好	女	壮年期	推定身長約 140cm	銭貨6枚 金属製品	18世紀初頭	写32
37-1	土壇18・19と重複	不整円形 /不整円形	—	—	—	—	—		35	やや不良	男	壮年期		銭貨20枚 土器・漆器・その他	18世紀後半	写32
37-2	土壇10・13・28・38と重複	不整円形？ /不整円形？	—	—	—	—	—		—	—	—	—				
38	土壇10・28・36・37-2・53と重複	方形/方形	(87) / (82)	(74) / (70)	—	—	—		—	やや不良	男	壮年期		土器・金属製品・礫	18世紀後半	
39	—	不整円形 /不整円形	94 /80	90 /72	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	40	不良	女	成人		銭貨4枚	17世紀後半	
40	土壇41と重複	円形 /円形	不明	不明	座位か	—	○	人骨はやや散乱した状態で検出されているが座位の可能性がある。銭貨は人骨周辺から出土している。	67A 67B	良好 やや不良	男 女	熟年期 壮年期	推定身長約 163cm	銭貨24枚 土器・その他		
41	土壇40と重複	円形 /円形	87 /76	78 /67	座位	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	77A 77B	良好 不良	男 女	熟年期 壮年期		銭貨20枚 金属製品・その他		
42	土壇59・60と重複	不整長方形 /不整長方形	134 /100	(73) /68	—	—	—		51	不良	不明	不明	長骨片のみ 出土	金属製品・その他	18世紀後半	写32
43	—	楕円形 /楕円形	92 /75	78 /68	—	—	○	銭貨は散らばった状態で出土している。	42	不良	女	成人		銭貨9枚 漆器	18世紀後半	写32
44	土壇79・80・81と重複	長楕円形？ /長楕円形？	(125) / (120)	(78) / (68)	—	—	—		70	普通	男	熟年期		土器	不明	巻頭5・写31
45	—	円形 /円形	112 /85	104 /71	—	—	○	銭貨は重なって人骨周辺から出土している。	34	普通	女	壮年期		銭貨18枚 金属製品・その他	17世紀後半	
46	土壇47・76と重複	楕円形 /楕円形	(80) /66	75 /55	座位か	—	○	銭貨は頭骨周辺から出土している。	68	普通	男	壮年期		銭貨6枚 土器・礫・その他	17世紀後半	写32
47	土壇46・76と重複	不整円形 /不整円形	83	72 / (78)	—	—	○	銭貨は人骨周辺から重なって出土している。	69	不明	女	老年期		銭貨10枚 土器・礫・その他	18世紀初頭	写32
48	土壇65上より検出	不整円形？ /不整円形？	87 / (70)	(22) / (17)	座位	北東	—	検出状況では仰臥屈葬に近い状態であるが、人骨は埋葬姿勢は座位屈葬とした。	74 65A 65B 65C 78	良好 普通 良好 不良 良好	男 不明 男 不明 男	熟年期 小児 成人 不明 壮年期	8歳位	銭貨33枚 土器・土製品・金属製 品・ガラス製品・繊維製 品・その他	18世紀後半	巻頭6・7
49	—	不整円形 /円形	(100) /82	110 /76	座位	—	○	検出状況では仰臥屈葬に近い状態であるが、人骨は埋葬姿勢は座位屈葬とした。銭貨は人骨胸部上付近から出土している。	63	比較的良好	女	壮年期		銭貨6枚 礫	18世紀初頭	写32

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸：cm (上/下)	短軸：cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓壇の備考	人 骨					出土遺物	推定年代	備考
									骨No.	遺存度	性別	年齢	人骨の備考			
50	土壇17と重複。 土壇20下より検出。	円形 /円形	107 /96	97 /90	—	—	○	銭貨は頭骨周辺から散らばった状態で検出されている。	59	比較的良好	男	老年期		銭貨16枚 金属製品・礫・その他	18世紀後半	写31・33
51	土壇60・62と重複	—	—	—	—	—	—		58	比較的良好	女	壮年期	推定身長約 144cm	銭貨30枚 金属製品・その他	18世紀後半	巻頭7・写33
52	土壇57と重複	楕円形 /楕円形	105 /95	79 /66	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	46	普通	女	熟年期		銭貨16枚 土器・その他	18世紀後半	
53	土壇36・38と重複。 土壇27下より検出。	方形 /方形	不明	不明	—	—	—		43	普通	女	壮年期		銭貨18枚 金属製品・その他	18世紀中頃	巻頭7・写33
54	土壇55・68を切る	正方形 /正方形	(83) /71	80 /74	座位	北東か	—		54	比較的良好	男	壮年期		銭貨25枚 金属製品・繊維製品・ 礫・その他	18世紀後半	写33
55	土壇54に切られる。 土壇68を切る。	正方形 /正方形	91 /88	89 /77	—	—	—		55	普通	男	老年期		銭貨42枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	写33
56	土壇66と重複	不整円形 /不整円形	87 /80	(70) / (66)	—	—	○	銭貨は人骨周辺からまとまって出土している。	41	やや不良	女	壮年期		銭貨23枚 繊維製品・礫・その他	18世紀中頃	
57	土壇14・52と重複	長方形 /長方形	198 /188	(65) / (61)	側臥伸 展葬	北東頭 南東顔	—		36	比較的良好	男	熟年期		銭貨4枚 金属製品・礫・その他	18世紀後半	巻頭3・8・ 写33
58	土壇34と重複	円形 /円形	94 /90	93 /90	座位	北東	○	人骨は仰臥折曲屈葬の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は胸部上から重なって出土している。	82 100	普通 比較的良好	女 女	老年期 壮年期		銭貨18枚 土器・金属製品・繊維製 品・礫・その他	18世紀初頭	写33
59	土壇42と重複	正方形 /正方形	95/80	95 /76	座位か	—	—		(52)	やや不良	男	成人		銭貨3枚 金属製品・その他	19世紀	写33
60	土壇42・51と重複	不明 /楕円形	? / (64)	65 /50	仰臥か	東	○	人骨は仰臥屈葬の状態で検出されている。墓壇形態、および規模から座位ではないと推定した。したがって仰臥屈葬で埋葬された可能性がある。銭貨は重なった状態で下肢付近から出土している。	62	良好	女	熟年期	推定身長約 146cm	銭貨30枚	18世紀後半	写33
61	土壇79上より検出	不明	不明	不明	—	—	—		61	普通	男	老年期		銭貨24枚 金属製品	18世紀後半	
62	土壇51と重複	—	—	—	—	—	—		48	やや不良	男	壮年期		銭貨1枚		写33
63	土壇29・30と重複	円形? /円形?	108 /86	? / (40)	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	49	普通	男	熟年期		銭貨18枚	18世紀後半	
64	—	楕円形 /不整円形	105 /60	94 /66	座位	—	—	銭貨は頭部周辺から出土している。	64	普通	男	熟年期		銭貨6枚	18世紀中頃	
65	土壇48下より検出	楕円形 /楕円形	87 /73	72 /52	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	80	やや不良	男	熟年期		銭貨6枚	17世紀後半	写32
66	土壇56と重複	不整円形 /不整円形	84 /75	(60) / (56)	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	—	不良	不明	不明	骨片数点出 土	銭貨14枚	18世紀初頭	
67	土壇123・126・137の 上より検出	不明	不明	不明	—	—	—	人骨のみ検出。墓壇の存在は確認できず。直葬か。	52	普通	男	壮年期		銭貨18枚 金属製品		
68	土壇54・55に切られ る	円形? /円形?	不明	不明	—	—	—	土壇54・55に切られているため計測不能である。	56	やや不良	不明	成人			18世紀初頭	
69	土壇111と重複	不整円形 /不整円形	90 /83	90 /73	—	—	○	銭貨は重なった状態で人骨周辺から出土している。一部の人骨は土壇111上にかかる。	91	不良	女	壮年期		銭貨8枚 礫・その他	17世紀後半	
70	—	不整円形 /不整円形	95 /78	92 /73	座位	—	○	銭貨は重なった状態で人骨周辺から出土している。	97	やや不良	男	熟年期		銭貨6枚 ガラス製品・繊維製品	18世紀初頭	巻頭8・写34
71	—	不整方形 /不整方形	80 /76	76 /65	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定。遺物は人骨の胸部上から出土している。	89	比較的良好	男	老年期		銭貨24枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	巻頭3・5・ 7・8・写34
72	—	方形 /正方形	102 /92	87 /72	座位	南西	○	底部2段になっている。正方形木棺使用か。最底部は正方形、規模は61×59cm。銭貨は頭部付近から出土している。	93	比較的良好	男	壮年期		銭貨12枚 陶器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	巻頭4・5・ 写34
73	土壇118・119と重複	正方形 /正方形	79 /73	78 /72	—	—	○	銭貨は人骨周辺、墓壇壁近くからちらばって出土している。	111	普通	女	老年期		銭貨48枚以上	18世紀後半	写34
74	—	円形 /円形	90 /81	84 /71	—	—	—		—	やや不良	女	壮年期		銭貨6枚 その他	18世紀初頭	巻頭5・写34
75	土壇82・109と重複	円形? /円形?	(77) / (67)	(37) / (30)	—	—	—		92	普通	男	壮年期		銭貨17枚 金属製品・礫・その他	17世紀後半	

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸: cm (上/下)	短軸: cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓壕の備考	人 骨					出土遺物	推定年代	備考
									骨No	遺存度	性別	年齢	人骨の備考			
76	土壕46・47と重複	不整円形？ /不整円形？	？ / (53)	？ / (52)	座位か	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	66	比較的良好	不明	小児		銭貨24枚 金属製品・その他	18世紀後半	写32
77	土壕34・78と重複	円形 /円形	118 /109	102 /93	座位	北西	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	86 87	やや不良 良好	女 女	壮年期 壮年期	推定身長約 145cm	銭貨24枚 金属製品・礫・その他	18世紀後半	
78	土壕77・126と重複	不整円形 /不整円形	90 /78	88 /78	—	—	—		109	普通	男	壮年期		銭貨3枚 その他	18世紀初頭	写34
79	土壕44・80と重複。 土壕61下より検出。	方形 /方形	94 /85	87 /80	—	—	○	銭貨は重なった状態で頭部付近から出土。	71	比較的良好	男	青年期		銭貨37枚 金属製品・その他	18世紀初頭	写31
80	土壕44・79・81と重複	楕円形 /円形	89 /68	74 /64	座位か	—	○	銭貨は重なった状態で足元から出土。	72	普通	男	壮年期		銭貨6枚 金属製品・その他	17世紀後半	写31・34
81	土壕17・44・80と重複	不整円形 /円形	105 /86	(67) / (58)	—	—	○	銭貨は人骨付近から重なった状態で出土。	73	不良	男	壮年期		銭貨18枚 その他	17世紀後半	写31・34
82	土壕75・94・109と重複	不整円形 /円形	92 /81	91 /80	—	—	—		118	比較的良好	女	壮年期		土器・礫	不明	写34
83	土壕122と重複	楕円形？ /楕円形？	90/78	(61) / (57)	座位	北西	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位であったと推定される。銭貨は胸部上から出土。	88	比較的良好	男	壮年期		銭貨3枚	18世紀初頭	写35
84	土壕85・122と重複	楕円形 /楕円形	100 /75	88 /73	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位であったと推定される。銭貨は胸部上から出土。	132	普通	男	熟年期		銭貨30枚 土器・その他	17世紀後半	写35
85	土壕84・97・98と重複	不整方形？ /不整方形？	92 /80	(88) / (81)	—	—	—		103	普通	男	壮年期		銭貨18枚 金属製品	18世紀初頭	写35
86	土壕95・113・128・ 136と重複	正方形？ /正方形？	77/69	(74) /69	座位か	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	129	良好	女	壮年期	推定身長約 152cm	銭貨18枚 金属製品	18世紀初頭	写35
87	—	不整円形 /不整円形	111 /78	88 /65	座位	南西か	○	銭貨は頭部付近から重なって出土。	95	不良	女	壮年期		銭貨6枚 土器・礫・その他	17世紀後半	
88	—	円形 /円形	117 /98	106 /96	—	—	○	銭貨は人骨周辺からまとまって出土している。	96	不良	不明	壮年期		銭貨7枚 金属製品・繊維製品・ 礫・その他	18世紀初頭	
89	土壕110と重複	円形 /円形	111 /90	110 /90	座位	北西か	○	銭貨は頭部付近から重なって出土。	112	普通	女	壮年期		銭貨19枚 土器・礫・その他	18世紀後半	写35
90	—	楕円形 /楕円形	100 /81	94 /68	座位	東か	○	銭貨は頭部付近から出土。人骨は仰臥の状態で検出されている。また、人骨は墓壕南壁近くから検出されている。	90	比較的良好	男	壮年期		銭貨7枚 金属製品・その他	18世紀初頭	写35
91	—	楕円形 /楕円形	82/73	76 /55	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土しており、人骨と銭貨は墓壕北西隅にまとまっている。	85	不良	不明	不明		銭貨1枚 礫・その他	18世紀初頭	写35
92	土壕114・115・121と 重複	円形？ /円形？	(69) / (58)	(30) / (17)	座位か	—	—	人骨は土壕115上にかかる。	98A 98B	不良 不良	不明 不明	幼児 不明	4歳位	銭貨16枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	
93	土壕134と重複。 土壕153上より検出。	方形 /方形	80 /76	(69) / (57)	座位か	—	○	人骨は一部土壕153上にかかる。銭貨は人骨周辺から出土している。	120 175A 175B 171 172	不良 普通 比較的良好 やや不良 不良	不明 不明 男 不明 不明	成人 幼児 熟年期 幼児 成人	4歳位 推定身長約 159cm	銭貨44枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	巻頭8・写36
94	土壕82と重複	不整方形 /不整方形	(70) / (62)	(89) / (91)	—	—	—		—	やや不良	男	壮年期		その他	19世紀	写34
95	土壕86と重複	不整円形 /不整円形	72/66	(53) / (47)	座位か	—	○	人骨は土壕86上にかかる。	101	普通	不明	幼児	4歳位	銭貨2枚 土製品・金属製品・繊維 製品・その他	19世紀中頃	巻頭6・8・ 写36
96	—	円形 /円形	92 /73	87 /75	座位か	—	○	銭貨はまとまった状態で人骨周辺から出土している。	84	比較的良好	不明	小児	10歳位	銭貨69枚 磁器・金属製品・漆器・ 礫・その他	18世紀後半	巻頭5
97	土壕85・98と重複	正方形 /正方形	97 /90	95 /88	—	—	—		104	良好	男	壮年期	推定身長約 157cm	土器・金属製品・その他	不明	写35・36
98	土壕85・97と重複	正方形 /正方形	72 /60	(56) /50	—	—	—		105	普通	女	壮年期		銭貨30枚 磁器・陶器・土器金属製 品・礫・その他	18世紀中頃	写35

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸: cm (上/下)	短軸: cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓壇の備考	骨No.	遺存度	性別	年齢	人骨の備考	出土遺物	推定年代	備考
99	土壇101・102・147と重複	円形? /円形?	(52) / (45)	(34) / (27)	座位	東	○	人骨は土壇101・147にかかる。人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。人骨は頭骨と胸部の間から重なって出土している。	135	比較的良好	女	壮年期	推定身長約144cm	銭貨32枚 金属製品・その他	18世紀後半	写36
100	—	正方形	—	—	—	—	—	経塚	—	—	—	—	—	礫石点数76235個	1696～1702	巻頭4・ 写29・30
101	土壇2・99・147と重複	不整形円形 /円形	92 /71	82 /71	座位	南西か	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は人骨周辺から出土している。	142 165	不良 普通	男女	成人 壮年期	—	銭貨6枚 土器・金属製品・礫・その他	18世紀初頭	写36・38
102	土壇99・104と重複。 土壇103下より検出。	円形? /円形?	? /67	(33) / (26)	座位	北西	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は人骨周辺から出土している。	136 <157>	普通 普通	男男	壮年期 成人	B135・136 と同一固体 推定身長約158cm	銭貨6枚	17世紀後半	写36
103	土壇104と重複。 土壇102上より検出。	不整形円形 /円形	75 /64	75 /62	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は人骨周辺から出土している。	157	比較的良好	女	壮年期	推定身長約148cm	銭貨15枚 繊維製品・礫・その他	18世紀後半	写36・38
104	土壇3・102・103と重複	円形? /円形?	90 /75	? / (35)	—	—	—	—	154	普通	男	壮年期	—	銭貨30枚 礫・その他	18世紀後半	—
105	土壇3・106・148と重複	不整形円形? /不整形円形?	72 /55	(37) / (32)	—	—	—	—	175 179	不良 不良	不明 不明	成人 熟年期	—	土器・その他	不明	—
106	土壇105・148と重複	正方形 /正方形	90 /85	(81) /79	座位	—	○	銭貨は人骨からやや離れた位置からまともって出土している。	127	普通	女	熟年期	—	銭貨42枚前後 金属製品・その他	19世紀	—
107	土壇123・126・137と重複	正方形? /正方形?	(103) / (90)	(89) / (68)	座位	北東	○	人骨は土壇137上に位置し、仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は重なった状態で胸部上から出土している。	108	比較的良好	女	壮年期	—	銭貨24枚 磁器・金属製品・繊維製品・その他	18世紀後半	巻頭5・8・ 写36
108	土壇149・150と重複	方形? /方形?	不明	不明	座位	北か	○	人骨は土壇150上に位置する。人骨は座位と推定される。銭貨は重なった状態で仁津古周辺から出土している。	141 116	比較的良好 不良	女女	壮年期 壮年期	推定身長約139cm	銭貨47枚 陶器・土器・金属製品・礫・その他	—	写36
109	土壇75・82と重複	円形 /円形	92 /81	91 /80	座位	北東	○	銭貨は重なった状態で出土している。人骨は仰臥屈曲葬の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。	94	良好	男	壮年期	推定身長約170cm	銭貨22枚 その他	18世紀後半	—
110	土壇89と重複	円形 /円形	87/80	(56) / (54)	座位	—	○	銭貨は重なった状態で人骨周辺から出土している。	113	普通	男	熟年期	—	銭貨6枚 金属製品・ガラス製品・その他	18世紀初頭	巻頭8・写35
111	土壇69と重複	円形? /円形?	90 /78	(27) / (22)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	—
112	土壇113・136と重複	方形 /方形	(81) / (79)	67 /61	座位か	—	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は重なった状態で、人骨付近から出土している。	131	比較的良好	女	壮年期	推定身長約142cm	銭貨7枚 その他	18世紀後半	写35
113	土壇86・112・128・136と重複	方形 /方形	不明	不明	—	—	—	土壇112・136との重複により墓壇北側の詳細不明。	107	やや不良	女	熟年期	—	銭貨7枚 土器・金属製品・その他	18世紀初頭	—
114	土壇92・116・121と重複	方形 /方形	122 /75	98 /75	—	—	—	人骨は土壇121人骨下に位置している。銭貨は人骨上からまともって出土している。	99 150 139	不良 比較的良好 やや不良	女男 男女 女	不明 壮年期 壮年期	推定身長約157cm	銭貨51枚 土器・金属製品・その他	18世紀初頭	写37
115	土壇92と重複	不整形円形 /不整形円形	85 /69	85 /66	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は人腹部上からまともって出土している。また人骨の一部は墓壇南西壁に寄っている。銭貨は腹部上から出土している。	—	—	—	—	—	銭貨7枚 繊維製品	18世紀初頭	写37
116	土壇114と重複。 土壇117に切られる。	不整形円形 /不整形円形	82 /65	80 /58	座位	—	—	銭貨は陣津古周辺から出土している。	152 134	比較的良好 不良	女 不明	壮年期 成人	—	銭貨18枚 土器・金属製品・その他	18世紀初頭	写37
117	土壇116を切る	円形? /円形?	79 /65	(70) / (63)	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で見出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は人腹部上からまともって出土している。また人骨の一部は土壇116の上に位置している。	122	良好	男	熟年期	推定身長約153cm	銭貨12枚 土器	18世紀後半	写37
118	土壇73・119と重複	正方形? /正方形?	(47) / (43)	(34) / (33)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	写34

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸:cm (上/下)	短軸:cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓墳の備考	人 骨					出土遺物	推定年代	備考
									骨No.	遺存度	性別	年齢	人骨の備考			
119	土壇73・118と重複	正方形？ /正方形？	76 /69	(69) /65	—	—	—	銭貨は人骨周辺から出土している。	110	普通	女	壮年期		銭貨18枚 陶器・土器・金属製品・ 礫・その他	不明	巻頭7・ 写34・37
120	土壇127・130と重複	円形 /円形	110 /95	104 /97	—	—	○	銭貨は頭骨周辺から出土している。	— 121	不良 比較的良好	不明 男	幼児 熟年期	4歳位	銭貨22枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀中頃	
121	土壇92・114と重複。	円形？ /円形？	(75) / (65)	(24) / (17)	座位	北東	—	人骨はやや仰臥に近い状態で検出されてい る。人骨は土壇114上に位置している。	—	—	—	—		土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀初頭	
122	土壇83・84と重複	不整円形？ /不整円形？	94 /86	? / (63)	—	—	—		117	比較的良好	男	熟年期	推定身長約 154cm	銭貨20枚 礫・その他	18世紀後半	
123	土壇107と重複。 土壇67下より検出。	円形/円形	93 /81	87 /81	—	—	—		102	不良	女	壮年期		銭貨10枚 礫	18世紀中頃	
124	—	正方形 /正方形	88 /82	86 /83	座位	北東	○	銭貨は頭骨下より出土している。	124	比較的良好	男	壮年期		銭貨34枚 金属製品・繊維製品・そ の他	18世紀後半	写37
125	土壇126・137と重複	円形 /円形	83 /71	(71) /68	—	—	—		114	不良	男	熟年期			不明	
126	土壇78・107・125・ 137と重複。土壇67下 より検出。	正方形 /正方形	85 /71	84 /74	座位	—	○	銭貨は人骨周辺からまとまって出土してい る。	159	比較的良好	男	熟年期		銭貨18枚 金属製品・礫・その他	18世紀後半	写37
127	土壇120・129・130と 重複	円形？ /円形？	104 /99	? / (74)	座位	北西か	○	銭貨は腹部上からまとまって出土してい る。	133	普通	女	壮年期		銭貨29枚 金属製品・繊維製品・そ の他	18世紀中頃	写37
128	土壇86・113と重複	不整円形？ /不整円形？	(50) /?	(33) /?	—	—	—	詳細は不明である。	—	—	—	—		銭貨24枚程度	18世紀後半	
129	土壇127・130と重複	不整円形 /不整円形	94 /79	(72) / (67)	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本 来は座位と推定される。銭貨は胸部上から 重なって出土している	123	比較的良好	男	壮年期		銭貨36枚 土器・礫・その他	18世紀初頭	写37
130	土壇120・127・129と 重複	円形 /円形	119 /96	(54) / (44)	—	—	○	人骨は土壇127にまで及んでいる。	125 —	不良 不良	不明 不明	不明 不明		その他	不明	
131	—	—	—	—	—	—	—	土壇139と重複している可能性がある。	—	—	—	—		銭貨24枚		
132	土壇139・146と重複	方形 /方形	104 /70	? / (50)	—	—	○	銭貨は人骨上から重なった状態で出土して いる。	119 173	不良 不良	女 女	成人 壮年期		銭貨18枚 その他	18世紀初頭	
133	—	—	—	—	—	—	—	位置不明	—	—	—	—		銭貨26枚 金属製品		
134	土壇93と重複。 土壇146上より検出。	正方形？ /正方形？	97 /88	(89) / (84)	—	—	○	人骨は一部土壇146上にかかる。銭貨は人 骨周辺から出土している。	158	普通	男	熟年期		銭貨94枚 金属製品・繊維製品・そ の他	18世紀後半	
135	土壇153と重複	方形？ /方形？	67 /63	(65?) / (50?)	座位	北東	○	円形木棺使用。転倒しており、仰臥の状態 で検出されてる。銭貨は腹部上から検出さ れている。	170 176A 176B	やや不良 良好 不良	男女 女男	熟年期 壮年期 壮年期	推定身長約 147cm	銭貨13枚 土器・金属製品・その他	18世紀初頭	
136	土壇86・112・113と 重複	方形？ /方形？	(82) / (76)	(67) / (62)	—	—	—		130	不良	不明	壮年期		銭貨2枚 金属製品	18世紀初頭	
137	土壇107・125・126と 重複。土壇67下より 検出。	円形 /円形	87 /76	80 /71	—	—	○	銭貨は人骨上からまとまって出土してい る。	160 — 138	不良 不良 不良	男 不明 不明	熟年期 壮年期 壮年期	覆土中より 出土	銭貨54枚程度 漆器・繊維製品・その他	18世紀後半	写38
138	土壇149上より検出	円形？ /円形？	98 /88	(95) / (75)	座位	北	○	銭貨は人骨周辺から散乱した状態で出土し ている。	145 168	やや不良 比較的良好	男 女	熟年期 壮年期		銭貨59枚 土器・漆器・金属製品・ 繊維製品・礫・その他	18世紀中頃	写38
139	土壇132・146と重複	不整楕円形？ /不整楕円形？	91 /71	(45) / (32)	座位か	—	○	銭貨は重なった状態で頭骨下から出土して いる。	167	良好	男	熟年期		銭貨60枚 土器・金属製品・礫・そ の他	18世紀後半	
140	土壇141・142・143と 重複	不整円形？ /不整円形？	91/74	(64) / (55)	—	—	—	人骨は原位置をとどめていない可能性有。	149	不良	男	成人			不明	
141	土壇140・142・143と 重複	方形？ /方形？	(36) / (32)	不明	—	—	—		162	普通	男	熟年期		銭貨35枚程度 金属製品・その他	18世紀中頃	
142	土壇140・141・143と 重複	正方形 /正方形	93 /86	85 /81	座位	北東	—	銭貨は重なった状態で底面に落ち込んだ状 態で出土している。	146 147 161	不良 不良 普通	不明 男男	小兒 成人 壮年期		銭貨32枚 金属製品・その他	18世紀初頭	

遺構 番号	重複関係	平面形態 (上/下)	長軸：cm (上/下)	短軸：cm (上/下)	埋葬 姿勢	埋葬 方向	銭貨	墓壇の備考	人 骨				出土遺物	推定年代	備考
									骨No.	遺存度	性別	年齢			
143	土壇140・141・142と重複	方形？ /方形？	(24) / (26)	不明	—	—	—	東側の壁はオーバーハングしている。人骨は土壇142上からも検出されている。	148	不良	女	熟年期	陶器・金属製品・その他	18世紀中頃	巻頭 5
144	—	不整円形 /楕円形	99 /85	85 /77	座位	北西	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。人骨は寛骨周辺から出土している。	128	普通	男	熟年期	銭貨18枚 土器・礫・その他	17世紀後半	写38
145	—	円形 /円形	86 /72	82 /72	座位	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	126	普通	女	壮年期	銭貨3枚	18世紀初頭	写38
146	土壇132・139と重複。土壇134下より検出。	円形？ /円形？	(87) / (74)	(75) / (71)	—	—	—	銭貨は重なった状態で人骨上から出土している。	140 174	不良 普通	不明 女	乳児 壮年期	銭貨18枚 金属製品・ガラス製品・その他	18世紀初頭	
147	土壇2・99・101と重複	円形？ /円形？	(66) / (58)	(34) / (28)	—	—	—		166	不良	男	成人	礫	17世紀後半	写36・38
148	土壇3・105・106と重複	正方形？ /正方形？	(85) /78	(50) / (46)	—	—	—	銭貨は重なった状態で墓壇北西隅の壁から出土している。人骨は土壇3上にかかる。	155	やや不良	男	成人	銭貨6枚	18世紀後半	
149	土壇108・150と重複。土壇138下より検出。	円形？ /円形？	92 /88	90 /83	座位	北東	○	人骨は仰臥の状態で検出されているが、本来は座位と推定される。人骨は墓壇南西壁寄りに位置する。銭貨は人骨腹部上付近から出土している。	180	比較的良好	男	老年期	銭貨7枚	18世紀初頭	写38
150	土壇108・149・151と重複。土壇152上より検出。	不整形	110 /85	？ /92以上か	座位	北東	—	2基の墓壇が重なっている可能性が高い。人骨は土壇152上にかかる。	163	比較的良好	男	熟年期	銭貨24枚 金属製品・その他	18世紀後半	写38
151	土壇150・152と重複	円形？ /円形？	不明	不明	—	—	—	土壇152との重複が激しく詳細は不明。	—	—	—	—		不明	
152	土壇151と重複。土壇150下より検出。	円形/円形	102 /99	99 /80	—	—	—	墓壇上には土壇150人骨が位置している。	137	不良	不明	成人	銭貨12枚 金属製品・その他	18世紀初頭	
153	土壇135と重複。土壇93下より検出。	不整形？ /不整形？	70 /64	(50？) / (45？)	—	—	—		—	—	—	—	金属製品・礫・その他	18世紀初頭	写38
154	—	円形/円形	78 /74	78 /72	座位	北東	○	人骨は仰臥の城代で検出されているが、本来は座位と推定される。銭貨は胸部付近から重なった状態で出土している。	178	比較的良好	女	老年期	銭貨24枚 礫	18世紀後半	
155	土壇157と重複	正方形 /正方形	77 /74	76 /71	—	—	○	銭貨は人骨周辺から出土している。	181	普通	女	老年期	銭貨30枚 土製品・金属製品・その他	18世紀中頃	巻頭 6
156	—	円形 /円形	93 /76	(86) /76	—	—	—	銭貨は頭骨周辺から検出されている。	182	やや不良	男	熟年期	銭貨43枚 金属製品・その他	18世紀後半	
157	土壇155と重複	正方形？ /正方形？	66 /57	(21) / (20)	—	—	○	銭貨はまとまって出土している。	183	不良	男	熟年期	銭貨30枚 その他	不明	

備考欄の巻頭番号は巻頭図版番号

遺構番号	磁器	陶器	土器	磁製品	土製品	石製品	銭貨	釘	金属製品	ガラス製品	骨角貝製品	炭化物	木製品	綿	繊維	礫	その他	備考
1																		欠番
2			1				15	○				1	1			11	1	
3							10					2						
4	1						4								1			
5		1	4	1			37					5		1	2	2		陶器：餌猪口・轆轤・糸切り底（右）、灰釉・瀬戸・美濃／磁製品：碗、手捏ね・透明釉、肥前／巻頭5
6			4				34					4	1		1	1	1	
7							25					1	3		1		1	
8			4				21					1	2			2	2	
9		1										2	1			2		陶器：捏鉢・轆轤・灰釉・瀬戸・美濃
10			2				26	○				2		1			2	
11			9				14	○				3	1			2		
12			2				6					3				2		
13							18	○	2			2						煙管雁首1・吸口1／巻頭7
14					1		27					2						土製品：人形、型作り貼合
15							31					1				4		
16			1				8					2				4		
17																		
18							24											
19							6	○				2	1		1	1		
20			1				36	○				3	1			2		
21			2				66	○				1	1					
22			5				6					1	2			2		
23			9				4									1	1	
24			2			1	71	○	6			6	1			1	13	煙管雁首1・吸口（羅字付）1／石製品（石灰質白玉）は数珠か
25																		
26																		
27			1				18	○				3	3					
28							18					1						
29							18					2	2			1		
30							24											
31							42		2			1	3			1	1	煙管雁首1・吸口（羅字付）1
32			1															土器：胞衣皿・轆轤・糸切り底（左）
33			4				7	○				1	1			20		土器：カワラケ1・轆轤・糸切り底（左）／巻頭5
34			1															巻頭5
35			1				24	○	1	35		1			1	10	3	ガラス製品：ビーズ玉35、数珠／金属製品：針1／巻頭8
36							6	○										
37-1			1				20					1	3					漆器片2
38			3					○								2		
39							4											
40			3				24					1						
41							20	○				1						
42								○				1						
43							9						1					漆器片1
44			2															土器：カワラケ2・轆轤・糸切り底（左）／巻頭5
45			2				18	○					1					
46			1				6					5	1			1	1	
47			1				10					2				1	1	
48			1				33		1	1		1	5		1			ガラス製品：小瓶1／巻頭6・7、第1図
49							6									1		
50							16	○				1		1		6	1	
51							30		3				1					煙管雁首1・吸口1／巻頭7
52			2				16					1						
53							18	○	2				1					煙管雁首1・吸口1／巻頭7
54							25	○				2	4	1	1	1	3	
55			1				42	○					3			1		
56							23					1	1		1	2	3	
57						2	4	○	1			1	2					石製品2、端部穿孔、数珠か／巻頭8
58			1				18	○	2				1		1	26	1	煙管雁首1・吸口1
59							3	○					2					
60							30											
61							24		1									煙管雁首1
62							1											
63							18											
64							6											
65							6											
66							14											
67							18	○										
68																		
69							9					1	1			2	1	
70							6			44					1			ガラス製品：黒色ビーズ玉44、数珠／巻頭8
71			1				24	○	2		1		1			4		土器：胞衣皿／煙管雁首（羅字付）1・吸口1／骨角貝製品・筭1／巻頭5・7・8
72	1	1					12	○					2			1		磁器：小碗・轆轤・灰釉／陶器：燗德利・轆轤・灰釉・鉄絵、京都・信楽／巻頭5
73							48	○								1		
74							6					1						巻頭5
75							17		1				1			1		
76							24	○				1						
77							24	○	1			1	3			2		
78							3		1									

遺構番号	磁器	陶器	土器	磁製品	土製品	石製品	銭貨	釘	金属製品	ガラス製品	骨角製品	炭化物	木製品	綿	繊維	礫	その他	備考
79							37	○	1				1				1	
80							6	○				3	1					
81							18					2					1	
82			5													2		
83							3											
84			1				30						2				1	
85							18	○										
86							18	○										
87			1				6					1						
88							7	○				1	1		1	1		
89			4				24	○				3	1			2		
90							7	○				4						
91							1									1	1	
92			1				16	○				1	4			1		
93			1				44	○	1			1	1			1		金属製品：簪 1／巻頭 8
94												1						
95					20		2		3	198		1		12			3	土製品：泥面子20、型抜き／金属製品：簪 1／ガラス製品：青玉191、ガラス玉7、いずれも数珠／巻頭 6・8
96				1			69		1				1			1	1	磁製品：碗／手捏ね／透明釉／肥前、煙管吸口、漆器片 1／巻頭 5
97			1					○				1	1				1	
98		2	3				30	○				5				2		
99							32						3					
100			1													○	1	経塚／礫約76,235点（詳細は附編参照のこと）
101			4				6		1								2	
102							34											
103							15					1	1		1		1	
104							30						8			2	1	
105			1									1	1					
106							42		2				1				1	
107	1						24	○	3			4	3	3			3	磁器：小坏、轆轤、染付、肥前／金属製品：鉢 1、簪 2／綿・座布団 1／巻頭 5・8
108		1	4				47	○				3	2			1		
109							22					2	1				1	
110							6		1				10			2	2	木製品：数珠玉 9／巻頭 8
111																		
112							7					1	1				1	
113			1				7	○					1					
114			1				51	○				4	1				2	
115							7								1			
116			1				18	○					1					
117			1				12											
118																		
119		1	8				18	○	2			3	1			3	1	煙管雁首 1・吸口 1／巻頭 7
120			5				22		1			2				4	2	
121			2					○				2	2			1		
122			2				20					1	2			1	1	
123							10									8		
124							34	○					4		1			
125																		
126							18	○				1				2		
127							29	○	1			2	3	1				木製品：扇子 1
128							24											
129			1				36									1	1	
130												2						
131							24											
132							18					1						
133							26	○										
134							94	○				1	1		1		1	
135			1				13	○				2	1				1	
136							2	○	1									煙管吸口（羅字付）
137							54					1	2	1	1	2	1	漆器片 2
138			1				59	○					2			4		漆器片 1
139			1				60	○				2	1			5	1	
140																		
141							35	○					1					
142							32	○	2				5					
143		1						○					1					陶器：太白手筒茶碗、轆轤、染付、瀬戸・美濃／巻頭 5
144			1				18						1			14	2	
145							3											
146							18	○		1		2				9		
147																2		
148							6											
149							7											
150							24	○				1	1					
151																		
152							12						1					
153								○				1				2		
154							24									1		
155					1		30	○				1	3					土製品：鳩笛、型作り貼合、色絵（白・緑・黒）
156							43	○					1					
157							30						1					
計	3	8	126	2	22	3	2,820		46	279	1	140	139	21	18	196	71	礫約7,6431点

※釘については、腐蝕が激しく、本数を数えることができなかったため、出土の有無についてのみの記載とする。

第29表 浄禅寺跡遺跡第10地点出土銭貨一覧表

遺構 番号	古銭 番号	銭種	年号	枚 数	径 (mm)	備考
2	1	新寛永・元文亀戸銭	1737	4	23.0	銅銭4
		新寛永・鉄銭	1765	2	—	鉄銭2
2	200	新寛永・銭種不明	1765	9	—	銅銭3・鉄銭6/下層より出土
3	4	新寛永・四ツ宝銭	1708	1	24.3	銅銭1
		新寛永・文銭	1668	6	25.4	銅銭6
3	184	新寛永・文銭	1668	1	25.3	銅銭3(無文小銭含む)
		新寛永・元文深川銭	1736	2	21.8	銅銭4
4	8	新寛永・鉄銭	1636	1	24.3	新寛永区分不明
		新寛永・鉄銭	—	3	—	銅銭7・鉄銭17
5	14	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	銅銭6
		古寛永・芝銭	1636	1	24.1	銅銭7
5	26	新寛永・文銭	1668	5	24.8	銅銭7
		新寛永・文銭	1668	3	24.8	銅銭7
5	27	新寛永・文銭	1700	4	24.0	銅銭7
		新寛永・萩原銭	1700	4	24.0	銅銭7
6	9	新寛永・鉄銭	1765	3	連結	銅銭2・鉄銭1
6	10	新寛永・鉄銭	1765	9	連結	鉄銭9
6	11	新寛永・元文亀戸銭	1737	18	23.8	銅銭1
		新寛永・鉄銭	1765	1	—	鉄銭17/布付着
6	23	新寛永・無背銭	1673	4	24.5	銅銭4
7	15	新寛永・鉄銭	1765	2	連結	鉄銭2
7	17	古寛永・浅草銭	1636	1	23.5	銅銭12
		新寛永・無背銭	1673	11	24.8	銅銭12
7	21	古寛永・芝銭	1636	11	24.2	銅銭11(新寛永1)不明多し
		新寛永	1697	—	—	銅銭11(新寛永1)不明多し
8	44	古寛永・芝銭	1636	1	23.2	銅銭(連12・連8)
		新寛永・文銭	1668	19	24.9	正字入文
		新寛永・京都七條銭	1726	1	23.8	銅銭26(連結)/布付着
10	18	新寛永・文銭	1673	26	24.2	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	26	23.2	銅銭6
11	7	新寛永・文銭	1668	2	24.9	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	4	24.0	銅銭6
11	73	新寛永・無背銭	1668	1	24.9	銅銭8(萩原銭含む)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	7	24.2	銅銭8(萩原銭含む)
12	12	新寛永・耳白銭他	1714	6	24.1	銅銭6(新寛永3種)/布付着
		北宋銭・嘉泰通宝	1201	1	24.2	銅銭8
13	19	古寛永・芝銭	1636	5	23.9	銅銭8
		新寛永・虎尾銭	1736	2	23.5	銅銭8
13	20	新寛永・耳白銭	1737	10	22.0	銅銭10(2種以上)
14	13	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭4・鉄銭14
14	49	新寛永・鉄銭	1765	9	連結	銅銭3・鉄銭6 (鉄四文銭含む)
15	22	新寛永・四ツ宝銭	1708	7	23.4	銅銭7
15	24	新寛永・鉄銭	1765	24	24.2	銅銭6・鉄銭18
16	77	古寛永・芝銭	1636	1	23.1	銅銭6(連結)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	5	24.5	銅銭6(連結)
16	—	新寛永・鉄銭	—	2	24.2	銅銭2(連結)/最上層より
18	25	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭24/付着物
19	36	新寛永・文銭	1668	6	24.8	銅銭6(文銭2種)
		新寛永・鉄銭	1668	6	25.2	銅銭6(文銭2種)
20	30	新寛永・鉄銭	1765	36	連結	銅銭2・鉄銭34/木片付着
21	28	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	銅銭4・鉄銭20/布付着
21	29	新寛永・鉄銭	1765	42	連結	銅銭8・鉄銭34(3連1塊) /布付着
22	35	新寛永・文銭	1668	5	24.9	文銭(正字入文・退点文)
		新寛永・萩原銭	1700	1	25.0	銅銭6
23	32	新寛永・文銭	1668	1	24.9	銅銭1
23	34	古寛永・芝銭	1636	1	23.8	銅銭1
23	34	古寛永・芝銭	1636	2	23.9	銅銭2
24	31	新寛永・萩原銭	1700	11	23.2	銅銭11(元連結)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	11	24.9	銅銭11(元連結)
24	45	古寛永・浅草銭	1636	1	23.5	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	5	22.0	銅銭6
24	46	新寛永・鉄銭	1765	24	23.0	銅銭2・鉄銭22以上
24	86	新寛永・鉄銭	1765	30	連結	鉄銭30/歯付・布付着
27	—	新寛永・鉄銭他	1765	18	—	銅銭8・鉄銭10/塊/布付着
28	55	新寛永・背佐銭他	1714	18	23.2	銅銭13
		新寛永・鉄銭	1739	1	—	鉄銭5/布付着
29	50	新寛永・文銭	1668	16	24.9	銅銭18(1連は文銭)
		新寛永・高津銭	1741	2	21.4	裏元あり
30	72	新寛永・文銭	1668	24	24.9	銅銭24(2連)/布付着
		新寛永・耳白銭	1714	24	23.8	銅銭24(2連)/布付着
31	63	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭7・鉄銭11/布付着
31	64	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭24
33	97	新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭7
		新寛永(不明)	—	6	21.5	連結(絵銭含む)
35	91	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭24以上
36	74	古寛永・芝銭・浅草銭	1636	2	24.0	銅銭6
		新寛永・文銭	1668	3	25.1	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	1	23.0	銅銭6
37-1	39	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭2・鉄銭10
37-1	40	新寛永・鉄銭	1765	8	連結	銅銭4・鉄銭4
39	51	古寛永・浅草銭	1636	1	24.3	銅銭1
39	58	新寛永・文銭	1668	3	24.9	銅銭3/付着物
40	87	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭6/布付着
40	89	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭4・鉄銭14
41	48	古寛永・浅草銭他	1636	6	24.2	銅銭8(連結6+バラ)
		新寛永・文銭	1668	1	25.0	孔開き破損1含む
		新寛永・伏見銭	1736	1	23.6	元文亀戸銭他/付着物
41	95	新寛永・伏見銭他	1736	12	23.2	銅銭12(連結)
43	59	古寛永・芝銭	1636	6	24.2	銅銭6(連2・連4)/骨伴出
43	60	新寛永・鉄銭	1765	3	—	鉄銭3
45	52	新寛永・文銭	1668	6	23.5	銅銭6
45	53	新寛永・文銭	1668	12	24.9	銅銭12
46	86	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭6
47	85	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭10
		新寛永・四ツ宝銭	1708	4	22.5	新寛永3種

遺構 番号	古銭 番号	銭種	年号	枚 数	径 (mm)	備考
48	82	新寛永・元文深川銭	1736	6	23.2	銅銭6 (四ツ宝銭・丸尾銭 ・秋田銭各1・深川銭3)
48	83	新寛永・元文深川銭他	1736	3	22.8	銅銭3(元連結)
		新寛永・鉄銭	1765	3	—	鉄銭3/付着物
48	94	新寛永・四ツ宝銭	1708	18	23.5	銅銭18(元連結)
48	—	新寛永・秋田銭	1738	3	24.2	銅銭3(連結)/他不明
49	81	古寛永・芝銭	1636	2	24.2	銅銭6
		新寛永・文銭	1668	3	25.0	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	1	22.6	銅銭6
50	80	古寛永・浅草銭	1636	1	24.9	銅銭15
		新寛永・文銭・無背銭	1668	5	25.2	(四ツ宝銭含む)
		新寛永・萩原銭	1700	9	22.5	鉄銭1/布付着
		新寛永・鉄銭	1765	1	連結	鉄銭1/布付着
50	—	新寛永・鉄銭	1765	—	—	鉄銭(連結)
51	75	新寛永・鉄銭	1765	24	23.0	銅銭2・鉄銭22
		新寛永・日光正字銭	1737	3	24.2	銅銭3(四ツ宝銭他)
51	76	新寛永・鉄銭	1739	3	連結	鉄銭3
52	47	新寛永・無背銭	1673	8	23.8	銅銭8
		新寛永・元文亀戸銭	1737	22.0	—	銅銭8
52	65	新寛永・鉄銭	1765	2	連結	鉄銭2(各一半欠)
		唐銭・開元通寶	621	1	23.8	模鑄?
		新寛永・文銭	1668	1	24.9	銅銭6
52	66	新寛永・伏見銭	1736	4	24.2	四ツ宝銭・日光正字銭他 /布付着
53	56	新寛永・秋田銭他	1738	18	22.2	銅銭6連結
		新寛永・鉄銭	1739	—	—	鉄銭12
54	—	新寛永・鉄銭	1765	1	—	鉄銭1/バラ
54	—	新寛永・耳白銭他	1714	24	23.8	銅銭24(4種連結)
55	—	新寛永・広佐銭他・鉄銭	1717	24	23.8	銅銭12・鉄銭12(2連)
55	—	新寛永・鉄銭	1765	18	—	銅銭2・鉄銭16(連結)
		古寛永・芝銭	1636	2	24.7	銅銭12
56	52	新寛永・刮去銭・無背銭	1673	4	25.2	萩原銭・四ツ宝銭・ 虎尾銭・元文亀戸銭
		新寛永・足尾銭他	1741	6	22.0	銅銭1
56	53	新寛永・四ツ宝銭	1714	1	23.9	銅銭1
56	54	新寛永・元文亀戸銭	1737	1	23.4	銅銭1
56	57	古寛永・浅草銭	1636	2	24.2	銅銭2(縁抜け)
56	61	古寛永・芝銭	1636	1	24.2	銅銭1
56	62	新寛永・文銭	1668	1	24.8	銅銭1
		新寛永・鉄銭	1765	5	—	鉄銭5/付着物
56?	52?	新寛永・刮去銭	1673	1	24.8	銅銭18(連10・連3・バラ5)
		新寛永・虎尾銭	1736	17	22.4	元文亀戸銭・四ツ宝銭他
57	69	新寛永・鉄銭	1765	4	25.0	鉄銭4
58	115	新寛永・耳白銭他	1714	18	23.8	銅銭18(2連)/付着物
59	—	新寛永・鉄銭	1765	3	—	鉄銭3(連結)
60	79	新寛永・平野銭	1739	30	22.2	銅銭8(連結)
		新寛永・鉄銭	1765	30	連結	鉄銭22
61	78	新寛永・鉄銭	1735	24	23.0	鉄銭24
62	71	古寛永・芝銭	1636	1	24.2	銅銭1
63	70	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭7・鉄銭11 /布付着・人骨伴出
64	84	新寛永・文銭	1668	4	24.8	銅銭4
		新寛永・鉄銭	1765	2	—	鉄銭2/付着物
65	96	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭6
66	67	新寛永・耳白銭他	1714	13	23.0	銅銭13
66	68	古寛永・浅草銭	1636	1	24.2	銅銭1
67	148	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭16・鉄銭2/付着物
69	101	新寛永・文銭	1636	6	24.7	銅銭6(連結)
69	102	銭種不明	不明	1	破損	銅銭1
69	—	古寛永・浅草銭	1636	2	24.0	バラ/銅銭1 破損1枚
70	113	新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭6
		新寛永・耳白銭他	1714	5	22.9	銅銭6
71	100	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭24(錆膨れ多し)
72	106	新寛永・鉄銭	1765	12	—	鉄銭12(元連結)
73	130	新寛永・秋田銭他	1738	48	連結	銅銭12
		新寛永・鉄銭	1765	48	連結	鉄銭36以上/布付着
74	—	新寛永・銭種不明	—	6	23.3	銅銭6(連結)
75	104	新寛永・文銭	1668	17	25.0	銅銭17(全部連結)
76	41	新寛永・文銭	1668	1	24.2	銅銭2
		新寛永・萩原銭	1700	1	22.0	銅銭2
76	42	古寛永・芝銭	1636	2	24.8	銅銭3
		新寛永・萩原銭	1700	1	23.2	銅銭3
76	43	新寛永・耳白銭	1714	1	23.8	銅銭1(半欠)
76	88	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	鉄銭18
77	99	新寛永・鉄銭	1765	24	23.5	銅銭15・鉄銭9(連結2組)
77	103	新寛永・鉄銭	1765	—	破損	鉄銭片
78	61	新寛永・無背銭	1673	1	24.8	銅銭2
		新寛永・秋田銭	1738	1	23.4	銅銭2
78	155	新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭1
79	90	新寛永・文銭	1668	12	24.8	連結3組(元連結12・25)
		新寛永・四ツ宝銭他	1708	25	23.2	銅銭37(萩原銭含む)
80	92	新寛永・文銭	1668	6	25.1	銅銭6
81	93	新寛永・萩原銭	1700	11	24.4	銅銭18
		新寛永・高津銭	1741	7	21.8	(四ツ宝銭・日光銭 ・伏見銭・小梅銭他)
83	114	新寛永・文銭	1668	1	24.0	銅銭3(連結)
		新寛永・鳥越銭・伏見銭	1736	2	23.6	新寛永2種
84	120	新寛永・文銭	1668	20	24.9	銅銭24(連12・連12)
		新寛永・刮去銭	1673	4	25.0	/付着物
84	166	新寛永・文銭	1668	6	25.1	銅銭6/木片付着
85	121	新寛永・文銭	1668	1	24.9	銅銭18(連結)
		新寛永・耳白銭	1714	17	23.0	銅銭18(連結)
86	164	新寛永・元文亀戸銭	1737	10	23.2	銅銭10(元連結)
86	165	新寛永・元文亀戸銭	1737	3	23.2	銅銭3

遺構番号	古銭番号	銭種	年号	枚数	径(mm)	備考
86	168	新寛永・四ツ宝銭他	1708	4	23.8	銅銭5(連結)
		新寛永・足尾銭	1741	1	21.4	裏「足」
87	109	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭6(連結)
		念佛銭	—	1	24.2	南無阿弥陀佛
88	110	古寛永・坂本銭	1636	1	23.0	
		新寛永・四ツ宝銭	1708	4	23.2	破損あり
		新寛永・耳白銭	1714	1	22.8	
89	134	新寛永・日光御用钱	1714	12	24.7	連銅銭6
		新寛永・鉄銭	1765	6	22.9	連銅銭12(元文亀戸銭他)
90	105	新寛永・文銭	1668	6	24.8	連鉄銭6/木片・布付着
90	107	新寛永・京都七條銭	1726	1	24.2	銅銭1
91	98	新寛永・四ツ宝銭	1708	1	22.8	銅銭1(型崩れ)
92	—	新寛永・元文亀戸銭・鉄銭	1737	16	—	銅銭12(3種)・鉄銭4(元連結)
93	136	新寛永・元分岐戸銭・虎尾銭	1736	18	23.4	銅銭18(連結、不明あり)
93	137	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭2・鉄銭10
93	195	新寛永・元文深川銭	1736	2	22.5	銅銭2
93	210	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭4・鉄銭8
95	114	真鍮四文銭・文久永寶	1863	2	26.8	11波/付着物
96	116	新寛永・鉄銭	1765	3	連結	鉄銭3(錆跡)
		新寛永・文銭	1668	2	25.0	
96	117	新寛永・背佐銭・耳白銭	1714	4	24.0	銅銭6
96	118	新寛永・耳白銭	1714	9	23.0	銅銭9(内8枚連結)
96	122	新寛永・鉄銭	1765	1	23.8	鉄銭1
96	123	新寛永・鉄銭	1765	48	—	鉄銭48(一塊)/木片付着
96	127	新寛永・文銭	1668	1	19.0	銅銭1(緑なし小文銭)
96	128	新寛永・四ツ宝銭	1708	1	23.2	銅銭1
		新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭30(連8・連22)
98	119	新寛永・耳白銭	1714	21	23.2	伏見銭・日光銭・京都七條銭他「元」
		新寛永・高津銭	1741	8	21.3	
99	125	新寛永・文銭	1668	1	25.0	
		新寛永・荻原銭	1700	1	23.2	銅銭2(型ズレあり)
99	177	新寛永・鉄銭	1735	30	連結	銅銭6・鉄銭24/付着物
101	196	新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭6(連結)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	5	23.0	
102	152	新寛永・文銭	1668	6	25.0	銅銭6/付着物
102	178	新寛永・鉄銭	1765	22	—	銅銭2・鉄銭20
102	179	新寛永・文銭	1668	2	24.9	銅銭6(連結)
		新寛永・伏見銭	1736	4	23.9	
		北宋銭・元豊通寶	1078	1	24.5	模跡?
103	206	新寛永・文銭	1668	2	25.0	銅銭6
		新寛永・四ツ宝銭	1708	3	24.1	布付着
103	207	新寛永・鉄銭	1765	9	—	鉄銭9/付着物
104	204	新寛永・鉄銭	1765	24	—	銅銭4・鉄銭20(連結)/付着物
104	205	新寛永・銭種不明	—	5	22.0	銅銭5・鉄銭1(連結)/布付着
		新寛永・鉄銭	1739	1	—	
106	188	新寛永・鉄銭	1765	1	—	鉄銭1(破損)
106	189	新寛永・鉄銭	1765	40	—	鉄銭40前後(連結)/付着物
106	192	新寛永・鉄銭	1739	1	—	鉄四文銭1(錆跡)/布付着
107	149	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	銅銭4・鉄銭20
108	132	新寛永・虎尾銭他	1736	1	23.6	銅銭1(孔開き銭)・鉄銭6
108	167	新寛永・鉄銭	1765	40	連結	鉄銭40
		新寛永・無背銭	1673	1	—	銅銭10
109	143	新寛永・四ツ宝銭他	1708	9	連結	新寛永2種以上
		新寛永・鉄銭	1765	12	—	鉄銭12/付着物
110	135	新寛永・耳白銭	1714	6	24.1	銅銭6/布付着
112	108	新寛永・無背銭	1673	1	24.9	銅銭1
		古寛永・芝銭	1636	3	24.1	銅銭3(浅草銭・竹田銭)
112	158	新寛永・長崎銭	1767	3	23.0	銅銭3(日光銭・亀戸銭)/元連結
113	126	古寛永・竹田銭	1637	1	24.0	銅銭7
		新寛永・四ツ宝銭	1708	6	24.0	伏見銭・元文深川銭他
114	112	新寛永・文銭	1668	2	24.9	銅銭5(連2・連2・1)
		新寛永・耳白銭	1714	3	23.0	
		宋銭・元口通寶	1086	1	23.4	縁欠け(模造)
		古寛永・芝銭・浅草銭	1636	9	24.0	
114	159	新寛永・文銭	1668	1	25.0	(4連1塊含む)
		新寛永・元文亀戸銭	1737	20	22.7	耳白銭他/歯・骨伴出、布付着
114	160	新寛永・白目銭	1739	1	22.8	銅銭1
114	161	新寛永・元文亀戸銭	1737	1	22.1	銅銭1
114	162	新寛永・無背銭	1673	2	24.9	銅銭6/(連結)
		新寛永・元文深川銭他	1736	4	22.6	
114	163	新寛永・耳白銭	1714	5	23.1	銅銭5/(連結)/布付着
114	174	新寛永・元文亀戸銭	1737	1	23.1	銅銭2
		新寛永・平野銭	1739	1	22.1	
115	111	新寛永・四ツ宝銭	1708	1	24.0	銅銭1
115	175	古寛永・芝銭	1636	2	24.2	銅銭6(連結)/布付着
		新寛永・文銭	1668	4	24.9	
116	176	新寛永・文銭	1668	12	25.0	銅銭18(連結)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	6	24.0	
117	145	新寛永・鉄銭	1765	12	—	銅銭1・鉄銭11/付着物
119	131	新寛永・伏見銭	1736	14	連結	銅銭14(高津銭他)
		新寛永・鉄銭	1765	4	—	鉄銭4
120	2	新寛永・鉄銭	1765	1	23.0	鉄銭1
120	3	新寛永・耳白銭	1714	1	24.8	銅銭2(元連結)
		新寛永・高津銭	1741	1	23.0	裏元
120	5	新寛永・鉄銭	1765	6	連結	銅銭4(新寛永3種)
120	6	新寛永・鉄銭	1765	6	連結	鉄銭2/布付着

遺構番号	古銭番号	銭種	年号	枚数	径(mm)	備考
120	144	新寛永・文銭	1668	6	24.9	銅銭7
		新寛永・荻原銭	1700	1	23.2	
122	146	新寛永・鉄銭	1765	20	連結	銅銭6・鉄銭14/布付着
123	124	新寛永・文銭	1668	2	24.8	銅銭2
		新寛永・鉄銭	1739	1	—	鉄銭1(元連結)
123	150	古寛永・芝銭	1636	1	24.2	銅銭2(元連結)
		新寛永・文銭	1668	1	25.0	
123	151	新寛永・文銭・無背銭	1668	5	24.8	銅銭5
124	153	新寛永・鉄銭	1765	24	—	銅銭4・鉄銭20
124	154	新寛永・鉄銭	1765	10	—	鉄銭10
126	180	新寛永・鉄銭	1765	18	—	鉄銭18/付着物
127	156	新寛永・元文亀戸銭	1737	4	23.2	銅銭4(連結)
127	173	新寛永・元文深川銭	1736	1	23.0	銅銭1
127	190	新寛永・鉄銭	1765	24	—	銅銭12・鉄銭12/付着物
128	129	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭24前後
		念佛銭	—	1	22.8	南無阿弥陀佛
129	147	古寛永・浅草銭	1636	6	24.2	銅銭36(4連)
		新寛永・文銭	1668	19	25.0	
		新寛永・京都七條銭	1726	10	23.2	四ツ宝銭他2種以上/布付着
131	142	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	銅銭4・鉄銭20
132	199	古寛永・浅草銭	1636	2	24.2	銅銭18(連結2連)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	16	24.0	
133	140	新寛永・鉄銭	1765	18	連結	銅銭7(不旧手銭他)・鉄銭11
		古寛永・芝銭	1636	1	24.3	
133	141	新寛永・文銭	1668	1	25.0	銅銭8(連結、不明あり)
		新寛永・荻原銭他	1700	6	23.2	
134	138	新寛永・鉄銭	1765	30	連結	銅銭14・鉄銭16前後
134	139	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	鉄銭18・銅銭6
		新寛永・文銭	1668	5	25.0	銅銭12
134	182	新寛永・元文深川銭他	1736	7	22.8	(4連1塊)
		新寛永・鉄銭	1765	22	—	鉄銭22/布付着
134	—	新寛永・鉄銭	1765	6	—	鉄銭6(連結)
135	213	新寛永・四ツ宝銭	1708	13	24.2	銅銭13(連結、破損含む)
		新寛永・吉田島銭	1739	13	22.8	(耳白銭他)
136	157	新寛永・丸屋銭	1714	1	24.0	銅銭2/釘伴出
		新寛永・日光御用钱	1714	1	23.1	
		新寛永・虎尾銭他	1736	4	22.0	銅銭4(新寛永2種)
137	181	新寛永・鉄銭	1765	50	—	鉄銭50前後(破損含む)/布付着
138	193	新寛永・銭種不明	—	24	22.0	銅銭24(2種以上、2連)
		新寛永・鉄銭	1765	16	—	鉄銭16
138	197	古寛永・浅草銭	1636	1	24.0	銅銭13(連7・6)
		新寛永・無背銭	1673	3	25.5	(虎尾銭他)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	9	23.0	
138	201	古寛永・浅草銭	1636	2	24.3	銅銭6(連結)
		新寛永・文銭	1668	4	25.0	
139	194	新寛永・銭種不明	—	60	—	銅銭18(破損含む、2連)
		新寛永・鉄銭	1765	30	—	鉄銭42
141	146	新寛永・荻原銭・鉄銭	1765	30	—	銅銭6を2連含む
141	187	古寛永・芝銭	1636	2	24.2	銅銭5(連結)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	3	24.2	
142	171	新寛永・文銭	1668	1	24.7	銅銭2(元連結)/布付着
		新寛永・伏見銭	1736	1	23.8	
		古寛永・芝銭	1636	6	23.6	銅銭30
142	186	新寛永・文銭	1668	18	—	刮去銭・無背銭
		新寛永・京都七條銭	1726	6	23.8	四ツ宝銭・虎尾銭
144	169	古寛永・浅草銭	1636	18	24.2	銅銭18(元連結)/付着物
145	170	新寛永・無背銭	1673	3	24.9	銅銭3(連結)
146	198	古寛永・芝銭	1636	6	24.0	銅銭18(元文深川銭他)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	12	23.4	
148	185	新寛永・鉄銭	1765	6	連結	鉄銭6(錆跡)
149	208	新寛永・文銭他	1668	3	25.0	銅銭5(無背銭他)
		新寛永・四ツ宝銭	1708	2	23.8	
149	209	新寛永・秋田銭	1738	2	24.0	銅銭2(連結)
150	191	新寛永・鉄銭	1765	24	連結	銅銭8・鉄銭16/付着物
152	202	新寛永・耳白銭	1714	1	27.5	銅銭1
152	203	新寛永・文銭	1668	1	25.0	
		新寛永・四ツ宝銭	1708	10	23.8	銅銭11(連結)/布付着
154	211	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭2・鉄銭10/付着物
154	212	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭2・鉄銭10
155	217	新寛永・鉄銭	1765	12	連結	銅銭2・鉄銭10(破損含む)/布付着
		宋銭・天聖元寶	1023	1	24.5	
155	218	新寛永・文銭	1668	1	24.8	
		新寛永・元文深川銭	1736	15	23.4	新寛永4種(文字欠け有り)
		新寛永・吉田島銭	1739	1	22.0	(縮字)
156	214	新寛永・鉄銭	1765	3	連結	鉄銭3/付着物
156	215	新寛永・鉄銭	1765	36	連結	銅銭18・鉄銭18/布付着
156	216	新寛永・銭種不明	—	4	24.3	銅銭4(連結)/付着物
157	219	新寛永・鉄銭	1765	30	—	鉄銭30/布付着
一括	16	新寛永・鉄銭	1765	6	連結	銅銭2・鉄銭4
一括	37	新寛永・文銭	1668	1	24.5	銅銭3(文銭・縁抜け)
		新寛永・耳白銭	1714	2	23.2	
一括	38	古寛永・芝銭	1636	5	24.0	銅銭5
		新寛永・荻原銭	1700	5	22.8	
一括	172	新寛永・文銭	1668	5	24.8	銅銭5(半欠1含む)
一括	—	新寛永・鉄銭	1765	18	—	銅銭4(元連結)・鉄銭14
一括	—	新寛永・元文亀戸銭	1737	7	23.8	銅銭7(バラ・4種)
一括	—	新寛永・虎尾銭・鉄銭	1736	18	23.8	銅銭8(元連結・3種)・鉄銭10
一括	—	新寛永・元文亀戸銭	1737	3	23.7	バラ/3種/銅銭3
一括	—	新寛永・鉄銭	1765	6	—	銅銭2・鉄銭4(連結)
一括	—	新寛永・虎尾銭・鉄銭	1736	18	23.8	銅銭14・鉄銭4(2連・3種)

第30表 浄禅寺跡遺跡第10地点出土人骨観察表

遺構 番号	人骨 番号	遺存度	性別	年齢	観 察 所 見
2	143A	普通	不明	小児 (8歳位)	上・下肢骨は骨端と骨体が分離している。
2	143B	やや 不良	不明	不明	頭蓋はない。大腿骨と頸骨が各1対あるが詳細は不明。
2	164	比較的 良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。頭蓋最大長は185mm。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨は頑丈で、大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
3	156	普通	男	壮年期	矢状縫合は内・外板とも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨のつくりは頑丈。
4	008 012	普通	女	壮年期	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1～2度である。上・下肢骨は全体的に華奢である。
5	013A	比較的 良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第1～2度である。頭蓋最大長は184mm。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨は頑丈で、大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
5	013B	やや 不良	不明	熟年期	上・下顎骨は歯槽がほとんど閉鎖している。詳細は不明である。
6	16	普通	女	壮年期	頭蓋の骨質は薄い。3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。歯の咬耗度はマルチンの第1～2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
6	23	やや 不良	女	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化していて、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度。上・下肢骨のつくりは華奢である。
6	25	普通	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化していて、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1～2度。上・下肢骨のつくりは華奢である。
6	15	不良	不明	不明	骨片が数個残っている。詳細は不明
7	19	普通	女	壮年期	3主要縫合は内板では部分的に骨結合化しているが、外板では骨結合化は見られない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
8	29	やや 不良	男	壮年期	側頭骨乳様突起の基部の面積は大きく、乳様突起が大きいことを推測させる。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは比較的頑丈である。大腿骨の殿筋粗面は良く発達している。他に別固体の右大腿骨(B29大腿骨B)が1個あるが、鑑定の結果D24-B28号人骨のものと判明した。
9	34	不良	女	熟年期	側頭骨の乳様突起の基部の面積は小さく、乳様突起が小さいことを推測させる。頭蓋の骨質は薄い。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。大坐骨切痕の湾曲は大きい。
9	—	不良	不明	小児 (6歳位)	詳細不明。
10	21	良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。頭蓋の骨質は厚い。歯の咬耗度はマルチンの第2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は比較的小さい。上・下肢骨のつくりは比較的頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部はよく発達している。左大腿骨の最大長は39.8cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると156センチである。
10	51	不良	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起の基部の面積は小さく、乳様突起が小さいことを推測させる。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。
10	—	普通	女	壮年期	矢状縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。椎骨には若干の骨端線が残っている。上・下肢骨のつくりは華奢である。なお、この人骨は上記D10-B21号人骨、同B51号人骨と同じ土坑から出土しているが、重複する部位の骨があるので、上記2固体と別固体であると考えても矛盾はない。
11	11	不良	男	熟年期	下顎骨は無歯顎である。大腿骨のつくりは頑丈である。
11	53	良好	男	熟年期	3主要縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は189mm。頭蓋最大幅は138mmである。頭蓋長幅示数は73.0を示し、長頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第3度。下顎の右第1、第2大臼歯には齧蝕が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。左大腿骨の最大長は41.0cmである。左大腿骨から推定身長を算出すると約158cmである。
12	16	良好	男	熟年期	3主要縫合は内・外板とも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は198mm、頭蓋最大幅は145mmである。頭蓋長幅示数は73.2を示し、長頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
13	20	良好	女	熟年期	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は比較的小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は178mmである。上・下顎とも無歯顎である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
14	18	普通	男	壮年期	3主要縫合は内板がほとんど骨結合化し、外版も部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は比較的大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨は小さい。
15	22	やや 不良	女	熟年期	側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。残っている骨は全体的に華奢である。
16	60	やや 不良	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。残っている骨は全体的に華奢である。
17	—	不良	男 (年齢不明)	成人 (年齢不明)	外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋の骨質は厚い。
18	24	—	不明	不明	長骨片が少量あるが、詳細は不明。
19	32	比較的 良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では部分的に骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は185mmである。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
20	27	比較的 良好	男	壮年期	冠状縫合とラムダ縫合は内板で骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は良く発達している。左大腿骨の最大長は41.2cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約159cmである。
21	26	普通	女	壮年期	3主要縫合は内・外板ともに部分的に骨結合化している。乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。頭蓋最大長は169mmである。歯の咬耗度はマルチンの第1度。下顎の左第1大臼歯には齧蝕が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は比較的大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
22	31	不良	男	熟年期	矢状縫合と冠状縫合とは内板では大部分が骨結合化して、外板でも一部骨結合化している。なお、この頭蓋は十字頭蓋(新生児や乳児にはふつうに存在し、成長するにしたがって消失するはずの前頭縫合が矢状縫合の延長線上にあつて、成人になっても残っている頭蓋のこと。即ち前頭縫合・や上縫合が冠状縫合と直角に交差するとき十字に見えることからこのように言う。外見上はわからない。また、身体的に全く不都合はない)である。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度である。上・下肢骨のつくりは頑丈で、大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は良く発達している。
23	30	やや 不良	女	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第1度。大腿骨のつくりは華奢である。
24	28	良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では部分的に骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は184mm、頭蓋最大幅は141mmである。頭蓋長幅示数は76.6を示し、中頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは比較的頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は良く発達している。

遺構番号	人骨番号	遺存度	性別	年齢	観 察 所 見
27	33	不良	男	老年期	矢状縫合は内板で骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。ラムダ縫合は内・外板とも一部で骨結合化している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。下顎は無歯顎である。下肢骨のつくりは比較的頑丈である。
28	38	普通	不明	小児 (13歳位)	上・下肢骨は骨端と骨体は分離している。
29	39	普通	女	熟年期	歯の咬耗度はマルチンの第3度。上・下肢骨のつくりは華奢である。
30	50	やや不良	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上顎の右第2小臼歯に齶触が認められる。上・下肢骨のつくりは華奢である。
31	44	普通	女	老年期	側頭骨の乳様突起は小さい。上・下顎の歯はほとんど脱落している。残っている歯の咬耗度はマルチンの第2度。下顎は歯槽の吸収が著しい。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
31	45	不良	女	壮年期	前頭骨の骨質はあまり厚くない。下顎骨は小さい。上腕骨のつくりは華奢である。
31	—	不良	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第1度。大腿骨のつくりは華奢である。
32	—	不良	不明	成人 (年齢不明)	覆土より出土。前頭骨と左右の頭頂骨が残っているが、詳細は不明。
33	83	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内板では部分的に骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲はやや大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
34	—	不良	不明	成人 (年齢不明)	右大腿骨髄片などが残っているが、詳しいことはわからない。
35	75	良好	女	壮年期	3主要縫合は内板では骨結合化しているが、外板では一部が骨結合化しているに過ぎない。側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第1度。下顎の右第3大臼歯には齶触が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は38.6cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約148cmである。
36	57	良好	女	壮年期	3主要縫合は内板では一部が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。右大腿骨の最大長は34.7cmである。右大腿骨最大長から推定身長を算出すると約140cmである。
37-1	35	やや不良	男	壮年期	頭蓋の骨質は比較厚い。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。
38	44	やや不良	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。
39	40	不良	女	成人 (年齢不明)	上・下肢骨のつくりは華奢である。
40	067A	良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は179mm、頭蓋最大幅は139mm。頭蓋長幅示数は77.7を示し、中頭型に属する。上・下顎の歯は大部分が脱落している。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。左大腿骨の最大長は43.2cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約163cmである。
40	067B	やや不良	女	壮年期	矢状縫合、ラムダ縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上・下肢骨のつくりは華奢である。
41	077A	良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。頭蓋最大長は182mmである。歯の咬耗度はマルチンの第2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
41	077B	不良	女	壮年期	冠状縫合は内板・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。頭蓋の骨質は薄い。
42	51	不良	不明	不明	長骨の破片だけなので詳細は不明。
43	42	不良	女	成人 (年齢不明)	少量の頭蓋片と右寛骨片、右大腿骨などが残っている。大腿骨のつくりは華奢である。
44	70	普通	男	熟年期	矢状縫合は内板では骨結合化して、外板でも骨結合化が進んでいる。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2度。
45	34	普通	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨のつくりは華奢である。
46	68	普通	男	壮年期	3主要縫合は内板・外板とも部分的に骨結合化している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。上・下肢骨のつくりは比較的頑丈である。
47	69	不明	女	老年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。上・下顎とも無歯顎である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
48	74	比較的良好	男	熟年期	3主要縫合は内板で大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは比較的頑丈である。
48	065A	普通	不明	小児 (8歳位)	長骨は骨端と骨体が分離している。
48	065B	良好	男	成人 (年齢不明)	左右の大腿骨と左右の頸骨が残っている。大腿骨・頸骨ともに作りは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
48	065C	不良	不明	成人 (年齢不明)	左頸骨の骨体だけが残っている。詳細は不明。
48	78	良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
49	63	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨は華奢である。
50	59	比較的良好	男	老年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。頭蓋最大長は181mm、頭蓋最大幅は137mm。頭蓋長幅示数は75.7を示し、中頭型に属する。下顎の歯は全部脱落して無歯顎である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。
51	58	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内板で大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は170mm、頭蓋最大幅は131mmである。頭蓋長幅示数は77.1を示し、中頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。右大腿骨の最大長は36.5mm。右大腿骨の最大長から推定身長を算出すると約144cmである。
52	46	普通	女	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は比較的大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
53	43	普通	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも一部が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。
54	54	比較的良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも部分的に骨結合化が認められる。側頭骨の乳様突起は大きく隆起している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。この他にも人骨番号のない足根骨や足の指骨があるが、54号人骨と重複するものはない。同一固体と考えても矛盾はない。
55	55	普通	男	老年期	3主要縫合は内・外板とも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度である。右寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。
56	41	やや不良	女	壮年期	側頭骨乳様突起の基部の面積が小さく、乳様突起が小さいことを推測させる。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
57	36	比較的良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。
58	82	普通	女	老年期	側頭骨の乳様突起は小さい。上顎の歯は無歯顎である。下顎の歯の咬耗度はマルチンの第2～4度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。下肢骨のつくりは華奢である。

遺構番号	人骨番号	遺存度	性別	年齢	観 察 所 見
58	100	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。
59	<52>	やや不良	男	成人 (年齢不明)	寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。
60	62	良好	女	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋の骨質は厚い。歯は大部分が脱落し、下顎の左半分は無歯顎となっている。残っている歯の咬耗度はマルチンの第2度である。頭蓋最大長は165mm、頭蓋最大幅は127ミリ、頭蓋長幅示数は77.0を示し、中頭型に属する。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は比較的大きい。上・下肢骨のつくりはややきゃしゃである。左大腿骨の最大長は37.7cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約146cmである。
61	61	普通	男	老年期	3主要縫合は内板ではほぼ完全に骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく隆起している。上・下顎とも無歯顎である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。
62	48	やや不良	男	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第2度。下肢骨は頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
63	49	普通	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部で骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨はそれほど頑丈ではない。
64	64	普通	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度。上・下肢骨のつくりは比較的確丈である。
65	80	やや不良	男	熟年期	矢状縫合・冠状縫合は内板では大部分骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第2度。下顎の左大1大臼歯には齶触が認められる。上・下肢骨は華奢である。
67	52	普通	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分で骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上臼骨のつくりは比較的確丈である。
68	56	やや不良	不明	成人 (年齢不明)	頭蓋片、左寛骨片、左右の大腿骨などがあるが、詳細は不明。
69	91	不良	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。大腿骨のつくりは華奢である。他に男性のものと思われる上・下肢骨があるが、所属は不明。
70	97	やや不良	男	熟年期	冠状縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。側頭骨の乳様突起の基部の面積は大きく、乳様突起が大きいことを推測させる。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度。大腿骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面は良く発達している。他に男性のものと思われる上・下肢骨があるが、所属は不明。
71	89	比較的良好	男	老年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。上・下顎は無歯顎である。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
72	93	比較的良好	男	壮年期	外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
73	111	普通	女	老年期	冠状縫合と矢状縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。下顎は無歯顎である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
74	—	やや不良	女	壮年期	頭蓋の骨質は薄い。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上顎の左第1大臼歯、第2代臼歯、同じく右第1大臼歯、下顎の右第1大臼歯には齶触が認められる。下肢骨のつくりは華奢である。
75	92	普通	男	壮年期	側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。上・下肢骨のつくりは比較的確丈。
76	66	比較的良好	不明	小児 (15歳位)	歯は第3大臼歯以外はすべて萌出している。萌出しているすべての歯にわずかながら咬耗が認められる。下顎の左第2大臼歯にはすでに齶触が認められる。上・下肢骨は骨端と骨体とが分離している。
77	86	やや不良	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。歯は上顎の小臼歯が1本残っているが、咬耗度はマルチンの第1度である。また、この歯には齶触が認められる。上・下肢骨はない。
77	87	良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さく、外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は37.0cm。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約145cmである。
78	109	普通	男	壮年期	頭蓋の詳細については良く分らないが前頭部は後方に傾斜している。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上・下肢骨とも男性にしてはつくりが華奢であるが、機骨頭や尺骨の肘頭部の比較的大きい。
79	71	比較的良好	男	青年期 (18歳位)	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。歯の咬耗度はマルチンの0～第1度。頸骨上端には骨端線が残っている。
80	72	普通	男	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第1度。大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は良く発達している。
81	73	不良	男	壮年期	冠状縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも骨結合化が進んでいる。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2度。上・下肢骨のつくりは頑丈である。
82	118	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
83	88	比較的良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
84	132	普通	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上肢骨のつくりは比較的確丈である。
85	103	普通	男	壮年期	冠状縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第2度。下顎の左第1大臼歯には齶触が認められる。上・下肢骨のつくりは頑丈である。
86	129	良好	女	壮年期	冠状縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第1～2度である。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は40.9cm。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約152cmである。
87	95	不良	女	壮年期	冠状縫合と矢状縫合は内・外板とも骨結合化していない。頭蓋の骨質は薄い。下肢骨のつくりは華奢である。
88	96	不良	不明	壮年期	詳細不明。
89	112	普通	女	壮年期	矢状縫合は内・外板とも骨結合化していない。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
90	90	比較的良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
91	85	不良	不明	成人 (年齢不明)	詳細不明。
92	098A	不良	不明	幼児 (4歳位)	詳細不明。
92	098B	不良	不明	不明	右大腿骨などが残っているが、詳細は不明。
93	120	不良	不明	不明	右側頭骨、右大腿骨体片などが残っているが、詳細は不明。
93	175A	普通	不明	幼児 (4歳位)	頭蓋、肋骨などが残っている。
93	175B	比較的良好	男	熟年期	矢状縫合は内板では大部分で骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは頑丈。左大腿骨の最大長は41.2cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約159cmである。
93	171	やや不良	不明	小児 (6歳位)	下顎の第2乳臼歯には齶触が認められる。
93	172	不良	女	成人 (年齢不明)	後頭骨片はそれほど薄くない。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。左大腿骨のつくりは比較的確丈である。

遺構番号	人骨番号	遺存度	性別	年齢	観 察 所 見
94	—	やや不良	男	壮年期	側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。
95	101	普通	不明	幼児 (4歳位)	ほぼ全身の骨が残っている。
96	84	比較的良好	不明	小児 (10歳位)	長骨の骨端と骨体は分離している。
96	105	不良	不明	不明	骨片がいくつかあるが、詳細は不明。
97	104	良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。左大腿骨の最大長は40.5cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約157cmである。
98	105	普通	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
99	135	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は36.8cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約144cmである。
101	165	普通	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
101上	142	不良	男	成人 (年齢不明)	残っているのは頭蓋片だけである。乳様突起の基部は面積が大きく、乳様突起が大きいことを推測させる。
102	136	普通	男	壮年期	B135とB136は同一固体に属する。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上顎の左犬歯には齧蝕が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは比較的確丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は比較的確達している。
102	<157>	普通	男	成人 (年齢不明)	寛骨の大坐骨切痕の湾曲は比較的小さい。上・下肢骨のつくりは比較的確丈である。右大腿骨の最大長は41.0cm。右大腿骨最大長から推定身長を算出すると約158cmである。
103	157	比較的良好	女	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第2～3度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は38.5cmである。左大腿骨最大長からのステイ身長を算出すると約148cmである。
104	154	普通	男	壮年期	側頭骨の乳様突起は大きい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。
105	179	不良	不明	熟年期	歯の咬耗度はマルチンの第3度。
106	127	普通	女	熟年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
107	108	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
108	141	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は165mmである。歯の咬耗度はマルチンの第1度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は34.1cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約139cmである。
108	116	不良	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。
109	94	良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は188mm。頭蓋最大幅は138mm。頭蓋長幅数は73.4を示し中頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。右大腿骨の最大長は47.1cmである。右大腿骨最大長から推定身長を算出すると約170cmである。
110	113	普通	男	熟年期	矢状縫合は内板では骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。寛骨の題材骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
112	131	比較的良好	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度。上・下肢骨のつくりは華奢である。右大腿骨の最大長は35.5cmである。右大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約142cmである。
113	107	やや不良	女	熟年期	側頭骨の乳様突起は小さい。下顎は無歯顎である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
114	99	不良	女	成人 (年齢不明)	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。そのほかの詳細は不明。
114	150	比較的良好	男	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化してない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。左大腿骨の最大長は40.3cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約157cmである。
114	139	やや不良	女	壮年期	3主要縫合は内・外板ともに骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
116	152	比較的良好	女	壮年期	3主要縫合は内・外板とも骨結合化してない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
116	134	不良	不明	成人 (年齢不明)	長骨片と歯が1個残っているが、詳細は不明。
117	122	良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起はそれほど大きくない。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。頭蓋最大長は178mm、頭蓋最大幅は137mm、頭蓋長幅数は80.0を示し、短頭型に属する。寛骨の題材骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりはそれほど頑丈ではない。左大腿骨の最大長は38.4cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約153cmである。以上の骨とは別に成人女性のものと思われる。左の頸骨が1個あるが、詳細は不明。
119	110	普通	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは華奢である。
120	121	比較的良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
120	—	不良	不明	幼児 (4歳位)	頭蓋片と歯であるが、永久歯は未萌出。以上のほかに成人のものと思われる、上腕骨端、大腿骨端、頸骨端の破片があるが、詳細は不明。勿論、個体数に数えず。
122	117	比較的良好	男	熟年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも一部が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は比較的大きい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。右大腿骨の最大長は38.7cmである。右大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約154cmである。
123	102	不良	女	壮年期	歯と上・下肢骨がある。詳細は不明。
124	124	比較的良好	男	壮年期	3主要縫合は内・外板とも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は181mm、頭蓋最大幅は140mmである。頭蓋長幅数は77.3を示し、中頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
125	114	不良	男	熟年期	矢上縫合は内板では骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の錐体は大きく頑丈である。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。
126	159	比較的良好	男	熟年期	3主要縫合は外板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第4度。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度である。上・下肢骨のつくりは頑丈。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
127	133	普通	女	壮年期	3主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨でも大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。

遺構 番号	人骨 番号	遺存度	性別	年齢	観 察 所 見
129	123	比較的 良好	男	壮年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。左大たい骨の最大長は44.6cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると、約165cmである。
130	125	不良	不明	不明	頭蓋の眼窩部と肋骨片が少し残っている。詳細は不明である。
130	—	不良	不明	不明	骨片がわずかに残っているが、詳細は不明である。
132	119	不良	女	成人 (年齢不明)	頭蓋はない。上・下肢骨のつくりは華奢である。詳細は不明。
132	173	不良	女	壮年期	頭蓋の骨質は薄い。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
134	158	普通	男	熟年期	3 主要縫合は内板では骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
135	170	やや 不良	男	熟年期	矢状縫合とラムダ縫合は内板では完全に骨結合化しているが、外板でも一部が骨結合化している。大腿骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線などの筋肉付着部は良く発達している。
135	176A	良好	女	壮年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。頭蓋最大長は176mm、頭蓋最大幅は137mm、頭蓋長幅示数は77.8を示し、中頭型に属する。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。左大腿骨の最大長は38.3cmである。左大腿骨最大長から推定身長を算出すると約147cmである。
135	176B	不良	男	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第1度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。
136	130	不良	不明	壮年期	主に頭蓋片と右大腿骨体が残っている。詳細は不明である。
137	160	不良	男	熟年期	側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2～3度である。上顎の左第2大臼歯には齶触が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨はそれほど頑丈ではない。
137	—	不良	不明	壮年期	覆土より出土。下顎骨片と歯が少しあるが、詳細は不明。
137	138	不良	不明	不明	肋骨片、椎骨片、歯が少し残っているが、詳細は不明。
138	145	やや 不良	男	熟年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板でも一部骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
138	168	比較的 良好	女	壮年期	3 主要縫合は内・外板とも骨結合していない。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
139	167	良好	男	熟年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。頭蓋最大長は181mm。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上・下肢骨のつくりは頑丈である。
140	149	不良	男	成人 (年齢不明)	寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。
141	162	普通	男	熟年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第3度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上腕骨のつくりは比較的頑丈。
141	162	不良	不明	不明	頭蓋片が少量あるが、詳細は不明。
142	146	不良	不明	小児 (7歳位)	長骨の骨端と骨体は分離している。
142	147	不良	男	成人 (年齢不明)	大腿骨、頸骨が1個体分あるが、詳細は不明。
142	161	普通	男	壮年期	歯の咬耗度はマルチンの第1度である。上顎の左第1大臼歯、下顎の第2大臼歯には齶触が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。頸骨のヒラメ筋線は良く発達している。
143	148	不良	女	熟年期	側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。大腿骨のつくりは華奢である。
144	128	普通	男	熟年期	矢状縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも一部が骨結合化している。側頭骨の乳様突起はそれほど大きくはない。葉の咬耗度はマルチンの第2～3度。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨はそれほど頑丈ではない。
145	126	普通	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第1度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。下顎の左第1大臼歯には齶触が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
146	140	不良	不明	乳児 (1～2歳位)	詳細不明。
146	147	普通	女	壮年期	側頭骨の乳様突起は小さい。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。左右の上顎洞には強い炎症像が認められる。特に右の上顎洞のものは症状が進行して、上顎洞の内腔は狭窄し、その炎症は上顎全体におよび、さらに前頭骨に侵出している。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
147	166	不良	男	成人 (年齢不明)	主に下肢骨片が残っている。大腿骨のつくりは頑丈である。
148	155	やや 不良	男	成人 (年齢不明)	寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。
149	180	比較的 良好	男	老年期	側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。上・下顎とも無歯顎である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。
150	163	比較的 良好	男	熟年期	3 主要縫合は内板では大部分が骨結合化して、外板でも部分的に骨結合化している。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。なお、この人骨には形質のよく似た大腿骨と頸骨が2個体分あるがk、どちらがこの頭蓋に所属するかは分からない。
152	137	不良	不明	成人 (年齢不明)	詳細不明。
154	178	比較的 良好	女	老年期	3 主要縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。側頭骨の乳様突起はそれほど小さくない。頭蓋最大長は171mm。歯の咬耗度はマルチンの第3度である。下顎は無歯顎である。下肢骨のつくりは華奢である。
155	181	普通	女	老年期	冠状縫合は内・外板とも大部分が骨結合化している。側頭骨の乳様突起は小さい。外後頭隆起の膨隆度はブローカの第2度。歯の咬耗度はマルチンの第2度である。上顎の左第2大臼歯には齶触が認められる。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は大きい。上・下肢骨のつくりは華奢である。第12胸椎と第1腰椎の椎体には圧迫骨折が認められる。
156	182	やや 不良	男	熟年期	歯の咬耗度はマルチンの第3度である。寛骨の大坐骨切痕の湾曲は小さい。上・下肢骨のつくりは頑丈である。大腿骨の殿筋粗面や粗線、頸骨のヒラメ筋線などの筋肉付着部は良く発達している。
157	183	不良	不明	小児	詳細は不明。
—	—	比較的 良好	男	壮年期	3 主要縫合は内板では部分的に骨結合化しているが、外板では骨結合化していない。側頭骨の乳様突起は大きく膨隆している。外後頭隆起の膨隆度はブローカは第3度。歯の咬耗度はマルチンの第1度である。下顎の右第3大臼歯には齶触が認められる。

浄禅寺跡遺跡出土一字一石経 整理作業報告書

1 9 9 7

三井建設株式会社
東京土木支店

1、概要

出土した経石の総数は76, 235個であった。この内墨書が残らないものは7, 293個であり全体の約9.5%を占める。

経石に使用されている石はいずれもやや角のとれた河原石である。経石の大きさは長径1～20cmぐらいまでと幅広いが長径2～5cmぐらいまでのものが多い。概して長径5cm以上の石には複数の文字が記されているようである。

書写はすべて墨書である。

2、分類法

資料に関して以下のように分類を試みた。

第1種—経石の石の1面に1字が書かれ他面は白地のもの。

A群—法華三部経中に用いられる文字が書かれているもの。(33, 204個)

B群—法華三部経外の文字が書かれているもの。(132個)

C群—判読不能(34, 296個)

第2種—経石の1面に1字が書かれ他面に1字が書かれているもの。

A群—2字が同一文字であるもの。

I類—表面と裏面に同一の文字が書かれているもの。(285個)

II類—表面と側面に同一の文字が書かれているもの。(310個)

B群—1面に楷書、他面の文字は草書であるもの。

I類—表面には楷書体、裏面には表面の文字の草書体が書かれているもの。(133個)

II類—表面には楷書体、側面には表面の文字の草書体が書かれているもの。(60個)

C群—2字が別個の文字であるもの。

I類a—書き損じを裏面で書きなおしたもの。(20個)

I類b—表面に部首だけが書かれているもの。(8個)

I類c—表面と裏面の文字に部首が共通するもの。(12個)

I類d—表面と裏面の文字に部首が共通しないもの。(5個)

II類a—書き損じを側面で書きなおしたもの。(4個)

II類b—側面に部首だけが書かれているもの。(3個)

II類c—表面と側面の文字に部首が共通するもの。(7個)

II類d—表面と側面の文字に部首が共通しないもの。(4個)

D群—1字が判読不明のもの。

I類—裏面の文字が判読不明のもの。(37個)

II類—側面の文字が判読不明のもの。(10個)

E群一両面判読不能（E群では類別は行なわなかった）。（223個）

第3種—3文字以上の文字が書かれているもの。

A群—すべてが同一文字で書かれているもの。（33個）

B群—1ないし2文字が草書体で書かれているもの。（5個）

C群—書き損じを訂正したもの。（9個）

D群—1文字以上別個の文字或いは判読不明の文字が混入しているもの。（10個）

第4種—年号、人名、熟語、文章などが書かれているもの。（74個）

第5種—石以外の素材に文字が書かれているもの。

A群—土器の外面に文字が書かれているもの。（21個、判読不可を含む）

B群—土器の内面に文字が書かれているもの。（17個、判読不可を含む）

C群—土器の内外面に文字が書かれているもの。（12個、判読不可を含む）

D群—土器以外の素材に文字が書かれているもの。

I類—近世以降の素材に文字が書かれているもの。（8個）

II類—縄文時代石器に文字が書かれているもの。（13個）

III類—弥生時代石器に文字が書かれているもの。（7個）

3、考察

第1種

A群

教典の特定

1種の経石に関して妙法蓮華経で使用されている文字および字数との対比を試みた。結果は資料1（No.1～31）の通りである（注1）。結果は若干の例外（注2）はあるものの多い字種は多く少ない字種は少なく対応関係を示している。妙法蓮華経が書写されたことはほぼ間違いないものと考えられる。

B群

妙法蓮華経中に使用されていない文字も検出されている（資料2）。願文などに含まれている可能性もあるが復元の決め手を欠いている。字形を観察すると異体字の範疇に含まれるものも多いと思われる。

「假」が8個 「幡」が7個、「敷」、「祢」、「俊」、「祈」がそれぞれ5個ずつ、「膳」が4個も確認されていることが特徴的である。

妙法蓮華経以外の経文が含まれていることも考えられるので般若心経との対比も試みた。結果は資料3の通りである。般若心経に使用されている文字数が少ないので一概には言えないのだがとくに対応関係は認められない。般若心経のみに使用される「掲」、「顛」、「蘊」は浄禅寺一石経中からは検出されなかった。従って、浄禅寺一石経のなかに般若心経が含まれる可能性は少ないものと思われる。

書写人数

全体的に観察してみると文字は概ね楷書で書かれている。書き方として次の3種があげられる。

- ①トメ、ハネ、ハライを強調する。
- ②線の始まりと終わりの書き方が散漫である。
- ③やや崩し字に近い。

同一文字のなかにも明らかに書き方が違うものが含まれている。

以下にその顕著な例を示す

- ①「歎」42個の内、「歎」と書くもの28個、「歎」と書くもの14個。
- ②「観」42個の内、「観」と書くもの2個、「観」と書くもの39個、「観」と書くもの1個。
- ③「記」23個の内、「記」と書くもの8個、「記」と書くもの15個。
- ④「戯」24個の内、「戯」と書くもの12個、「戯」と書くもの12個。
- ⑤「照」14個の内、「照」と書くもの6個、「照」と書くもの8個。
- ⑥「忍」10個の内、「忍」と書くもの5個、「忍」と書くもの5個。
- ⑦「無」361個の内、「無」と書くもの336個、「無」と書くもの24個、「无」と書くもの1個。
- ⑧「来」193個の内、「來」と書くもの100個、「来」と書くもの93個。
- ⑨「璃」3個の内、「璃」と書くもの1個、「璃」と書くもの1個、「璃」と書くもの1個

上記の結果から少なくとも3人以上で書写作業を行なったものと考えられる。

注1ー「大河原1字1石経塚発掘調査報告書」1985、3、鳥取県関金町教育員会を参考にして作成した。

注2ー「萬」が135個と非常に多い。

第2種

A群

経石の1面に書かれた1字が他の面に書かれた1字と同一であるものをA群として分類した。裏面か側面かで2類に分類したがⅠ類とⅡ類との間には特に対応関係は認められなかった。平たく書きやすい面であれば側面でも裏面でも特にこだわるものではないのであろう。このことはB、C、D群にも共通して認められることである。1面に書かれた1字と他の面に書かれた1字は同一ではあるものの書き方に若干の差異が認められる。1面は楷書体できっちりと書かれているが他面の文字は若干筆致が軽い。

B群

経石の1面が楷書体、他面には草書体が書かれているもの。書かれた文字に何かしら特殊な意味合いがあるのか、妙法蓮華経中の特定に品に関しては草書体も書くようにしたのかなどいくつかの推測はできるが決め手には欠けている。

C群

I、II類aは書き損じを他面で訂正したものである。1面の文字に乱れが認められる場合が多い。

I、II類cも1面に書かれた文字と他面に書かれた文字が別個の文字として認められるが、文字と文字の部首が共通しているということはある文字を書き上げたのちにその文字の部首の間違いに気が付き、文字の訂正が行なわれたとも考えられる。

I、II類bは片面に2文字間に共通する部首が書かれている。部首を書いたのちに改めて他面に全字を書いたものと思われる。

I、II類には2文字間に共通する事項がまったくない。2文字を組合せても熟語とはならない。これも書直しの一種である可能性は高い。

第3種

A群

3文字以上がすべて同一の文字で書かれている。各文字の書体が若干異なるようにも思われる。総数が33個の内「佛」が5個含まれていることが特徴的である。

B群

草書体が含まれていることが特徴的である。

C群

2回文字を書き損じていることが特徴的である。

D群

判読不明の部分はおそらく同一の文字か草書体になるであろうと推定される。

第4種

検出された資料に基づき一石経の書写年代、人名、字句について考察を試みた。
なお、経石から引用する文章については新字に改めたものもある。

書写年代

No.24には「法印寛長第八世、子七月二日元禄九年書始也」とあり、No.33には「筆口、佛長阿干時十五年（天は年の異体字）、法印壬午七月二十七日終口」とある。一石経の書写作業は元禄9年7月2日に始まり元禄15年7月27日にいたる6年間にわたって行なわれたことはほぼ間違いないものと思われる。

経石に書かれた年月日を分類すると3期に分けられる。

第1期 （元禄9年7月2日から8月下旬）

元禄9年 7月2日（No.24）書写開始
8月2旬（No.11）、28日（No.12）

第2期 （元禄12年7月中旬から8月）

元禄12年 7月1?日（No.27）、22日（No.28）、23日（No.41）、25日（No.7、15）、26日（No.52）
8月 ?日（No.27）

第3期 (元禄15年6月中旬から7月27日まで)

元禄15年 6月11日 (No.10)、13日 (No.3)、15日 (No.6、53)、18日 (No.47)、

21日 (No.9、30)、23日 (No.71)、25日 (No.13)、26日 (No.52)

7月 9日 (No.26)、22日 (No.4、43)、23日 (No.32)、24日 (No.44)、26日 (No.14)

27日書写終了

以上の結果から書写作業は元禄9年7月2日から元禄15年7月27日までの6年間にわたり3年ごとに6月中旬から8月下旬にかけての約2ヵ月間に集中して行なわれたものと推定される。

なお、経石の埋納は成功のうちに終了したようである。No.65「成就、皆令満足」とある。

人名

資料に書かれた人名は、寛長、一窓貞心、林鐘、市郎兵衛の4名である。寛長の検出例は20例を数え、一窓貞心の2例、林鐘の2例、市郎兵衛の1例に比して圧倒的に多い。

寛長は一石経の埋納が行なわれた当時は定善寺(浄禅寺)の第八世法印の称号を持つ (No.11、24)僧侶である。一石経の書写作業の開始の年期 (No.11)と終了の年期 (No.33)が書かれた資料に寛長の名が見えるところから寛長は一石経書写作業の最初から最後(埋納)に至るまでの全工程に深く関わっていたことは間違いない。

法印は「法印大和尚位」の略号であり、僧正、僧綱に匹敵する高い位を意味する称号である。法印の称号を持った寛長は浄禅寺の住職であり、一切経の書写作業は寛長の総指揮のもとで行なわれていて一窓貞心、林鐘は寛長の下で書写作業を行っていた僧侶であろう。

なお、寛長は禄を「椽」と、「年」を「天」と筆記するという書き癖の持ち主である。

市郎兵衛については検出例が1例 (No.12)のみであるので詳しいことはわからない。No.12には「元禄九年子8月28日、為二世安仇如件、九百五合力、市郎兵衛、樂」とあるので市郎兵衛は経石書写作業の第1期から関わっていたことは間違いない。「為二世安仇如件」とは現世と来世の安心のため、「九百五合力」とはたくさんの力を合わせてというような意味であると考えられる。市郎兵衛が膨大な石材を提供するなど一石経の埋納にたいして多大な貢献をしたことが推察し得る。

たくさんの力を合わせることができた人物であるから「武州入間郡、仙彼口内」(No.21)の名主クラスの地位にあったのかもしれない。

一石経埋納の動機

一石経埋納の動機や経緯が詳細に書かれている資料は検出されなかった。No.12には「為二世安仇如件」という文が書かれているが一石経の埋納が市郎兵衛の発願により「為二世安」ために行なわれたと一概には言えない。寛長の名が頻出することから一石経埋納の原因者は浄禅寺であった可能性もある。現在でも寺院の増築や修理を行なうとき、寄付を募る代わりに寄付を申し出た人の願いや名前を瓦や扇子などに記して奉納したり埋納したりすることはよく行なわれている。No.11には「定善寺第八世法印寛長書為口者也、丙子元禄九年八月二旬地藏堂、縁之下口仇口如件」とある。

(注1)

浄禅寺が地藏堂を建立するために寄付を募りそれに市郎兵衛が応えてくれたことに対する謝意のあらわれとしてNo.11にあるような文章が書かれたとも考えられる。

早稲田大学講師（文化財修復）の桜庭裕介氏の所見

字句について

「為佛果」（No.1）一仏法を保護するの意味である。

「法佛菩薩所護」（No.2）とは菩薩の教えを守るという意味である。

「為宥 菩提也」（No.16）、「為菩提」（No.20）は修業を積む、死後の冥福をとむらうの意味である。

「洩浄求」（No.25）は浄土を求めるの意味である。

「千嚴祖峯、為菩提」（No.29）は先祖を敬い、供養を行なうの意味である。

「諸無諸無」（No.67）所業無常の略語か？

「説願」（No.67）は願をかけるの意味である。

「求法」（No.74）仏法を求めるの意味である。

以上の字句は寺院の建立のための寄付を募る際に書かれる勸進帳や供養を行なう際に書かれる供養文や仏像を製作した際に体内に納める記念銘などに書かれるごくありふれた常套区的な意味合いが強い字句である。

桜庭裕介氏からは上記の所見以外にも、文字の解説や考察をすすめるにあたって多岐にわたる指導を受けた。考察については桜庭裕介氏の所見を下に構成されている。

注1ー「縁の下」は一石経が埋納された地藏堂の縁の下と解釈する場合と「仏縁の下」と解釈する場合の2通りのケースが考えられる。

第5種

石材以外の素材に文字がかかれたものである。検出例が僅少であるので。石材を集めたときに混じりこんだものを石材の代わりに使用したものと思われる。

第5種A群はすべて小片である。判読不可中に含まれる須恵器1点をのぞき縄文時代前期に属する土器片であると思われる。

第5種B群は「王」、「我」、「角」、「起」が書かれているものは、弥生時代後期以降の土器片であると思われる。他のものは縄文時代前記に属するものであると思われる。

第5種C群は「現、現」は須恵器片に書かれているが他のものは縄文時代前記に属すると思われる

第5種D群Ⅰ類は陶器片、瓦片に文字が書かれている。

第5種D群Ⅱ、Ⅲ類は特殊属性として表に掲げる。一石経を製作する際の石材の1種であるので。数量的には第1種あるいは第2種に繰り込んだ。

4、資料 資料1 第1種A群法華三部經・浄禅寺跡遺跡出土経石字別数量対照表

No. 1

使用文字数量・A－法華三部經、B－浄禅寺跡經石
 浄禅寺跡經石に記されている文字が正字、旧字 異体字である場合には特記事項内に字形を記す。

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	安	1 1 3	5 8		29	韋	1	2	
2	阿	3 4 7	1 5 2		30	悲	1 2	4	志 (2) 志 (2)
3	痲	4	0		31	異	5 2	1 1	
4	哀	2 2	4		32	移	4	0	
5	隘	1	0		33	萎	2	2	
6	愛	2 8	1 0		34	意	1 0 4	4 7	
7	黠	1	0		35	瑋	2	1	
8	握	1	0		36	葦	3	1	
9	頰	1	0		37	違	3	2	
10	案	1	0		38	慰	7	4	
11	菴	1	0		39	謂	4 2	1 9	
12	暗	5	0		40	育	2	0	
13	鞍	2	0		41	一	7 5 9	3 5 5	
14	闊	6	6		42	妖	1	0	
15	己	3 2 4	3 9	注1	43	逸	2 3	1 5	
16	以	6 4 4	2 6 9		44	溢	8	1	
17	伊	5	0		45	引	1 5	6	
18	夷	3 3	1 2		46	印	8	8	
19	位	4	2		47	因	1 2 1	3 2	
20	医	9	4	(4)	48	茵	1	0	
21	圀	3 6	1 6	圀 (1 6)	49	姪	5	0	
22	矣	1	0		50	淫	2	0	
23	委	4	2		51	又	1 3 9	6 3	
24	易	7	4		52	于	3 1	3	
25	姨	1	0		53	右	1 6	5	
26	威	5 1	1 6		54	有	7 3 6	3 3 1	
27	為	7 0 7	3 0 0	為 (3 0 0)	55	欧	1	0	
28	畏	5 6	3 1		56	雨	5 9	9	

注1－「巳」と「己」は厳密に書き分けてはいられなかったようである。法華三部經の使用頻度に比べて検出例にばらつきがあるこれは「干」と「干」、「日」と「日」にも共通することである。

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	郁	1	0		31	延	7	2	
2	烏	2	2		32	咽	1	1	
3	郵	2	0		33	宴	2	0	
4	幅	1	0		34	捐	2	0	
5	鳴	1	0		35	掩	1	1	
6	憂	2 9	9		36	淹	1	0	
7	優	8 1	3 8		37	筵	1	1	
8	鬱	1	0		38	焰	4	0	
9	云	5 3	1 9		39	煙	3	2	烟 (2)
10	運	1	0		40	縊	1	1	
11	雲	3 3	7		41	蜃	2	1	
12	会	3 6	2		42	鉛	1	0	
13	回	5	1		43	塩	1	0	
14	衣	7 0	2 5		44	厭	1 1	4	
15	依	2 5	4		45	演	7 1	3 2	
16	画	4	0		46	縁	1 3 5	5 8	
17	廻	3	0		47	踴	1	0	
18	裔	2	2		48	閭	1 3	4	
19	瑰	4	1		49	駕	1	0	
20	慧	1 4 1	6 5		50	於	8 2 3	3 7 1	
21	壞	2 3	3		51	王	3 7 8	1 6 3	
22	懷	3 0	1 0		52	压	1	1	壓 (1)
23	膾	1	1		53	央	1	0	
24	穢	1 8	4		54	応	1 6 6	7 0	應 (7 0)
25	營	2	0		55	狂	6	1 8	
26	銳	2	0		56	邑	1 0	4	
27	衛	5	3		57	往	4 5	1 8	
28	悦	1 0	4	悦 (4)	58	枉	1	0	
29	円	2	0		59	殃	3	1	
30	宛	1	1		60	黄	1 0	0	

No. 3

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	奧	1	0		31	佉	1	1	
2	惶	3	0		32	果	5 4	5	
3	雄	9	1		33	枷	2	0	
4	誑	6	0		34	珂	2	0	
5	橫	3	0		35	迦	1 4 9	4 8	
6	懷	1	1		36	荷	3	1	
7	擁	1 1	5		37	訶	1 3 3	6 1	
8	驚	1	1		38	跏	1 3	3	
9	癡	1	1		39	過	1 1 5	5 3	過 (5 2) 過 (1)
10	億	2 2 6	1 1 5		40	歌	1 4	4	
11	億	2 0	7		41	踝	1	0	
12	臆	2	2		42	瓦	6	1	
13	越	5	0		43	何	2 0 5	1 0 8	
14	怨	1 5	4		44	我	6 8 7	3 0 6	
15	洹	6	1		45	河	6 5	3 2	
16	音	1 6 5	1 0 0		46	臥	1 6	0	
17	恩	6	0		47	餓	1 5	4	
18	陰	3	0		48	鴛	2	0	
19	飲	1 3	6		49	戒	3 5	6	
20	園	1 1	5	園 (5)	50	改	1	0	
21	猿	3	3		51	海	3 9	1 4	
22	遠	5 7	2 5	遠 (2 5)	52	欸	2	0	
23	慇	1 1	2		53	喹	1	0	
24	痞	2	0		54	蓋	2 9	1 0	
25	純	1	1		55	駮	1	0	
26	隱	3 7	2 5	穩 (2 5)	56	鎧	2	1	
27	火	5 7	3 0		57	各	1 1 3	8 6	
28	加	2 0	4		58	角	2	1	
29	可	1 3 2	6 8		59	郭	1	1	
30	伽	5 7	2 2		60	覺	4 1	1 4	覺 (2) 覺 (1 2)

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	開	8	2		31	漢	3 7	9	
2	学	3 4	1 1	學 (1 1)	32	関	2	3	関 (2) 關 (1)
3	岳	1	0		33	歛	1 0 9	4 2	歛 (2 8) 觀 (1 4)
4	愕	1	1		34	澗	1	0	
5	楽	1 9 8	8 0	樂 (8 0)	35	艱	3	0	
6	壑	1	1		36	観	1 1 9	4 2	観 (2) 観 (3 9) 観 (1)
7	額	3	1		37	灌	2	1	
8	活	2	2		38	丸	1	0	
9	渴	1 3	3		39	岸	7	2	
10	竭	4	1		40	玩	7	3	
11	羯	2	0		41	蛭	3	0	
12	豁	1	1		42	雁	1	0	
13	歟	2	2		43	願	1 3 2	4 7	
14	月	4 3	5 1		44	几	2	0	
15	合	7 1	3 2		45	非	5	0	
16	干	2 6	3		46	危	3	2	
17	甘	1 1	0		47	吉	9	7	
18	坎	1	0		48	奇	6	4	奇 (4)
19	官	1 1	3		49	枳	2	0	
20	冠	1	0		50	紀	1	1	
21	卷	1 1	4		51	歸	2 9	6	歸 (6)
22	看	1	0		52	既	3 8	6	既 (3) 既 (3)
23	桓	3	1		53	記	5 1	2 3	記 (8) 記 (1 5)
24	乾	3 7	9		54	豈	7	4	豈 (1) 豈 (4)
25	喚	3	0		55	起	1 1 9	3 5	
26	堪	8	1		56	鬼	4 1	1 3	思 (1 3)
27	寒	1	0		57	基	1	1	
28	敢	7	5		58	龜	1	0	
29	勸	9	3	勸 (1) 勸 (2)	59	喜	1 8 3	9 1	喜 (9 0) 喜 (1)
30	感	3	2		60	幾	4	1	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	貴	5	0		31	劇	1	0	
2	毀	2 3	5	毀 (2) 毀 (3)	32	擊	1 1	3	擊 (2) 擊 (1)
3	暉	2	0		33	獲	1 9	4	獲 (4)
4	棄	4	2		34	汲	1	0	
5	跪	9	0		35	泣	1	0	
6	匱	1	1		36	急	5	2	
7	綺	1	0		37	給	1 4	4	
8	器	1 2	1		38	及	3 2 2	1 6 9	
9	嬉	9	4		39	魚	1	1	
10	茲	1	0		40	交	6	3	
11	機	1	0		41	叫	3	1	
12	閭	1	0		42	坑	6	2	
13	伎	2 6	7		43	孝	2	0	
14	宣	2 7	4 5		44	更	3 9	1 0	
15	祇	4 9	1 5	祇 (1 5)	45	況	3 1	1 9	
16	耆	1 3	0		46	肴	3	1	
17	偽	2	2		47	莖	7	1	莖 (1)
18	愧	4	0		48	狹	3	0	
19	義	1 5 4	6 0		49	迴	1	1	迴 (1)
20	疑	6 1	2 8		50	校	1 2	0	
21	儀	1 0	1		51	荊	3	0	
22	剗	1	0		52	教	1 1 9	3 4	
23	擬	3	0		53	梟	2	0	
24	議	6 7	1 7		54	經	5 2 2	2 3 1	經 (2 3 1)
25	巍	1	0		55	竟	2 0	4	
26	掬	1	0		56	頃	5	0	
27	却	1 1	9		57	敬	1 0 0	3 4	
28	客	3	3		58	絞	2	0	
29	脚	3	0		59	輕	3 6	1 8	輕 (1 8)
30	逆	6	2		60	項	1	1	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	傾	3	2		31	功	1 3 7	6 2	
2	境	6	0		32	句	1 6	5	
3	慶	7	3		33	旧	1	0	
4	橋	2 0	7		34	休	5	0	
5	膠	4	0		35	兇	1	0	
6	類	1	0		36	共	7 6	2 3	
7	頸	3	1		37	朽	9	3	
8	瞽	2	0		38	吼	4	1	
9	鏡	2	1		39	究	2 2	5	
10	競	6	3		40	供	2 4 5	9 5	
11	響	2	1		41	咎	4	0	
12	驚	1 7	8		42	拘	9	0	
13	巧	6	6		43	狗	9	4	
14	刑	1	0		44	苦	1 0 7	2 8	
15	行	3 1 5	1 4 1		45	垢	2 0	6	
16	形	3 1	4		46	宮	5 0	1 3	
17	徑	1	0		47	恐	8	4	
18	曉	3	0		48	恭	6 3	2 4	
19	凝	1	0		49	胸	2	0	
20	玉	3	2		50	蛇	1	0	
21	琴	2	1	琴(1)	51	救	2 3	1 0	
22	禁	3	1		52	鳩	9	3	
23	禽	3	0		53	鼓	2 0	8	
24	緊	2 7	1 0		54	筵	5	2	
25	九	7	8		55	驅	1	0	
26	久	6 2	2 3		56	瞿	2	0	
27	口	2 9	1 0		57	軀	3	0	
28	凶	3	1		58	懼	5	2	
29	孔	9	1		59	衢	2	1	衢(1)
30	丘	1 5 6	9 9		60	弘	4	0	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	求	1 4 4	7 2		31	悌	8	0	
2	具	1 3 0	5 9		32	華	3 6 4	1 8 7	華 (187)
3	洪	2	0		33	飢	1 1	6	
4	紅	4	0		34	窪	2	0	
5	俱	6 6	4 5		35	晴	1	0	
6	躬	2	0		36	瑕	2	1	
7	愚	1 2	4		37	募	2	2	
8	窮	3 3	1 0		38	魁	1	1	
9	空	1 1 3	3 3		39	誨	2	0	
10	偶	1 9	1 0		40	戲	4 2	2 4	戲 (12) 戲 (12)
11	屈	1	0		41	稼	1	0	
12	岫	1 1	2		42	懈	2 4	7	
13	窟	2	1		43	髻	7	1	
14	君	1	0		44	醺	9	0	
15	訓	1	1		45	下	1 0 7	4 2	
16	勲	1	1		46	牙	1 0	2	
17	薰	4	0		47	外	3 1	9	
18	軍	8	1		48	悔	7 7	4	
19	群	1 6	5	群 (5)	49	偈	1 2 7	6 2	
20	化	1 3 7	7 1		50	解	1 6 5	6 7	
21	飯	1 2	0		51	雅	1	1	
22	氣	9	0		52	礙	3 0	9	
23	希	3 5	8		53	計	1 1	2	
24	快	2 1	0		54	桂	1	1	
25	価	2 7	9	價 (9)	55	啓	1	0	
26	佳	1	2		56	溪	3	0	
27	怪	5	3	小左 (3)	57	繼	1	1	
28	芥	1	1		58	詣	3 7	4	詣 (4)
29	疥	3	2		59	稽	9	0	
30	家	4 8	2 6		60	蹊	2	0	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	雞	2	0		31	限	5	3	
2	繁	7	1		32	倦	1 1	3	
3	麒麟	1	0		33	原	2	1	
4	欠	8	2	缺 (2)	34	患	1 8	7	
5	穴	2	0		35	現	1 7 5	8 2	
6	血	2	2		36	眼	6 6	4 3	
7	決	1 7	5		37	街	2	1	
8	潔	4	0		38	減	6	1 3	
9	齧	1	0		39	閑	1 6	0	
10	見	4 4 4	1 9 9		40	還	2 8	1 9	還 (19)
11	券	1	0		41	顔	1 0	8	
12	肩	7	1		42	絃	1	0	
13	兼	3	0		43	己	1 3	1 0 0	
14	牽	1	1		44	戸	2	1	
15	眷	5 0	3 0		45	乎	8	2	
16	險	1 9	7	險 (7)	46	去	6 2	1 7	
17	堅	2 7	1 0		47	古	2	0	
18	捷	1	0		48	巨	3	0	
19	檢	1	0		49	估	2	0	
20	間	1 1 9	5 3	間 (3) 間 (50) 注2	50	呼	3	3	
21	嫌	1	0		51	固	2 5	1 1	
22	隼	7	0		52	居	2 0	3	
23	頸	9	0		53	怙	3	3	
24	幪	1	0		54	虎	1	1	虎 (1)
25	懸	1 2	2		55	孤	1	1	
26	鳶	1	0		56	故	3 4 7	1 1 0	
27	蠲	1	1		57	枯	4	3	
28	玄	1	0		58	炬	3	0	
29	咸	2 7	6		59	胡	7	0	
30	結	1 7	1		60	庫	8	2	

注2—通常「間」は「間」異体字とは異なり別字として使用されるが、「間」の検出例が3個と僅少である一方「間」は50個と多い。「間」が「間」として使用されていた可能性が指摘できる。

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	拳	5	0		31	光	1 4 9	4 6	
2	潤	1	0		32	向	3 1	9	
3	虚	7 2	2 5	虚 (2 5)	33	好	5 1	2 1	
4	許	8	1		34	江	8	3	
5	渠	5	0		35	劫	2 0 7	7 3	
6	號	4	0		36	怯	4	2	
7	雇	2			37	幸	1	1	
8	賈	3	0		38	肯	5	3	
9	踞	2	0		39	厚	9	0	
10	礪	1 0	0		40	巷	1	0	
11	五	1 3 3	4 6		41	皇	2	0	
12	互	1	1		42	矜	1	0	
13	牛	1 8	1 3		43	荒	1	0	
14	吾	1 5	5		44	香	1 9 3	7 5	
15	其	5 3 6	2 4 3		45	晃	1	0	
16	後	1 9 3	6 2		46	降	5	1	
17	娛	1 0	1	娛 (3) 娛 (1)	47	高	4 5	1 7	高 (1 7)
18	悟	1 3	3		48	猴	3	0	
19	御	2 5	8		49	溝	1	1	
20	欺	5	2		50	稿	1	0	
21	瑚	5	2		51	蜨	1	1	
22	蜈	2	1		52	遭	1	0	
23	漁	2	0		53	興	4	0	
24	眠	3 1	0		54	糠	1	0	
25	語	9 7	4 2		55	講	6	3	
26	誤	1	1		56	曠	8	0	
27	篠	5	1		57	續	1	0	
28	護	9 0	2 6		58	号	5 4	1 9	
29	広	9 3	5 3	廣 (5 3)	59	仰	2 0	9	
30	甲	5	1		60	告	1 2 3	3 4	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	迎	2	1		31	困	4	0	
2	恒	8 4	3 2		32	金	7 9	1 7	
3	治	3	0		33	建	1	0	
4	剛	1 0	4		34	恨	3	0	
5	強	1 2	4		35	根	1 0 9	3 5	
6	毫	1 1	4		36	軒	6	0	
7	業	4 4	2		37	紺	3	0	
8	豪	4	1	豪 (1)	38	筋	2	0	
9	啤	1	0		39	含	1 2	5	
10	鵠	1	0		40	言	3 6 7	1 7 0	
11	曲	1 0	1		41	近	5 9	4 1	
12	谷	5	0		42	欣	9	3	
13	刻	1	1		43	健	6	3	
14	国	2 1 4	8 6	國 (8 6)	44	勤	4 8	1 3	勤 (1 2) 勤 (1)
15	剋	1	0		45	獻	8	1	獻 (1)
16	哭	1	1		46	銀	2 2	8	
17	黒	1 3	7		47	権	1	0	
18	棘	3	0		48	嚴	1 3 5	6 7	
19	械	5	0		49	慙	1 1	3	慙 (3)
20	穀	1	0		50	覲	5	2	覲 (2)
21	蔽	1	0		51	左	1	0	
22	極	8	1		52	作	2 9 4	1 0 6	
23	獄	2 8	1 6		53	佐	1	0	
24	乞	1	1		54	鎖	3	0	
25	忽	1 1	6		55	坐	1 0 1	3 0	
26	訖	1	0		56	座	8 8	2 7	
27	骨	3	0		57	挫	1	0	
28	欸	2	0		58	痊	2	0	
29	頌	1	0		59	矧	2	0	
30	今	2 7 1	8 4		60	才	5	0	

No. 1 1

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	切	2 9 5	1 0 2		31	薩	7 0 0	4 3 2	薩 (4 3 3)
2	西	1 3	4		32	三	3 9 3	3 1 9	
3	災	3	1	災 (1)	33	珊	5	1	珊 (1)
4	妻	5	0		34	産	3	2	
5	采	2	2		35	散	4 6	1 7	
6	斉	1	1		36	算	1 3	0	
7	婪	4 7	2		37	祭	1	0	
8	辛	6	2		38	讃	8 1	3 0	
9	差	1 3	3		39	残	2	2	残 (2)
10	採	2	2		40	慚	3	0	
11	濟	1 3	6	濟 (6)	41	慙	1	0	
12	斎	1	0		42	暫	1 0	1	
13	細	6	4		43	竄	1	1	
14	最	5 7	2 4	最 (2 4)	44	儼	5 9	0	注 3
15	歳	2 8	1 8		45	士	4 9	1 2	
16	載	2	1		46	子	5 2 8	2 2 8	
17	摧	3	0		47	尸	4	3	
18	綵	2	0		48	之	5 2 4	2 5 4	
19	際	7	0		49	支	3 6	1 7	
20	觥	1	1		50	止	3 7	1 8	
21	齋	2	1		51	氏	1	1	
22	在	2 1 1	8 4		52	四	1 9 8	8 0	
23	材	1	1		53	此	5 6 3	2 6 9	
24	哉	3 5	2 2		54	旨	2	0	
25	財	2 0	1 3		55	死	6 5	2 9	
26	罪	6 1	1 4		56	至	1 9 4	8 6	
27	鯖	1	0		57	伺	3	1	
28	数	1 7 6	8 2	数 (8 2)	58	志	3 6	1 4	
29	察	4	1	察 (1)	59	私	1	0	
30	撮	1	0		60	使	5 2	3 8	

注 3 「儼」は使用頻度の多さにもかかわらず検出されることがなかった。大河原経塚でも検出例はない。「儼」が何かしら別字を代用して書かれていた可能性はあるが、現在のところ詳細は不明である。

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	刺	1	0		31	似	2	0	
2	始	1 3	1		32	事	1 3 5	4 4	
3	枝	1 2	5		33	侍	1 7	1 1	
4	屍	1	0		34	治	7	4	
5	屎	1	0		35	恃	1	0	
6	思	1 2 0	3 4		36	持	2 3 4	8 8	
7	指	1 4	5		37	值	2 8	1 2	值(11) 值(1)
8	師	2 0 3	9 2		38	時	5 4 8	2 2 4	
9	恣	6	2		39	視	9	1	
10	疵	1	1		40	滋	1	0	
11	紫	5	0		41	慈	5 2	1 3	
12	斯	7 0	3 0		42	辭	1 8	8	辯(3)辭(4) 辭(1)
13	皆	3	0		43	式	2	0	
14	齒	1 1	5	齒(5)	44	色	9 5	2 0	
15	肆	1	0		45	測	4	1	
16	資	4	1		46	識	3 5	9	
17	漬	1	2		47	直	2 3	7	直(7)
18	賜	1 6	7		48	食	3 9	1 5	
19	驕	1	0		49	植	1 0	4	植(4)
20	熾	7	2		50	飾	2 5	8	
21	諸	2	0		51	七	8 7	3 8	
22	筵	1	0		52	質	1 0	2	
23	鴉	2	1		53	失	4 1	1 0	
24	積	1	0		54	室	1 0	3	
25	示	5 9	2 7		55	疾	3 5	1 0	
26	地	1 5 1	6 4		56	悉	1 2 9	7 2	
27	字	1 6	9		57	濕	3	0	
28	寺	3	1		58	嫉	1 1	4	
29	次	4 0	1 1		59	瑟	1	0	
30	自	2 4 3	9 2		60	漆	1	0	

No 1 3

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	膝	2	1		31	赤	8	2	
2	実	1 0 7	3 0	實 (3 0)	32	昔	4 2	1 2	
3	秩	1	0		33	借	1	0	
4	又	4 4	2 0		34	促	5	2	
5	且	5	0		35	索	7	4	
6	写	2 8	1 2	寫 (1 2)	36	惜	9	1	
7	扱	1	0		37	責	4	1	
8	沙	1 1 8	4 7		38	跡	1	4	
9	車	4 5	3 4		39	積	1 7	9	
10	舎	1 4 7	7 2		40	錯	5	5	
11	者	6 5 6	2 2 9		41	錫	1	1	
12	捨	4 9	1 6		42	嚼	1	0	
13	斜	1	0		43	席	1	0	
14	庶	1	1		44	寂	3 0	9	
15	釈	1 0 2	5 0	釋 (4 7) (3)	45	著	7 9	1 5	
16	煮	1			46	鉏	1	0	
17	碑	1 0	3	碑 (2) 拓 (1)	47	籍	1	1	藉 (1)
18	擅	1	0		48	鵠	1	1	(1)
19	賒	4	0		49	鑿	2	0	
20	蔗	6	0		50	手	2 5	3	手 (2) 手 (1)
21	遮	2	1		51	主	1 9	8	
22	謝	3	0		52	守	2 2	9	
23	蹉	1	0		53	舟	1	0	
24	闌	2 1	2		54	取	2 1	9	
25	灑	4	1		55	姝	3	1	
26	邪	3 2	6		56	首	1 9	2	
27	蛇	4	0		57	修	1 7 4	4 9	脩 (1 1) 修 (3 8)
28	尺	3	1		58	悚	1	1	
29	石	6	1		59	殊	6 4	3 5	
30	折	2	1		60	珠	3 9	1 7	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	酒	1	0		31	習	2 9	1 2	
2	衆	8 3 4	3 8 7		32	集	2 4	5	
3	須	6 4	2 3		33	愁	3	1	
4	腫	1	0		34	醜	5	2	
5	種	2 0 6	1 4 2		35	十	3 0 9	1 5 9	
6	銖	1	0		36	充	3 3	1 0	
7	瘦	5	0		37	住	1 8 8	8 1	
8	趣	3 2	1 0		38	重	9 9	3 0	
9	輪	6	0		39	從	1 4 8	6 1	從 (6 1)
10	鐘	3	0		40	涉	2	0	
11	鬢	5	0		41	終	2 8	1 3	
12	囚	2	0		42	獸	9	2	獸 (1) 獸 (1)
13	寿	5 0	2 3	壽 (2 3)	43	縱	7	4	
14	受	2 2 8	1 1 0		44	夙	1	0	
15	呪	1 5	1 2	呪 (1 2)	45	叔	3	1	
16	授	3 9	1 3		46	宿	4 5	2 2	
17	就	5 1	3 3		47	閑	3	0	
18	頌	1 2	3		48	縮	1	1	
19	聚	2 0	7		49	燧	2	0	
20	誦	1 1 4	2 8		50	熟	2	0	
21	澍	4	0		51	出	1 9 1	1 0 0	
22	斂	2	1		52	付	2	3	
23	樹	9 5	3 3		53	旬	3 1	6	
24	驚	7	5		54	巡	1	0	
25	収	1	0		55	純	4	2	
26	周	2 7	9		56	淳	2	1	
27	宗	5	0		57	胸	1	0	
28	拾	1	0		58	順	2 6	8	
29	臭	8	4		59	楯	4	0	
30	執	1 3	4		60	処	1 7 7	6 8	處 (60) 處 (1) 處 (7)

No.15

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	初	3 0	1 2		31	称	4 0	1 9	稱 (19)
2	所	7 2 2	3 3 1		32	秤	1	0	
3	杵	3	0		33	笑	6	3	笑 (3)
4	書	5 4	1 8		34	商	6	0	
5	疏	1	0		35	唱	9	3	
6	諸	1 4 0 7	6 3 6		36	清	9 3	3 5	清 (33) 清 (2)
7	助	1 7	5		37	章	1	0	
8	徐	2	1		38	訟	1	0	
9	除	5 8	1 6		39	勝	3 7	1 3	
10	舒	1	0		40	掌	6 5	2 4	
11	小	1 2 3	2 8		41	烧	4 1	1 2	
12	井	3	1		42	瘠	2	0	
13	少	4 0	1 0		43	葉	4 3	9	
14	正	1 3 0	5 6		44	証	2 4	7	(7)
15	生	6 8 8	2 0 3		45	詔	2	1	
16	壯	4	1		46	傷	4	0	
17	声	2 4 3	1 0 8	聲 (105) 聲 (3)	47	摂	1 1	2	攝 (2)
18	床	1	3	床 (2) (1)	48	照	4 5	1 4	照 (6) 照 (8)
19	抄	1	0		49	臆	1	0	
20	妾	1	1		50	聖	3 9	1 7	
21	姓	3	0		51	悼	3	0	
22	性	3 4	1 1		52	精	6 3	2 4	精 (23) 精 (1)
23	承	4	1		53	障	2 4	4	
24	昇	7	0		54	憔	2	0	
25	青	7	6		55	請	1 9	1 3	請 (10) 請 (3)
26	政	1	0		56	賞	4	1	
27	星	2	1		57	整	3	1	
28	莊	9 9	3 8	莊 (38)	58	醒	2	1	
29	將	3 5	1 5	將 (15)	59	牆	3	0	
30	消	4	1		60	簫	3	1	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	上	3 0 4	1 1 2		31	申	2	0	
2	丈	2 2	4	丈 (4)	32	身	3 3 0	9 2	
3	成	1 8 9	7 1		33	辛	2	1	
4	争	3	0		34	信	1 1 0	5 9	
5	条	1	0		35	侵	6	2	
6	杖	1 0	8	杖 (7) 杖 (1)	36	勝	1	0	
7	状	2	0		37	唇	1	1	
8	定	4 9	1 0		38	真	7 0	1 1	真 (1 1)
9	尚	1 4	7		39	臂	5	0	
10	肱	7	0		40	慎	1	2	慎 (2)
11	乘	2 0 8	5 6		41	新	1 0	3 8	
12	城	3 8	1 3		42	審	4	0	
13	淨	1 9 7	6 9	淨 (6 9)	43	瞋	1 7	4	瞋 (1)
14	貞	2	1		44	震	2 4	9	震 (1) 震 (8)
15	逃	3	1		45	薪	5	0	
16	常	2 1 6	9 4		46	親	5 0	1	
17	情	7	0		47	鍼	1	1	針 (1)
18	盛	1 3	5		48	尽	9 6	4 7	盡 (4 7)
19	場	2 7	9		49	迅	2		
20	詳	3	0		50	沈	7	2	
21	誠	6	4		51	臣	2 0	5	
22	嘗	1	1	嘗 (1)	52	甚	1 0 8	3 1	
23	靜	1 3	3	靜 (2) 靜 (1)	53	訊	8	6	
24	調	3 3	5		54	陣	1	1	
25	靜	5	4		55	深	1 3 3	4 1	
26	繩	8	2		56	進	6 3	2 9	
27	讓	1	0		57	陳	7	0	
28	麤	1	0		58	尋	1 7	7	尋 (6) 尋 (1)
29	濁	2 0	5		59	塵	5 2	2 4	塵 (1) 塵 (2 3)
30	心	4 0 8	4 2		60	途	1	0	

No. 17

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	塗	1 6	5		31	設	2 1	5	
2	頭	4 6	2 0		32	雪	2	0	
3	水	4 2	1 2		33	節	1	0	
4	吹	9	2		34	説	8 7 9	4 3 6	説 (4 3 5) 説 (1)
5	垂	2 1	0		35	躡	1	0	
6	衰	1 1	3	衰 (3)	36	舌	2 5	5	
7	推	1 0	0		37	絶	8	2	
8	捶	2	0		38	千	3 4 0	1 6 5	
9	悴	2	0		39	山	7 6	3 6	
10	醉	2	0		40	川	5	0	
11	遂	6	1		41	仙	8	4	
12	睡	3	1		42	先	3 4	1 1	
13	誰	1 5	8		43	宣	8 8	0	
14	雖	6 7	2 1		44	專	4	1	
15	随	1 2 5	6 4	随 (6 2) 隨 (2)	45	泉	1	1	
16	瑞	7	8		46	洗	7	0	
17	邃	1	0		47	浅	4	2	浅 (1) 浅 (1)
18	髓	2	0		48	穿	2	0	
19	世	7 8 7	2 9 5	世 (2 9 2) 世 (1) 世 (2)	49	苦	1	0	
20	施	4 9	2 3		50	扇	1	0	
21	是	1 5 0 3	7 0 0		51	旃	9	9	
22	制	1	1		52	栴	2 4	0	
23	掣	2	0		53	旋	1 8	4	
24	勢	2 0	9		54	船	7	0	
25	誓	1 9	4		55	𪗇	1	0	
26	逝	2	5		56	戰	5	1	戰 (1)
27	利	2 6	2	利 (2)	57	踐	1	0	
28	窃	3	0		58	撰	1	0	
29	殺	6	0		59	箭	1	0	
30	接	4	0		60	膊	1	0	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	賤	1 1	5		31	鼎	3	0	
2	遷	1	0		32	市	1 8	4	
3	軛	1	1		33	爪	5	3	
4	薦	1	0		34	走	1 5	8	
5	織	1	0		35	相	2 0 5	6 8	
6	鮮	4	1		36	草	2 2	6	
7	瞻	2 1	3		37	送	1	0	
8	羶	3	1		38	倉	3	3	
9	闌	2	0		39	桑	1	0	
10	屏	2	2		40	咳	1	1	
11	饌	1	1	饌(1)	41	窓	2	0	
12	齋	1	0		42	喪	2	2	
13	全	9	1 0		43	僧	8 4	5 2	
14	前	8 5	4 0		44	想	3 9	3	
15	染	7	0		45	総	4	0	
16	善	3 6 3	1 1 9		46	聡	3	1	聡(1)
17	禪	4 5	2 9	禪(17) 禪(12)	47	遭	5	3	
18	漸	3 6	1 7		48	瘡	4	0	
19	膳	6	0		49	澡	3	0	
20	咀	1	0		50	燥	1	1	
21	沮	1	0		51	糟	1	0	
22	祖	1	0		52	霜	1	0	
23	疽	1	0		53	叢	7	0	
24	疎	4	0		54	藪	1	0	
25	詛	1	0		55	造	1 2	4	
26	酢	1	0		56	曾	8 5	6 5	曾(28) 曾(37)
27	楚	2	1		57	象	5 7	9	
28	鼠	1	1		58	像	3 2	1 3	
29	蔬	2	0		59	增	3 6	1 0	
30	蘇	6	2		60	憎	3	0	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	雜	9	3	雜(2) 雜(1)	31	埤	2	1	
2	藏	4 8	1 5	藏(3) 藏(1 2)	32	吁	1	0	
3	繪	1 0	0		33	陀	1 4 0	6 5	
4	即	1 7 0	6 1		34	荼	7	3	
5	足	1 4 3	4 7		35	墮	2 9	5	
6	促	2	0		36	惰	3	1	
7	則	8 5	3 2		37	駄	7	1	
8	息	2 1	6		38	駝	2	0	
9	速	1 6	4		39	太	3	q	
10	側	7	0		40	体	2 4	2	體(2)
11	塞	3 5	1 6		41	对	1	0	
12	触	9	1	觸(1)	42	弟	4 2	5	弟(2) 弟(3)
13	俗	3	0		43	剎	3	1	
14	族	4	1		44	帝	1 9	6	
15	属	5 6	2 2		45	待	6	1	
16	賊	6	0		46	胎	2	0	
17	続	2	1	續(1)	47	退	4 4	1 5	
18	嘱	1 0	4		48	泰	3	0	
19	卒	1	0		49	涕	1	1	涕(1)
20	率	2	0		50	堆	2	0	
21	村	1	3		51	逮	5	0	
22	孫	1	1		52	匱	1	1	匱(1)
23	尊	4 0 8	2 4 1	尊(2 4 1)	53	啼	1	1	
24	損	3	0		54	滯	1	0	
25	蹲	1	1		55	滯	1	0	
26	存	1	0		56	諦	3 4	7	
27	他	4 7	3 6		57	頰	2	0	
28	多	3 0 2	9 8		58	大	8 0 6	3 2 5	
29	佗	4 1	0		59	代	3	0	
30	哆	6	1		60	台	2 2	3	臺(3)

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	怠	1 4	2		31	祖	5	0	
2	第	1 1 8	5 5		32	断	2 6	4	
3	提	1 9 4	7 6		33	曠	5	1	
4	戴	4	2		34	池	1 6	5	
5	黠	1	0		35	知	3 4 3	1 0 9	
6	宅	3 8	2 6		36	底	3	0	
7	沢	5	0		37	致	8	2	
8	度	2 2 3	5 7		38	智	2 2 5	9 5	
9	馳	1	0		39	稚	7	0	
10	咄	2	1		40	絳	1	0	
11	脱	7 3	2 3	脱 (2 3)	41	置	1 1	1	置 (1)
12	達	3 5	1 1		42	馳	7	1	
13	奪	1	0		43	墀	2	0	
14	闕	3 0	5		44	緻	3	0	
15	丹	2	1		45	襪	1	0	
16	旦	1	1		46	癡	1 6	6	
17	但	5 6	1 8	但 (15) 但 (3)	47	魘	2	0	
18	妣	1	0		48	鵲	1	0	
19	坦	2	0		49	竹	2	1	
20	担	4	3		50	畜	1 5	0	
21	单	5	3	單 (3)	51	逐	2	0	
22	彈	3	0		52	扱	1	0	
23	短	9	4		53	圻	1	0	
24	賁	1	0		54	笛	3	1	
25	端	1 8	4		55	滴	1	0	
26	歎	5 6	2 1		56	適	5	0	
27	儻	3	0		57	擲	4	1	
28	檀	3 5	1 8	檀 (17) 檀 (1)	58	跬	1	0	
29	黠	1	0		59	中	4 1 7	2 4 6	
30	段	2	0		60	虫	7	2	虫 (2)

No.2 1

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	肘	1	0		31	珍	3 1	1 0	
2	杵	2	0		32	迫	3	1	
3	注	2	0		33	椎	1	0	
4	昼	1 2	0		34	壁	6	1	
5	倫	1	0		35	通	1 2 6	5 2	
6	厨	5	0		36	痛	5	2	
7	稠	1	0		37	泥	1 0	5	
8	鎗	1	0		38	低	2	2	低 (1) 低 (1)
9	籌	6	0		39	敵	2	0	
10	猪	3	0		40	鉄	1 3	5	鐵 (5)
11	塚	1	0		41	徹	2	0	
12	打	3	1		42	天	4 0 9	1 7 1	
13	長	9 8	4 6		43	恬	2	0	
14	停	2	0		44	点	8	1	點 (1)
15	帳	4	1		45	展	1 4	6	
16	張	3	1		46	転	1 3 0	3 7	轉 (37)
17	彫	1	0		47	椽	2	1	
18	頂	3 3	1 0		48	詔	5	0	
19	鳥	5	4		49	顛	1 0	2	
20	脹	1	0		50	田	9	7	
21	超	2	0		51	伝	1	0	
22	暢	6	1		52	典	6 7	1 8	
23	輒	1	0		53	畋	2	0	
24	澄	1	0		54	殿	4 2	1 3	
25	潮	1	2		55	電	2	0	
26	聴	8 5	3 4	聴 (3 4)	56	斗	1	0	
27	聘	1	0		57	妬	6	3	
28	鵬	3	1		58	兜	4	2	
29	勅	1 3	1	勅 (1)	59	瓷	5	0	
30	枕	1	0		60	都	4	2	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	屠	2	1		31	動	3 9	1 3	
2	渡	2	0		32	堂	1 1	8	
3	靚	3	0		33	荷	1	0	
4	土	1 3 5	3 9		34	童	2 2	7	
5	刀	9	0		35	道	3 3 3	1 4 7	
6	切	3	1		36	僮	4	0	
7	当	3 8 5	1 6 3	當 (1 6 3)	37	銅	3	2	
8	投	7	0		38	導	4 3	2 0	
9	東	3 4	8		39	幢	1 9	5	幢 (2) 幢 (3)
10	到	3 5	1 0		40	蹠	1	1	
11	党	1	0		41	得	7 1 7	3 3 4	
12	唐	1	0		42	德	2 2 0	1 0 3	德 (1 0 3)
13	討	1	2		43	毒	2 9	9	
14	盜	3	0		44	独	1 7	9	獨 (9)
15	逗	1	0		45	特	5	6	
16	塔	8 6	4 5		46	読	9 8	4 6	讀 (4 6)
17	棟	3	1		47	頓	3	2	
18	湯	3	0		48	食	3 6	2 5	
19	登	2	0		49	鈍	9	5	
20	等	5 8 6	2 5 6		50	曇	1 1	2	
21	答	1 0	5	答 (4) 答 (1)	51	那	1 1 0	4 3	
22	稻	1	1		52	南	2 3	6	
23	燈	4 0	1 5	燈 (1 5)	53	乃	1 5 1	7 2	
24	擗	1	0		54	内	2 6	7	
25	蹈	2	0		55	奈	4	0	
26	闕	4	1		56	男	1 5 9	5 2	
27	踴	1	0		57	軟	1 3	1	軟 (1)
28	騰	1	0		58	暖	1	0	
29	同	4 8	1 5		59	煖	2	0	
30	倒	1 0	0		60	難	1 5 7	5 7	難 (4 4) 難 (1 3)

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	二	2 1 5	1 3 9		31	任	6	3	
2	尼	1 9 7	7 1	尼(6 1) 尼(8) 尼(2)	32	妊	2	0	
3	而	5 2 8	2 4 5		33	忍	4 5	1 0	忍(5) 忍(5)
4	耳	3 4	1 7		34	賃	2	0	
5	兒	4	3	兒(3)	35	潤	1 2	1	
6	梔	5	0		36	奴	6	1	
7	爾	2 7 8	1 2 6		37	涅	7 7	3 3	涅(2 9) 涅(4)
8	膩	3	0		38	福	8	0	
9	肉	1 3	5		39	熱	6	1	
10	辱	1 8	9	辱(5) 辱(4)	40	年	2 9	1 7	
11	薜	2	0		41	念	2 0 0	8 2	
12	日	9 8	9		42	然	1 0 1	3 3	
13	若	6 1 8	2 8 4		43	燃	1 3	2	
14	弱	4	2		44	惱	7 8	2 5	惱(2 5)
15	入	1 2 9	8 2		45	納	9	0	
16	乳	1	0		46	能	3 4 9	1 2 8	
17	柔	1 8	4		47	腦	2	0	
18	女	1 2 7	4 9		48	礪	1 0	1	礪(1)
19	如	9 6 9	3 2 9		49	膽	1	0	
20	汝	2 8 6	8 8		50	耨	1 0 3	3 7	
21	尿	1	1		51	叵	4	0	
22	鬧	1	0		52	把	2	0	
23	寧	6	0		53	波	6 0	3 5	
24	嬌	1	0		54	破	2 0	5	
25	遶	6	0		55	婆	1 9 2	8 1	
26	繞	3 3	7	繞(6) 繞(1)	56	頗	1 2	1	
27	饒	1	1		57	簿	9	2	
28	饒	2 8	1 3	(1 3)	58	蕪	1	0	
29	人	6 5 9	3 2 3		59	拌	2 0	7	拜(4) 并(3)
30	仁	7	2		60	背	4	2	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	排	1	0		31	皮	1	0	
2	敗	5	1		32	圯	1	0	
3	廐	6	0		33	彼	1 2 3	4 1	
4	輩	5	1	輩 (1)	34	肥	1	1	
5	吠	1	1		35	非	1 1 7	3 8	
6	貝	1	0		36	卑	2	2	
7	倍	1 2	2		37	飛	3	1	
8	唄	2	1		38	疲	1 3	3	
9	怕	3	0		39	秘	1 1	1	
10	泊	1	0		40	被	1 0	1	
11	迫	3	1		41	婢	4	0	
12	珀	4	2		42	悲	5 1	1 3	
13	搏	1	0		43	鄙	2	0	
14	雹	1	0		44	誹	4	0	
15	陌	1	1		45	避	1	0	
16	縛	5	0		46	臂	6	3	
17	爆	1	1		47	譬	6 1	2 3	
18	八	1 3 2	4 7		48	尾	1	1	
19	般	1 1	5		49	毗	1 9	7	
20	鉢	1 4	1		50	備	2	1	
21	鉞	1	0		51	毳	1	0	
22	伐	1	0		52	鼻	3 5	1 2	
23	拔	1 3	2	拔 (2)	53	履	2 3	5	
24	跋	8	4		54	鞞	2	1	鞞 (1)
25	𪚩	2	2		55	匹	1	0	
26	半	8	3		56	必	2 6	5	
27	伴	3	0		57	畢	8	1	
28	槃	7 8	2 3		58	筆	3	2	
29	旛	3 4	0		59	逼	8	1	
30	比	1 6 4	7 2		60	百	2 5 5	1 0 9	

No.25

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	白	1 1 7	4 8		31	附	2	1	
2	辟	3 3	9		32	封	2	1	
3	壁	3	5		33	捕	2	0	
4	蹙	3	0		34	婦	5	0	
5	兵	5	3		35	跌	1 3	2	
6	表	6	0		36	富	2 5	1 3	
7	漂	3	2		37	普	1 1 3	2 6	
8	飄	1	0		38	鳧	1	0	
9	平	2 5	4		39	腐	1	1	
10	並	3 6	1		40	敷	1 7	0	
11	俾	1	0		41	膚	2	1	膚 (1)
12	病	4 1	1		42	覆	2 2	2	
13	屏	1	1		43	父	8 4	3 3	
14	瓶	2	0		44	奉	3 6	9	
15	賓	3	0		45	步	3	2	
16	債	1	0		46	負	4	0	
17	擯	2	0		47	峯	1	1	
18	續	1	0		48	浮	1 5	5	
19	顰	2	0		49	部	1 3	4	
20	泯	1	0		50	復	3 1 4	1 1 1	復 (108) 復 (3)
21	貧	1 6	0		51	豐	2	1	
22	頻	7	1		52	蒲	1	0	
23	不	8 0 2	3 7 2		53	舞	1	0	
24	夫	3 9	9		54	蓬	2	2	
25	付	1 1	3		55	風	1 4	3	
26	布	3 0	6		56	諷	1	0	
27	孚	1	0		57	福	5 9	3 1	
28	扶	2	0		58	腹	2	0	
29	怖	3 6	7		59	蝮	3	1	
30	阜	2	0		60	輻	2	0	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	伏	1 4	4		31	放	3 5	1 8	
2	服	3 5	0		32	法	1 0 9 9	4 5 9	
3	仏	1 6 6 9	8 4	佛(739)佛(4)	33	泡	1	1	
4	分	1 2 1	1 5	分(15)	34	崩	1	1	
5	粉	1	0		35	報	2 9	1	報(1)
6	奮	3	1		36	飽	4	0	
7	糞	9	0		37	乏	5	0	
8	陸	1	0		38	坊	1 1	2	
9	閉	2	3		39	房	2	0	
10	弊	9	2		40	舫	1	1	
11	蔽	5	0		41	傍	2	2	
12	別	6 7	3 5		42	暴	2	0	
13	萌	1	0		43	謗	1 3	2	
14	機	1	0		44	北	1 0	9	北(8)北(1)
15	反	3	0		45	僕	7	2	
16	辺	7 0	3 8	邊(38)	46	蔔	5	0	
17	返	2	0		47	撲	3	0	撲(1)
18	変	2 2	9	變(9)	48	弗	9 6	2 4	弗(24)
19	偏	8	0		49	払	1	0	
20	區	1	1		50	発	9 4	2 8	發(28)
21	徧	6 7	2 2		51	髮	8	6	
22	遍	2 4	5		52	焔	1	0	
23	攀	1	0		53	本	6 9	3 1	
24	弁	1 5	1	辯(1)	54	奔	1	3	
25	便	1 6 7	5 7		55	品	1 5	1 8	
26	保	1	1		56	販	1	1	
27	菩	8 5 1	3 6 9		57	粟	1	0	
28	慕	5	1		58	凡	1 2	4	
29	方	3 3 3	1 1 9		59	犯	5	1	
30	宝	3 3 6	1 5 7	寶(156) 宝(1)	60	牟	2	2	

No.27

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	盆	1	0		31	弥	7 6	2 9	弥 (27) 彌 (2)
2	梵	9 8	3 4		32	眉	1 5	5	
3	焚	2	2		33	美	1 5	6	
4	煩	2 0	4		34	微	7 1	2 9	
5	曼	3 5	1 6		35	魅	3	0	
6	麻	1	0		36	靡	2	0	
7	摩	1 8 4	5 1		37	密	8	2	
8	磨	8	1		38	蜜	3 5	6	
9	魔	3 5	1 4		39	檣	1	0	
10	每	8	2		40	咩	1	0	
11	米	1	0		41	覓	1	0	
12	壳	2	2	賣 (2)	42	藐	1 0 7	4 4	
13	玫	4	0		43	名	2 6 2	6 3	
14	味	7 5	2 8		44	妙	2 1 7	7 8	
15	邁	4	1		45	命	5 8	2 9	
16	莫	1 6	4	莫 (4) 莫 (2)	46	明	1 5 9	4 8	
17	寞	1	0		47	苗	1	0	
18	漠	1	4	漠 (3) 漠 (1)	48	眇	1	0	
19	末	1 4	0		49	冥	4	0	
20	抹	1 9	5		50	猛	1 5	4	
21	沫	1	0		51	萌	3	0	
22	万	2 9	1 4 1	万 (6) 萬 (135)	52	貌	3	0	
23	満	6 8	2 5	満 (25)	53	鳴	5	4	
24	幔	5	0		54	廟	1 4	7	
25	慢	3 3	0		55	犖	1	0	
26	蔓	1	2 1		56	瞋	3	0	
27	縵	1	0		57	謬	2	1	
28	鑿	2	0		58	民	2 8	8	
29	末	1 7 1	6 4		59	眠	2	1	
30	味	2 1	4		60	慙	5 0	1 2	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	牟	7 9	1 6		31	目	3 2	5	
2	茂	5	0		32	墨	4	0	
3	某	7	3		33	默	1 4	4	
4	務	1	0		34	勿	2 9	7	
5	無	1 0 6 1	3 6 1	無 (336) 無 (24) 无 (1)	35	沒	1 1	2	
6	貿	1	0		36	物	3 4	1 4	
7	夢	1 0	1		37	文	6 1	3 4	
8	蒙	1 1	1	蒙 (1)	38	門	6 7	2 7	
9	馬	1 6	4		39	問	4 9	3 3	
10	碼	1 0	1	碼 (1)	40	悶	4	1	
11	罵	1 4	2		41	聞	4 3 9	2 3 5	
12	迷	6	4		42	也	2 1	5	
13	滅	2 5 2	6 0		43	治	2	0	
14	免	4	0		44	夜	7 0	3 5	
15	面	5 2	3 4		45	耶	2 0	4	
16	勉	2	1		46	野	1 1	1	
17	涵	1	0		47	厄	3	0	
18	麵	1	2		48	亦	3 5 5	1 8 2	
19	母	3 1	1 5		49	益	4 9	1 7	
20	亡	1	0		50	腋	1	0	
21	毛	9	0		51	葉	8 2	3 6	葉 (36)
22	妄	2 8	5	妄 (4) 妄 (1)	52	躍	1 7	2	
23	忘	1 3	3		53	鑰	1	1	
24	盲	8	0		54	由	8 4	3 3	
25	望	6	6		55	油	2 3	9	
26	網	1 1	5	網 (1) 網 (4)	56	幽	4	0	
27	輶	2	1		57	輿	1 5	1	
28	蟒	1	0		58	涌	1 6	6	
29	鰓	1	0		59	蚰	2	0	
30	木	5	1 2		60	喻	3 5	1 6	喻 (16)

No. 2 9

No.	文字	A	B	特記事項	No.	文字	A	B	特記事項
1	猶	4 4	2	猶 (1) 猶 (1)	31	搖	1	0	
2	愈	3	1	愈 (1)	32	詠	2	0	
3	誘	4	2		33	遙	1 4	6	
4	踊	1 8	2		34	養	2 1 3	1 0 8	
5	牖	3	1	牖 (1)	35	嬰	2	0	
6	諭	3	3		36	曜	1 1	0	
7	鼫	1	1		37	環	3 9	1 6	
8	唯	8 0	1 4		38	纓	1	0	
9	惟	4 0	1 5		39	浴	9	1	
10	維	6	2		40	欲	2 4 0	7 2	
11	友	7	3	友 (2) 友 (1)	41	裸	2	0	
12	用	1 5	4		42	岷	1	0	
13	勇	1 8	4		43	螺	9	1	
14	疣	1	0		44	羅	4 8 0	2 0 4	
15	遊	3 8	1 2		45	邏	2	2	
16	傭	4	2		46	礼	7 7	2 3	礼 (1) 禮 (2 2)
17	与	1 5 0	6 6	與 (6 5) 與 (1)	47	来	4 2 7	1 9 3	來 (1 0 0) 来 (9 3)
18	予	2	0		48	戾	2	0	
19	余	7 8	2 6	餘 (2 6)	49	昧	1	0	
20	預	1	1		50	雷	1 4	2	
21	輿	4	0		51	癩	4	1	
22	幼	5	2	幼 (2)	52	珞	3 8	1 3	
23	永	1 8	5		53	絡	2	0	
24	羊	9	6	羊 (5) 羊 (1)	54	落	1 7	5	
25	映	1	0		55	乱	2 3	7	亂 (7)
26	榮	1	0		56	卵	1	0	
27	盈	6	0		57	藍	2	0	
28	要	1 1	2		58	嫵	1	1	
29	容	2	0		59	蘭	1	1	
30	揚	3	0		60	欄	4	2	

No	文字	A	B	特記事項	No	文字	A	B	特記事項
1	攪	1	0		31	涼	5	0	
2	吏	2	0		32	陵	5	1	
3	利	2 6 4	1 2 3		33	量	3 7 0	1 3 3	
4	里	5	3		34	楞	1	0	
5	梨	1 8	0		35	鈴	1 0	1	
6	理	7	0		36	儼	1	1	
7	晉	7	2		37	領	4	1	
8	裏	5	1		38	靈	4	4	靈 (4)
9	狸	1	0		39	療	3	1	
10	璃	2 6	3	瑠 (1) 瑠 (1) 瑠 (1)	40	線	1	0	
11	離	5 2	1 2		41	麵	1	0	
12	黎	2	0		42	林	3 4	1 2	
13	力	2 4 1	9 1		43	倫	2	0	
14	戮	1	0		44	恪	5	0	
15	律	3	1		45	輪	8 1	2 3	
16	嫫	1	0		46	隣	5	1	
17	略	7	1		47	臨	6	1	
18	歷	7	1		48	陋	3	0	
19	礫	2	1		49	流	1 9	6	
20	立	2 8	1 3		50	留	6	1	
21	龍	7 0	4 3		51	樓	5 5	1 0	樓 (10)
22	侶	1	0		52	瑠	2 6	5	
23	侶	1	0		53	盧	4	5	
24	慮	9	0	慮 (1)	54	累	6	2	
25	了	3 1	1		55	類	1 5	6	
26	令	2 2 0	4 2		56	羸	3	1	
27	兩	1 5	2	兩 (2)	57	隸	1 6	3	
28	伶	1	1		58	列	5	1	
29	冷	1	0		59	劣	1 1	1	
30	梁	3	0		60	裂	3	0	

No.3 1

No.	文字	A	B	特記事項	No.	文字	A	B	特記事項
1	連	6	1		31	琶	1	2	
2	恋	5	4	絡糸(4)	32	或	1 1 2	6 3	
3	練	4	1		33	惑	2 3	8	
4	憐	6	1		34	曰	6 2	7	
5	蓮	4 3	3 0		35	神	1 3 5	6 4	
6	羣	4	1		36	皆	3 5 3	1 5 5	
7	癩	1	0		37	界	1 7 7	1 0 3	
8	炉	3	1	爐(1)	38	遣	1 4	5	
9	路	8	1		39	甄	4	0	
10	漏	4 1	1 8	漏(16) (2)	40	慳	6	0	
11	露	2 5	6		41	嶮	1	0	
12	驢	2	0		42	袞	2	0	
13	老	2 5	8		43	賢	6 4	1 3	
14	勞	6	1	勞(1)	44	謙	1	0	
15	牢	3	0		45	惡	1 5 1	4 3	
16	良	1 1	3		46	纏	2	1	纏(1)
17	浪	1	0		47	莎	3	1	
18	狼	3	0		48	慣	1	1	
19	獺	3	2	獺(1) 獺(1)	49	械	2	1	
20	娘	1	1		50	開	3 4	1 4	
21	聾	6	1		51	害	1 9	1 2	
22	鑲	1	1		52	柱	5	2	
23	六	1 4 1	5 5		53	姪	1	0	
24	陸	1	1		54	龔	1	0	
25	勒	3 3	1 8		55	狐	2	1	
26	鹿	6	3		56	籍	1	0	
27	論	1 2	4						
28	汚	1	0		總 数 A=8 2, 6 8 1 B=3 3, 2 0 4				
29	和	2 2	5						
30	窳	1	0						

第 1 種 B 群表

[illegible]

資料3 般若心經・淨禪寺跡遺跡出土經石字別数量対照表

使用文字数量・A一般若心經、B—淨禪寺跡經石

文字	A	B	文字	A	B	文字	A	B	文字	A	B
般	6	5	若	7	2 8 4	波	9	3 5	羅	1 0	2 0 4
蜜	8	6	多	8	9 8	心	3	1 4 2	經	2	2 3 1
觀	1	5	自	2	9 2	在	1	8 4	菩	4	3 6 9
薩	2	4 3 3	行	3	1 4 1	深	1	4 1	照	1	1 4
見	1	1 9 9	五	1	4 6	蘊	1	0	皆	1	1 5 5
空	8	3 3	度	1	5 7	一	3	3 5 5	切	3	1 0 2
苦	3	2 8	厄	1	0	舍	2	7 2	利	1	1 2 3
子	2	2 2 8	色	6	2 0	不	8	3 7 2	異	2	1 1
即	3	6 1	是	9	7 0 0	受	2	1 1 0	想	3	3
識	3	9	亦	4	1 8 2	復	1	1 1 1	如	1	3 2 6
諸	2	6 3 6	法	2	4 5 9	相	1	6 8	生	1	2 0 3
滅	2	6 0	垢	1	6	淨	1	6 9	增	1	1 0
滅	1	1 3	故	7	1 1 0	中	1	2 4 6	無	2 1	3 6 1
眼	1	1	耳	1	1 7	鼻	1	1 2	舌	1	5
身	1	9 2	意	1	4 7	声	1	1 0 6	香	1	7 5
味	1	4	觸	1	0	界	2	1 0 3	乃	2	7 2
至	2	8 6	明	3	4 8	尽	2	4 7	老	2	8
死	2	2 9	集	2	5	道	1	1 4 7	智	1	9 5
得	2	3 3 4	以	1	2 6 9	所	1	3 3 1	提	3	7 6
捶	1	1	依	2	4	罽	2	2	礙	2	9
有	1	3 3 1	恐	1	4	怖	1	7	遠	1	2 5
離	1	1 2	顛	1	0	倒	1	0	夢	1	1
究	1	5	竟	1	4	涅	1	3 3	槃	1	2 3
三	3	3 1 9	世	1	2 9 5	仏	7	8 4 2	得	1	3 3 3
阿	1	1 5 2	耨	1	3 7	藐	1	4 4	知	1	1 0 9
大	1	3 2 5	神	1	6 4	咒	6	1 5	上	1	1 1 2
等	2	2 5 6	能	1	1 2 8	除	1	1 6	真	1	1 1
実	1	3 0	虚	1	2 5	説	2	4 3 6	曰	1 6	7
揭	4	0	帝	4	0	僧	2	5 2	莎	1	1
訶	1	6 1					A=2 9 6 B=1 3, 8 6 7				

第2種A群I類表

[illegible]

第 2 種 A 群 II 類表

[illegible]

第2種B群I類表

[illegible]

第2種B群Ⅱ類表

[illegible]

資料 8

第2種C群Ⅰ類a内容表

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	間、間	2	薩、薩	3	薩、薩	4	薩、薩
5	舅、舅	6	國、回	7	語、語	8	住、住
9	燃、燃	10	羅、羅	11	慢、慢	12	實、實
13	賊、賊	14	罽、罽	15	舉、舉	16	誰、誰
17	嚴、嚴	18	嬰、嬰	19	銀、食	20	乘、乘
計20個							

資料 9

第2種C群Ⅰ類b内容表

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	荅、ノ	2	檀、旦	3	摧、扌	4	帝、 ¹
5	故、古	6	佈、布	7	一、正	8	發、人
計8個							

資料 10

第2種C群Ⅰ類c内容表

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	次、吹	2	脩、修	3	輕、經	4	典、典
5	輕、經	6	現、覓	7	佛、依	8	功、切
9	優、憂	10	功、切	11	捶、揅	12	汝、如
計12個							

資料 11

第2種C群Ⅰ類d内容表

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	得、目	2	掌、人	3	偶、言	4	特、來
5	二、十	計5個					

資料 12

第2種C群Ⅱ類a内容表

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	議、議	2	勤、勤	3	歎、歎	4	用、用
計4個							

資料 18

第3種A群内容表

(表面、裏面、側面、側面)

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	由、由、由	2	法、法、法	3	品、品、品	4	言、言、言
5	薪、薪、薪	6	子、子、子、子	7	之、之、之	8	佛佛、佛
9	佛佛、佛	10	佛佛、佛	11	以、似、似	12	中、中、中、中
13	弥、弥、弥	14	一、一、一	15	佛、佛、佛、佛	16	佛、佛、佛
17	佛、佛、佛	18	力、力、力	19	上、上、上	20	王、王、王
21	王、王、王	22	天、天、天、天	23	一、一、一	24	十、十、十
25	我我、我	26	子、子、子	27	所、所、所	28	數、數、數
29	千、千、千	30	王王、王	31	有、有、有、有	32	一、一、一、一
33	妙、妙、妙	計33個					

資料 19

第3種B群内容表

(表面、裏面、側面、側面) S=他の二字の草書体

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	現、現、S	2	学、學、S	3	富、富、S	4	掌、掌、S
5	信、S、S	計5個					

資料 20

第3種C群内容表

(表面、裏面、側面、側面)

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	衆、衆、衆	2	穉、穉、木	3	玕、玕、玕	4	檀、且、且
5	𦵏、𦵏、𦵏	6	衣、衣、衣	7	竟、竟、竟	8	𠂇、𠂇、𠂇
9		計9個					

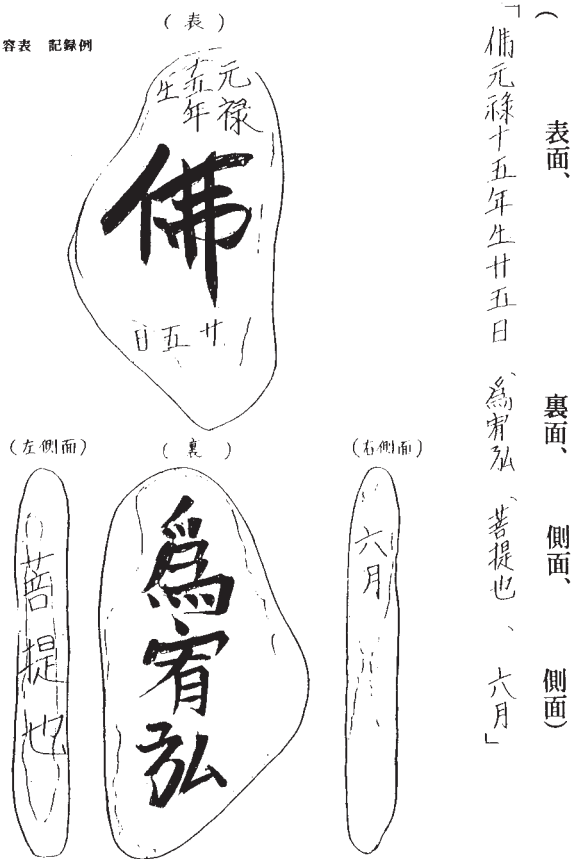
資料 21

第3種D群内容表

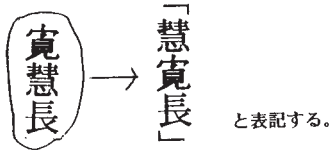
(表面、裏面、側面、側面) □=判読不明

No	記 事	No	記 事	No	記 事	No	記 事
1	此、此、□	2	佛、□、佛	3	佛、佛、□	4	故、𠂇、𠂇
5	何、何、𠂇	6	佛、佛、佛、佛、下	7	在、在、□	8	𠂇、久、山
9	我、我、□	10	懷、懷、□	計10個			

資料22
第4種内容表 記録例



- ①側面の表記にあたっては文脈を尊重した。従って、右側面を先に読む場合もある。
- ②一石経の経文が書かれている面を表面とした。
- ③一石経の経文は文頭に記した。



資料22
第4種内容表No.1

No.	記事
23	舅、寛長元禄九年十七世□
22	邊、□長書字
21	深、入間武易郡、仙彼□内
20	徳、一窓、貞心、為菩提
19	遇、元禄十五年、□月句
18	佛、林鐘、十三日
17	佛、元禄十□□壬午六月廿四日、書寫、佛佛
16	佛、元禄十五年生廿五日、為宥弘、菩提也、六月
15	經、元禄十二年、廿五日寫、□□
14	養、元禄十五年、壬午七月廿六日書又
13	薩、書寫、壬午六月廿五日寛長、元禄十五年
12	九百五合力、市郎兵衛、樂
11	元禄九年子八月十八日、為二世安飯如件、 二句地藏堂、縁之下□□仍□如件
10	讀、六月十一日、元禄十、五壬午、致白
9	諸、元禄十五年壬午ノ、六月九一日
8	倒、卯七月元禄□十二年
7	願、元禄十二年卯七月戊五日
6	繪十五元禄年、壬午ノ六月十五日
5	塗六月、元禄千時十五年、上、十□□□
4	護千時元禄、十五天七月二十二日
3	慧寛長、元禄十五年、壬午ノ、六月十三日、書
2	教法佛菩薩所護、元禄十五年□□、書寫、寛
1	讚、貞心、為佛果、書寫、納

No. 2

No.	記事
24	懋法印寛長第八世、子七月二日元禄九年書始也致白
25	自禾没浄求□其□、□爲也
26	□、元禄十五□七月九日
27	總、印八月元禄十二年十□□書
28	就、元禄十二年印七月廿二日致白(敬白)
29	燃、千巖祖峯、和尚禪師、爲菩提、也
30	尊、元禄十五年壬午□、六月九日書□
31	樂、元禄十二□月十六日
32	説書寫、元禄十五天壬午七月廿三日寛長
33	筆□、寛長阿□、壬時十五天、法印壬午七月廿七日終□
34	説、元禄十五年壬午、六月廿□□
35	願、元禄十五年七月□□
36	羅□、十□年、六月
37	聽、寛長
38	聲林鍾寫十三日、千時元□十五年壬午、寛長
39	國、月□二□日午□寛長
40	夫□、イ□力二□□
41	薩、元禄十二年印七月廿三日
42	□、五年、□元禄十、壬午□日
43	諸書寫、元禄十五壬午七月九二日、□
44	雲寛長、九日書寫、千時十五天、壬午七月
45	徳寛長書寫、壬午七月□□
46	燃寫、皆元禄十五年□六月十六日書
47	聞、元禄十五□□ノ六月、盡、十八日

No. 3

No.	記事
48	書、寛長
49	樂、印元禄十二年、八月六日
50	道、元十二年印七月廿六日
51	處、元禄十二年印七月廿四日
52	爲書、元禄十五、壬午六月廿六日
53	雖、千時元禄十五年、壬午ノ六月十五日
54	億、壬□□□七月書
55	年(表裏面判読不可)
56	梵、元禄十二年、七月□二日
57	萬書寫、元禄十五天六月□□
58	經書、壬□、寛長
59	尊、元禄十二年、印八月六日書寫
60	□、□□□廿二日、元□□□年
61	發、元禄十二年印、五
62	寛、□□□月□□、書寫
63	娑書、七月廿二日寛長
64	書字、雨、雨
65	成就、皆令満足
66	調、寛長
67	血、血、諸、諸
68	巖、肖、什、傷量
69	一、三、二
70	讚、寛長
71	壬午、元禄十五天、敬白□也、六有二十三日□□、寛長書
72	願、説願
73	得、七月□□
74	求法

資料 2 3

第 5 種 A 群表

文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量
𩺰	2	等	1	滅	1	三	1	賤	1	我	1	化	1	有	1
六	1	亦	1	實	1	億	2	大	1	究	1				
計 1 6 個		判読不可 5 個													

資料 2 4

第 5 種 B 群表

文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量	文字	数量
之	1	起	1	生	1	人	1	然	1	我	1	遍	1	佛	1
縁	1	是	1	悔	1	王	1	解	1						
計 1 3 個		判読不可 4 個													

資料 2 5

第 5 種 C 群 (表面、内面)

記 事	記 事	記 事	記 事	記 事
一、一	浴、浴	薩、薩	俊、復	実、實
摩、摩	淨、淨	𩺰、𩺰	故、□	手、手
現、現	衆、衆	計 1 1 個	判読不可 1 個	

資料 2 6
第 5 種 D 群 I 類

記 事	記 事	記 事	記 事	記 事
隆, 隆 (陶器外内面)	一 (陶器外面)	宿 (摺り鉢内面)	各 (陶器内面)	隆 (陶器外面)
光 (陶器外面)	光 (陶器外面)	岸 (瓦の割れ面)	計 8 個	

資料 2 7
第 5 種 D 群 II 類 (表面、裏面)

記 事	記 事	記 事	記 事	記 事
於 (打製石斧)	菩 (打製石斧)	音 (打製石斧)	蓋 (打製石斧)	帝 (打製石斧)
誦 (打製石斧)	瑠 (打製石斧)	其 (打製石斧)	崔見 (打製石斧)	薰 (すり石)
婆 (すり石)	菩、菩 (打製石斧)	經, 經 (打製石斧)	計 1 3 個	

資料 2 8
第 5 種 D 群 III 類 (表面、裏面)

記 事	記 事	記 事	記 事	記 事
美 (磨製石斧)	萬 (磨製石斧)	聲 (磨製石斧)	終 (磨製石斧)	勢 (磨製石斧)
實、實 (磨製石斧)	水、水 (磨製石斧)	計 7 個		



本村遺跡第74地点土坑 2



本村遺跡第74地点溝 1 (右)
・ 2 (中上下) ・ 3 (左下)



本村遺跡第74地点溝 1



本村遺跡第74地点柵列



浄禅寺跡遺跡第10地点遺構確認状況



浄禅寺跡遺跡第10地点北側



浄禅寺跡遺跡第10地点調査区南側



浄禅寺跡遺跡第10地点土墳100



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙100



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙100



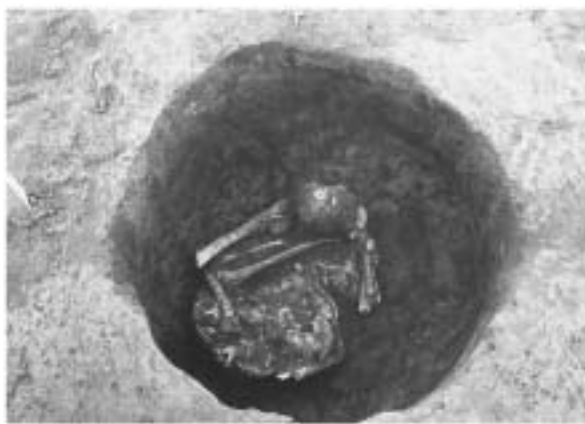
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙 2



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙 5



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙 6



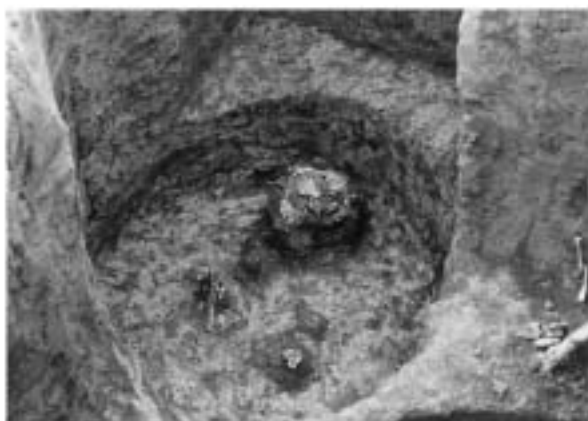
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙 7



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙 9



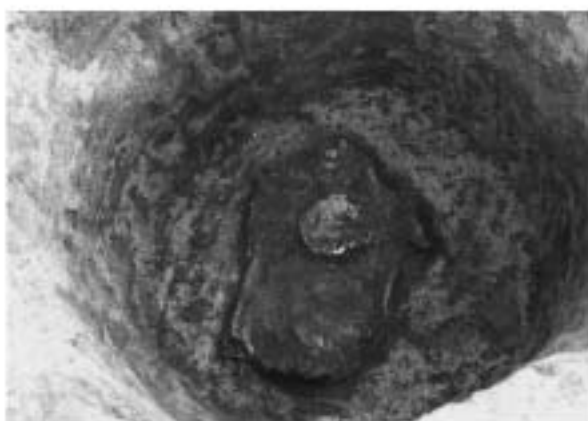
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙10(右)・13(左)



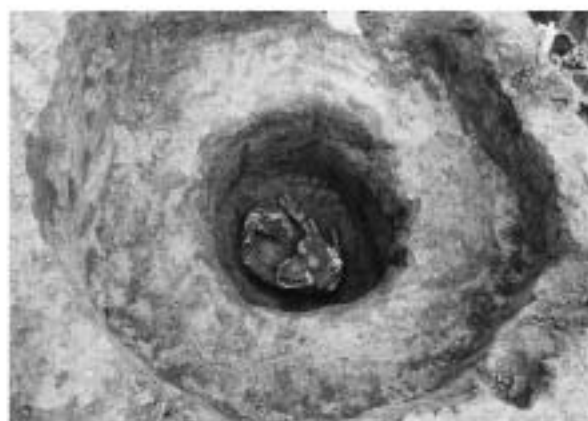
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙10



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙12



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙15



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙16



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙16(前右)・20(16北右)・21(20上)・44(81左)・80(81左)・81(50左)・50(20左)・79(80前)



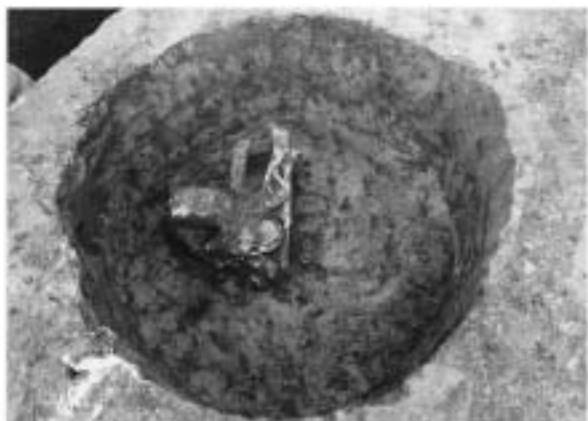
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙19



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙20(左)・21(右)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙22



净禅寺迹遺跡第10地点土壙23



净禅寺迹遺跡第10地点土壙31



净禅寺迹遺跡第10地点土壙36



净禅寺迹遺跡第10地点土壙37-1



净禅寺迹遺跡第10地点土壙42



净禅寺迹遺跡第10地点土壙43



净禅寺迹遺跡第10地点土壙46(右)・47(中下)・49(中上)・65(左)・76(中)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙49



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙50



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙51(中)・60(左)・62(右)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙53



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙54(左)・55(右)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙57



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙58 (人骨番号82)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙58 (人骨番号100)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙59



净禅寺迹遺跡第10地点土壙70



净禅寺迹遺跡第10地点土壙71



净禅寺迹遺跡第10地点土壙71



净禅寺迹遺跡第10地点土壙72



净禅寺迹遺跡第10地点土壙73(左)・118(中)・119(右)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙74(中)・82(右)・94(左)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙78



净禅寺迹遺跡第10地点土壙80(中)・81(左)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙83



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙84



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙85(左上)・97(右)・98(中)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙86(右)・112(左)



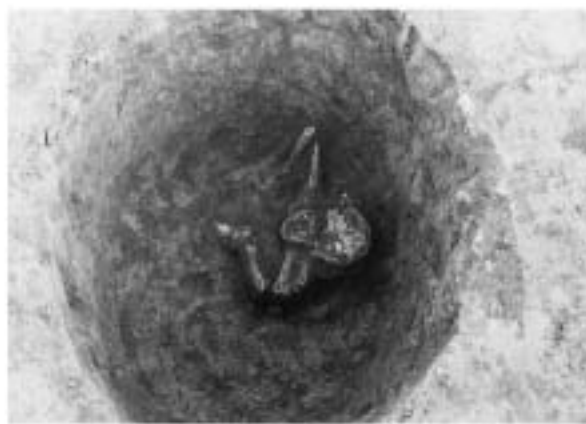
浄禅寺跡遺跡第10地点土壙89(左)・110(右)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙89(左)・110(右)



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙90



浄禅寺跡遺跡第10地点土壙91



净禅寺迹遺跡第10地点土壙93



净禅寺迹遺跡第10地点土壙95



净禅寺迹遺跡第10地点土壙97



净禅寺迹遺跡第10地点土壙99(中)・101(手前)・103(左)・147(99右)・2(右)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙101



净禅寺迹遺跡第10地点土壙103



净禅寺迹遺跡第10地点土壙107



净禅寺迹遺跡第10地点土壙108



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙115



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙114(上)・115(左)・116(中)・117(右)



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙119



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙124



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙126



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙127



淨禪寺跡遺跡第10地点土壙129



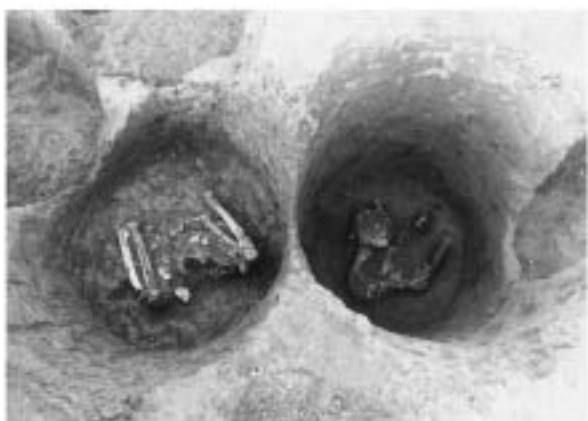
淨禪寺跡遺跡第10地点土壙134



净禅寺迹遺跡第10地点土壙137



净禅寺迹遺跡第10地点土壙138



净禅寺迹遺跡第10地点土壙114 (左)・145 (右)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙2 (左)・101(中上)・147(中前)・103(右)



净禅寺迹遺跡第10地点土壙149



净禅寺迹遺跡第10地点土壙150



净禅寺迹遺跡第10地点土壙153



净禅寺迹遺跡第10地点溝1



浄禅寺跡遺跡第10地点調査風景



浄禅寺跡遺跡第10地点調査風景



苗間東久保遺跡第19地点全景



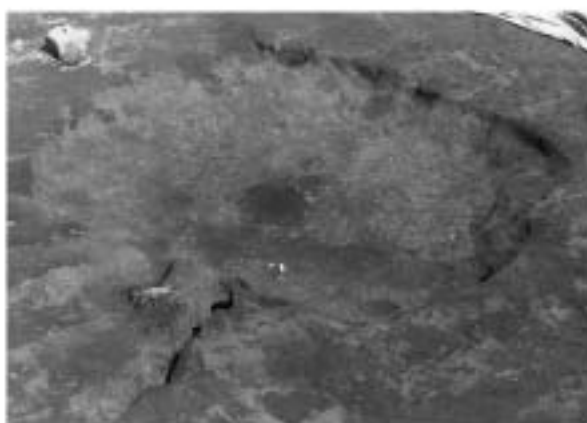
苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡遺物出土状況



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡



苗間東久保遺跡第19地点10号住居跡